

平成 28 年度

まちづくりアンケート
報告書

平成 29 年 3 月

長 野 市

は じ め に

この「まちづくりアンケート」は、市民の皆さまのご意見・ご要望をお聴きし、市政に反映させることを目的として、昭和 57 年度から毎年度実施しております。調査から得られた結果は、諸施策推進の基礎資料として活用し、きめ細かなサービスの提供に努めてまいります。

本市では、人口減少や少子・高齢化の本格的な進行など、従来にない変化に的確に対応し、継続的な発展に向けた今後 10 年間の行政運営の指針となる「第五次長野市総合計画」が 4 月からスタートいたします。

この計画では、まちの将来像を「幸せ実感都市『ながの』～“オールながの”で未来を創造しよう～」として、「魅力ある地域づくり」、「にぎわいあるまちづくり」、「活力あるまちづくり」の 3 つを重点テーマに掲げ、取り組んでまいります。

時代の転換期を迎え、価値観が多様化し、行政課題が複雑になる中、市民個人や地域社会の「幸せ」の増進を図ることが重要であることから、このアンケートで頂いた内容も参考とし、より多くの市民の皆さまが真の豊かさや幸せを実感し、“生き生き”と生活できる持続可能なまちづくりを目指してまいります。

結びに、本アンケートの実施に当たり、ご協力いただきました皆さまに心から感謝申し上げますとともに、今後とも市政に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 29 年 3 月

長野市長 加藤 久雄

目 次

1 調査の概要	1
2 調査分析結果	7
健康に関することについて	8
公園での犬の散歩について	18
空き家対策について	31
人口減少対策に関する意識について	41
その他市政全般について	50
3 アンケート用紙	73

1 調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査の目的

市政に対する市民ニーズ、市が実施する事業に対する考え方、意見、満足度などを調査し、今後の施策の基礎資料とするもの（昭和 57 年度から毎年度実施）

(2) 調査対象

長野市内に在住の 18 歳以上の男女

(3) 標本の抽出

住民基本台帳（平成 28 年 10 月 16 日現在）からの等間隔無作為抽出

(4) 標本総数

5,000 人

(5) 調査方法

返信用封筒を同封した、質問票送付によるアンケート調査方式

(6) 調査期間

平成 28 年 10 月 25 日（火）から 11 月 8 日（火）

(7) 回収結果

有効（送達）標本数	5,000 通
無効（未送達、返送）標本数	0 通
回収標本数	3,132 通
回収率	62.6%

(8) 集計方法

エクセル等による集計（委託）

		有効標本数	構成比(%)	回収数		回収率(%)
全体		5,000	100.0	3,132	(性別不明)	62.6
10 歳代	男性	63	1.3	19	0	30.2
	女性	69	1.4	27		39.1
20 歳代	男性	280	5.6	94	0	33.6
	女性	326	6.5	154		47.2
30 歳代	男性	402	8.0	187	0	46.5
	女性	405	8.1	229		56.5
40 歳代	男性	486	9.7	246	0	50.6
	女性	532	10.6	325		61.1
50 歳代	男性	369	7.4	223	1	60.4
	女性	437	8.7	316		72.3
60 歳代	男性	397	7.9	300	4	75.6
	女性	534	10.7	412		77.2
70 歳以上	男性	287	5.7	229	3	79.8
	女性	413	8.3	348		84.3
不明	男性	-	-	6	3	-
	女性	-	-	6		-

(9) 調査項目

①回答者の属性

- | | |
|----------|--|
| A 地域区分 | 市街地地域、市街地周辺地域、犀南地域、松代・若穂、中山間地域 |
| B 性別区分 | 男性、女性 |
| C 年代区分 | 10歳代、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上 |
| D 職業区分 | [自営業主および家族従業員]
農・林・漁業、工業、商業・自由業
[会社員、公務員]
会社員（事務系・サービス系・技術系）、公務員・教員
[その他]
主婦（主夫）、パート・アルバイト、無職（学生含む）、その他 |
| E 居住年数区分 | 5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満、20年以上 |

②設問テーマ

●健康に関することについて（保健福祉部 長野市保健所健康課）

健康に関する市民の意識を把握し、平成29年度からを計画期間とする「第三次長野市健康増進・食育推進計画」の評価指標とするもの。

●公園での犬の散歩について（都市整備部 公園緑地課）

「長野市都市公園条例」により、一部の公園を除き原則犬の散歩を禁止しているが、犬の飼い主のマナーをはじめ、公園での犬の散歩に対する市民の意向を調査し、今後の公園管理の参考とするもの。

●空き家対策について（建設部 建築指導課）

深刻化する空き家問題に対する市民の意識を調査し、有効な施策立案の検討材料とするとともに、平成30年度からを計画期間とする「長野市空家等対策計画」作成の基礎資料とするもの。

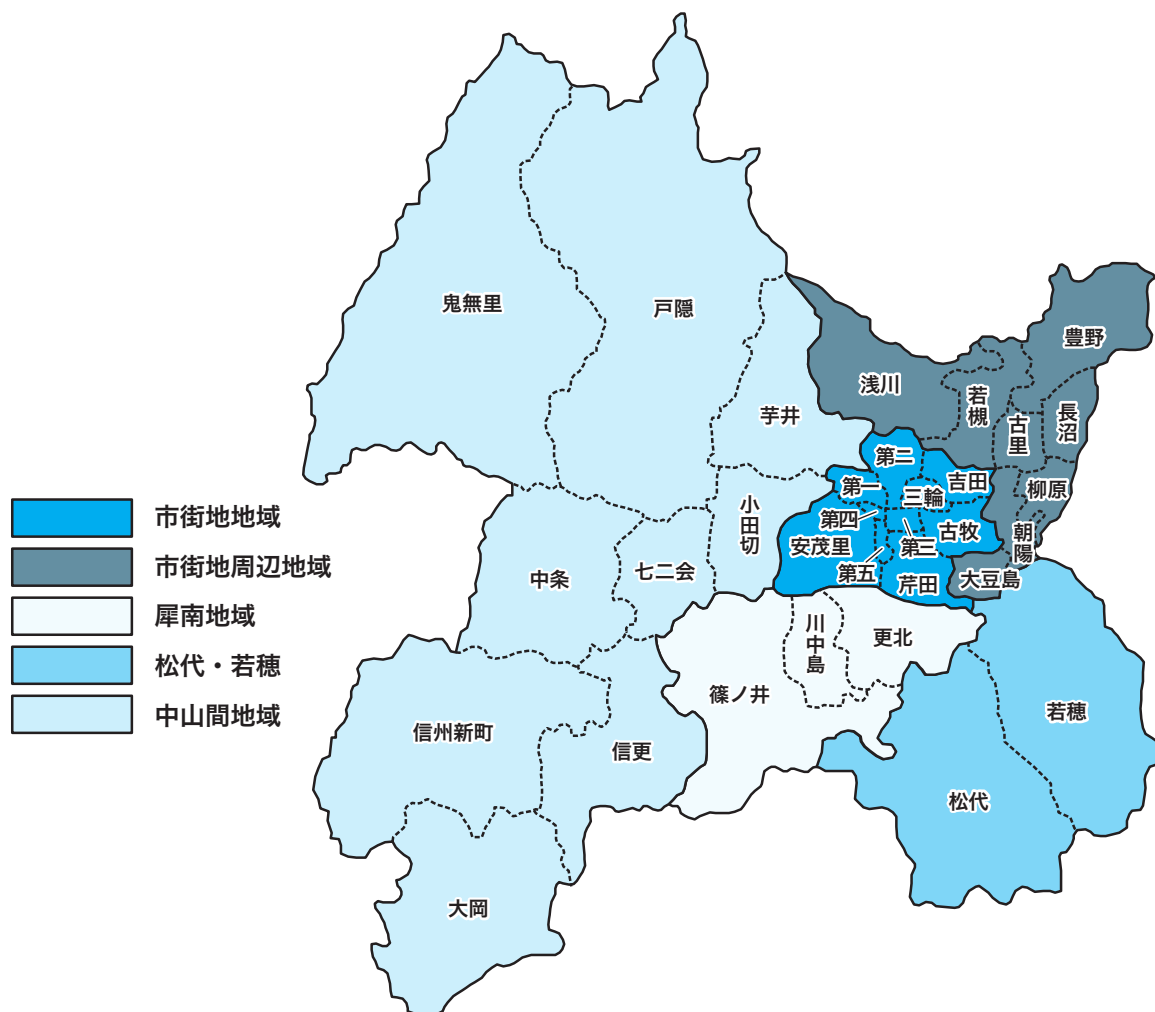
●人口減少対策に関する意識について（企画政策部 人口増推進課）

「長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の数値目標であるアンケート指標、および人口減少対策に係る市民の認知度を把握するもの。

●その他市政全般（企画政策部 企画課）

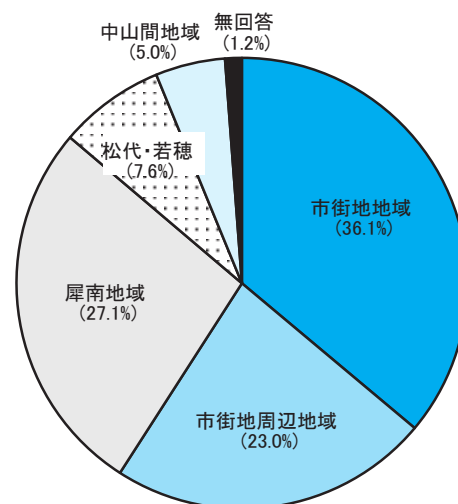
行政政策の満足度、優先度などについて継続的に統計を取り、第四次長野市総合計画の進捗（しんちょく）管理などに活用するもの。

(10) 地域区分図



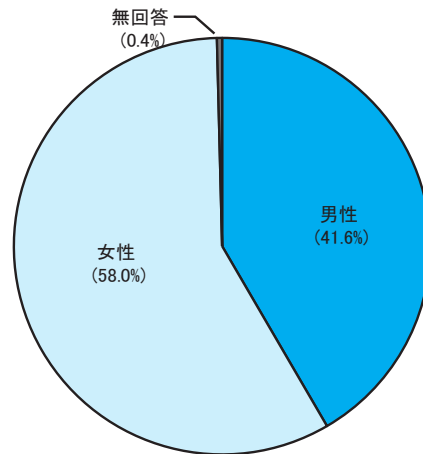
(11) 地域区分別回収標本構成

地域区分	地区名	回収標本構成	
		標本数	割合 (%)
市街地地域 (10 地区)	第一地区、第二地区、第三地区、 第四地区、第五地区、芹田地区、 古牧地区、三輪地区、吉田地区、 安茂里地区	1,131	36.1
市街地周辺地域 (8 地区)	古里地区、柳原地区、浅川地区、 大豆島地区、朝陽地区、 若槻地区、長沼地区、豊野地区	721	23.0
犀南地域 (3 地区)	篠ノ井地区、川中島地区、 更北地区	849	27.1
松代・若穂 (2 地区)	松代地区、若穂地区	238	7.6
中山間地域 (9 地区)	小田切地区、芋井地区、 七二会地区、信更地区、戸隠地区、 鬼無里地区、大岡地区 信州新町地区、中条地区	156	5.0
無回答		37	1.2
合計		3,132	100.0



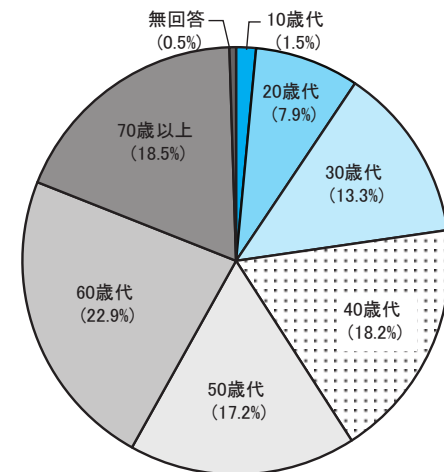
(12) 性別区分別回収標本構成

選択肢	回答数	割合 (%)
男性	1,304	41.6
女性	1,817	58.0
無回答	11	0.4
合計	3,132	100.0



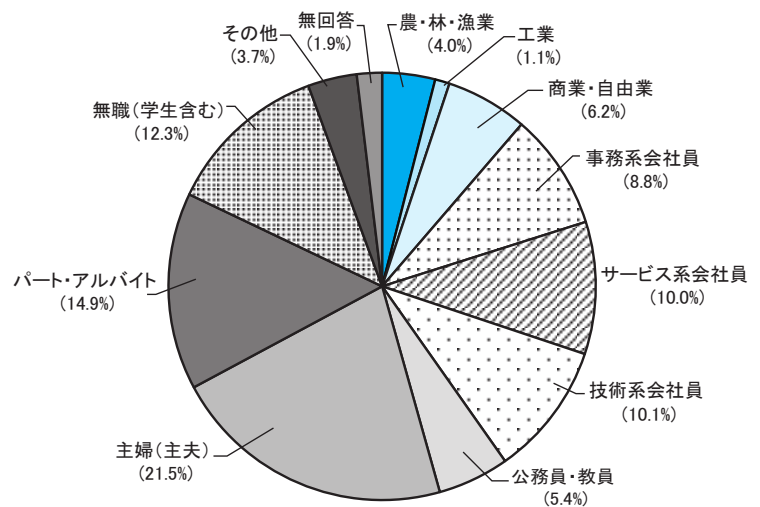
(13) 年代区分別回収標本構成

選択肢	回答数	割合 (%)
10 歳代	46	1.5
20 歳代	248	7.9
30 歳代	416	13.3
40 歳代	571	18.2
50 歳代	540	17.2
60 歳代	716	22.9
70 歳以上	580	18.5
無回答	15	0.5
合計	3,132	100.0



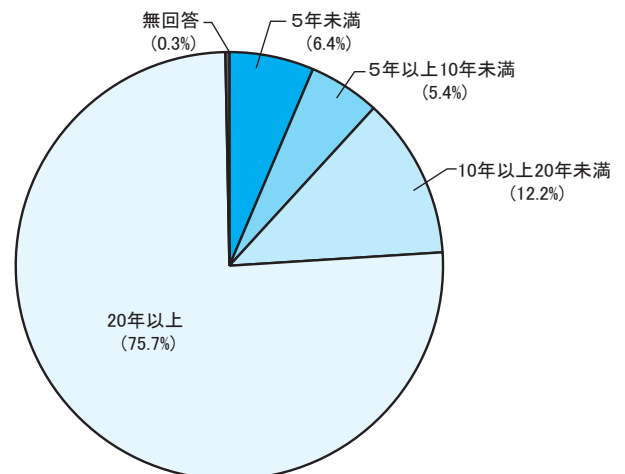
(14) 職業区分別回収標本構成

選択肢	回答数	割合 (%)
農・林・漁業	126	4.0
工業	34	1.1
商業・自由業	195	6.2
事務系会社員	275	8.8
サービス系会社員	313	10.0
技術系会社員	317	10.1
公務員・教員	170	5.4
主婦(主夫)	674	21.5
パート・アルバイト	468	14.9
無職(学生含む)	385	12.3
その他	116	3.7
無回答	59	1.9
合計	3,132	100.0



(15) 居住年数区分別回収標本構成

選択肢	回答数	割合 (%)
5年未満	200	6.4
5年以上 10年未満	168	5.4
10年以上 20年未満	382	12.2
20年以上	2,372	75.7
無回答	10	0.3
合計	3,132	100.0



(16) 報告書の見方

- ①調査結果の数値は、原則として百分率で表記した。百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表記している。従って、内訳を合計しても100%に合致しない場合がある。
- ②アンケートへの回答は、単数回答と複数回答を求めた設問があり、複数回答を求めた設問では、比率の合計が100%を上回る場合がある。
- ③属性別の結果については、特徴的なもの、資料として重要と思われるものについて分析した。
なお、属性別に見た図表では、不明サンプルを表示していないため、標本数の合計が全体の標本数と異なる場合がある。
- ④設問中の選択肢の文字数が多いものについては、本文中や図表中において、便宜上短く省略している場合がある。

(17) 標本の誤差

この調査の標本誤差は、次式によって得られる。ただし、信頼度は95%とする。

(注) 信頼度95%：同じ調査を100回実施したときに、おおむね95回まではこの精度が得られることを示す。

$$b=1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \cong 1.96 \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

ただし、b：標本誤差（±少数ポイント）

N：母集団（人）

n：標本数（人）

P：回答比率（少数）

上式を基に、本調査の標本誤差の早見表を掲げる。

回答比率と標本誤差（信頼度95%の場合）

回答比率 (P) 標本数 n (人)	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%
3,000	1.07	1.43	1.64	1.75	1.79
2,000	1.31	1.75	2.01	2.15	2.19
1,500	1.52	2.02	2.32	2.48	2.53
1,000	1.86	2.48	2.84	3.04	3.10
500	2.63	3.51	4.02	4.29	4.38
300	3.39	4.53	5.19	5.54	5.66

※上表は $(N - n) / (N - 1) \cong 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

表の見方

例えば、ある設問の回答者数が1,500人であり、その設問中のある選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は、最高でも±2.48ポイント以内（57.52～62.48%）である、と見ることができる。

2 調查分析結果

2 調査分析結果

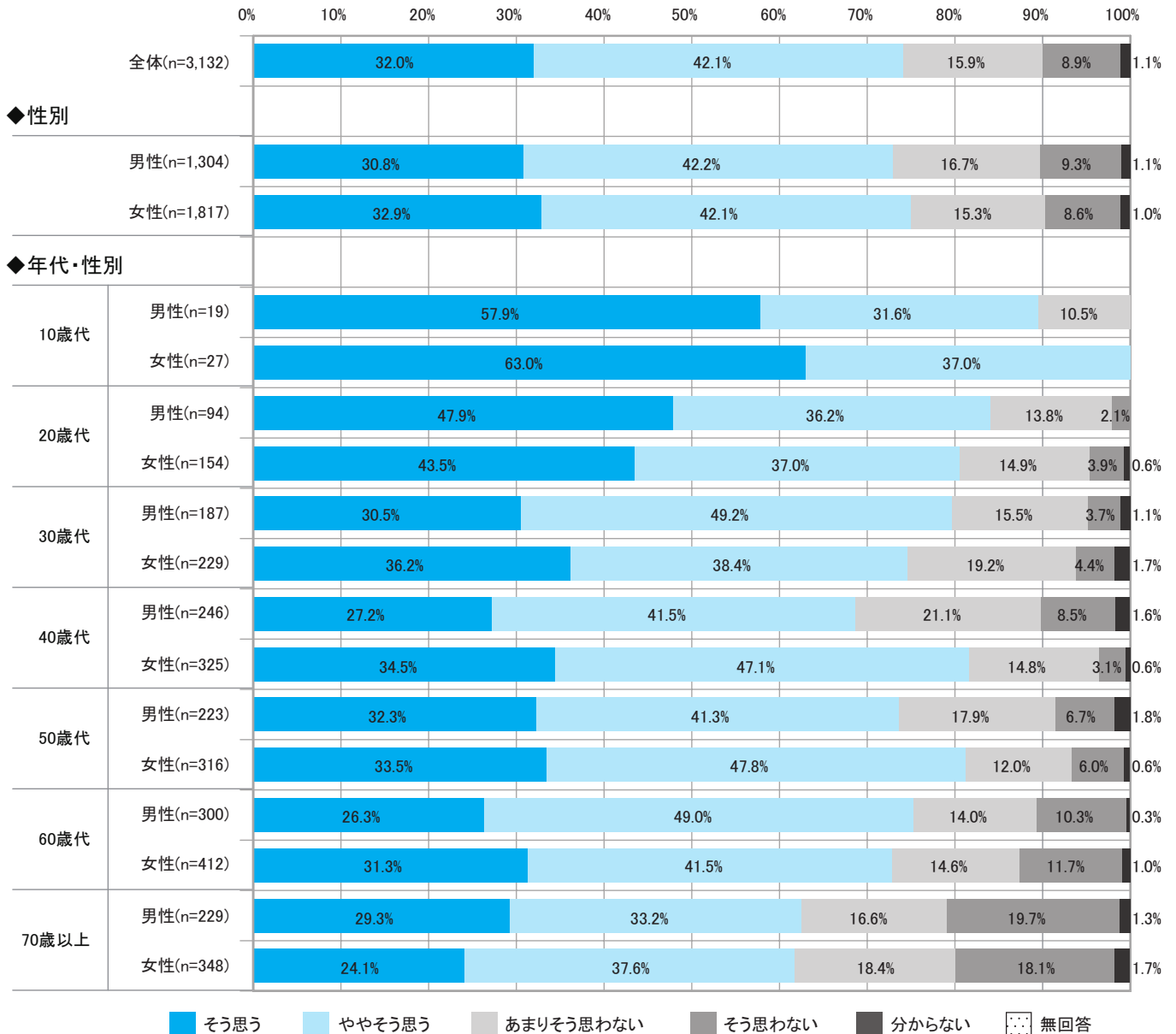
健康に関することについて

自分自身の健康 健康だと思っている方が7割を超える

問1 あなたは、自分のことを健康だと思っていますか。

自分のことを健康だと思っているかについては、「そう思う」が32.0%、「ややそう思う」が42.1%となり、「そう思う」、「ややそう思う」の回答割合の合計は7割を超えている。一方、「そう思わない」は8.9%、「あまりそう思わない」は15.9%となり、「そう思わない」、「あまりそう思わない」の回答割合の合計は約3割となった。

年代・性別で見ると、10歳代の男性・女性、20歳代の男性・女性、40歳代女性、および50歳代女性は、「そう思う」、「ややそう思う」の回答割合の合計が8割を超えている。一方、40歳代男性、および70歳以上の男性・女性は、「そう思う」、「ややそう思う」の回答割合の合計が6割台となった。



問1 あなたは、自分のことを健康だと思っていますか。最も近い番号1つに○印をつけてください。

上段:回答数(人) 下段:割合(%)		合計	そう 思う	そ う や や そう 思う	あ ま り な い そ う 思 わ	そ う 思 わ な い	い 分 か ら な	無 回 答
全体		3,132	1,002	1,318	498	280	33	1
		100.0	32.0	42.1	15.9	8.9	1.1	0.0
性別	男性	1,304	401	550	218	121	14	0
		100.0	30.8	42.2	16.7	9.3	1.1	0.0
	女性	1,817	598	765	278	157	19	0
		100.0	32.9	42.1	15.3	8.6	1.0	0.0
無回答		11	3	3	2	2	0	1
		100.0	27.3	27.3	18.2	18.2	0.0	9.1
年代	10歳代	46	28	16	2	0	0	0
		100.0	60.9	34.8	4.3	0.0	0.0	0.0
	20歳代	248	112	91	36	8	1	0
		100.0	45.2	36.7	14.5	3.2	0.4	0.0
	30歳代	416	140	180	73	17	6	0
		100.0	33.7	43.3	17.5	4.1	1.4	0.0
	40歳代	571	179	255	100	31	6	0
		100.0	31.3	44.7	17.5	5.4	1.1	0.0
	50歳代	540	178	243	79	34	6	0
		100.0	33.0	45.0	14.6	6.3	1.1	0.0
	60歳代	716	209	320	102	80	5	0
		100.0	29.2	44.7	14.2	11.2	0.7	0.0
	70歳以上	580	152	207	103	109	9	0
		100.0	26.2	35.7	17.8	18.8	1.6	0.0
	無回答	15	4	6	3	1	0	1
		100.0	26.7	40.0	20.0	6.7	0.0	6.7
地域区分	市街地地域	1,131	363	471	194	94	9	0
		100.0	32.1	41.6	17.2	8.3	0.8	0.0
	市街地周辺地域	721	226	320	99	69	7	0
		100.0	31.3	44.4	13.7	9.6	1.0	0.0
	犀南地域	849	284	353	133	69	10	0
		100.0	33.5	41.6	15.7	8.1	1.2	0.0
	松代・若穂	238	74	92	40	29	3	0
	100.0	31.1	38.7	16.8	12.2	1.3	0.0	
中山間地域	156	41	69	25	18	3	0	
	100.0	26.3	44.2	16.0	11.5	1.9	0.0	
無回答	37	14	13	7	1	1	1	
	100.0	37.8	35.1	18.9	2.7	2.7	2.7	
職業	農・林・漁業	126	29	58	26	12	1	0
		100.0	23.0	46.0	20.6	9.5	0.8	0.0
	工業	34	12	14	4	4	0	0
		100.0	35.3	41.2	11.8	11.8	0.0	0.0
	商業・自由業	195	68	79	24	19	5	0
		100.0	34.9	40.5	12.3	9.7	2.6	0.0
	事務系会社員	275	106	114	34	19	2	0
		100.0	38.5	41.5	12.4	6.9	0.7	0.0
	サービス系会社員	313	111	140	50	12	0	0
		100.0	35.5	44.7	16.0	3.8	0.0	0.0
	技術系会社員	317	111	136	46	20	4	0
		100.0	35.0	42.9	14.5	6.3	1.3	0.0
	公務員・教員	170	58	74	34	3	1	0
		100.0	34.1	43.5	20.0	1.8	0.6	0.0
	主婦(主夫)	674	202	272	108	81	11	0
		100.0	30.0	40.4	16.0	12.0	1.6	0.0
	パート・アルバイト	468	152	221	73	21	1	0
	100.0	32.5	47.2	15.6	4.5	0.2	0.0	
無職(学生含む)	385	113	132	68	67	5	0	
	100.0	29.4	34.3	17.7	17.4	1.3	0.0	
その他	116	23	55	22	14	2	0	
	100.0	19.8	47.4	19.0	12.1	1.7	0.0	
無回答	59	17	23	9	8	1	1	
	100.0	28.8	39.0	15.3	13.6	1.7	1.7	

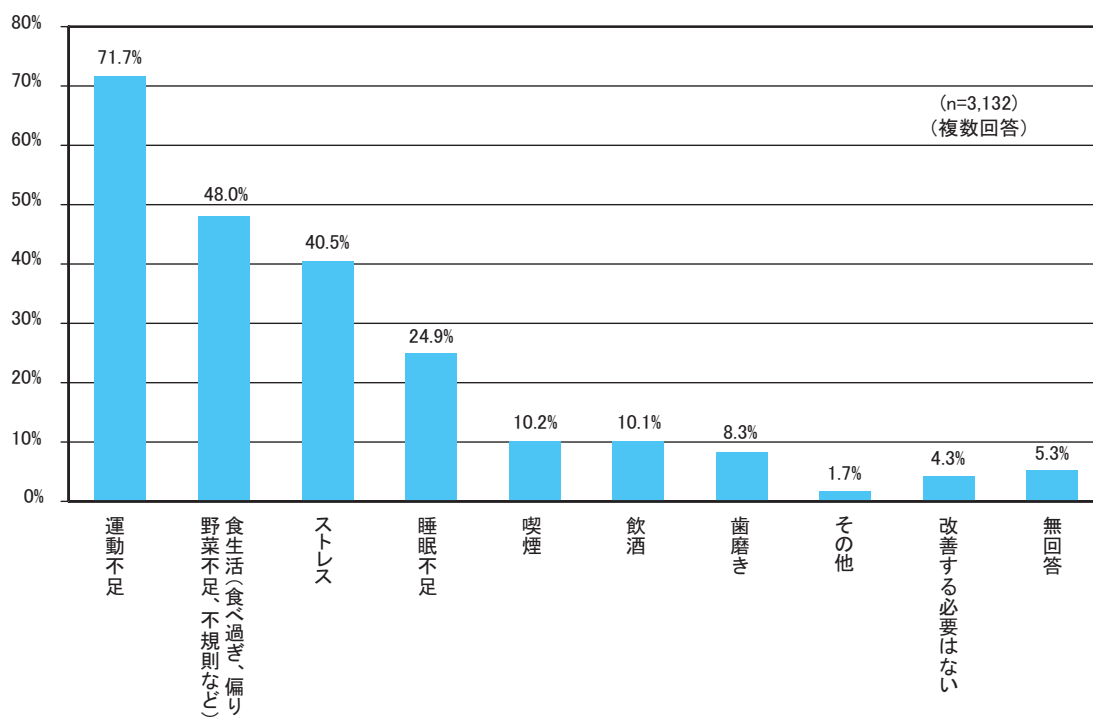
生活習慣の改善 「運動不足」が約7割

問2 あなたの生活習慣で、ご自身の健康のために、改善する必要があると思われるものは次のどれですか。

生活習慣で、自身の健康のために改善する必要があると思われることは、「運動不足」(71.7%)が約7割と最も多い。次に、「食生活(食べ過ぎ、偏り、野菜不足、不規則など)」(48.0%)、「ストレス」(40.5%)と続いている。

年代別で見ると、いずれの年代層でも「運動不足」という回答が最も多い。次に、「食生活(食べ過ぎ、偏り、野菜不足、不規則など)」が続いた。なお、10歳代は、同率で「睡眠不足」が並んだ。20歳代から70歳以上は、「ストレス」と続いている。

地域区分別で見ると、いずれの地域も「運動不足」という回答が約7割と最も多い。次に、「食生活(食べ過ぎ、偏り、野菜不足、不規則など)」、「ストレス」と続いており、地域による特徴は見られなかった。



問2 あなたの生活習慣で、ご自身の健康のために、改善する必要があると思われるものは次のどれですか。該当する番号3つ以内に○印をつけてください。

上段: 回答数(人) 下段: 割合(%)		対象	運動不足	足、ぎ、食生活(食べ過ぎ、偏り、野菜不足、不規則など)	睡眠不足	ストレス	飲酒	喫煙	歯磨き	その他	改善する 必要は ない	無回答
全体		3,132	2,246	1,504	780	1,268	316	319	261	53	134	166
		-	71.7	48.0	24.9	40.5	10.1	10.2	8.3	1.7	4.3	5.3
性別	男性	1,304	882	610	283	468	253	245	128	22	56	72
		-	67.6	46.8	21.7	35.9	19.4	18.8	9.8	1.7	4.3	5.5
	女性	1,817	1,358	889	495	794	62	73	133	31	78	93
		-	74.7	48.9	27.2	43.7	3.4	4.0	7.3	1.7	4.3	5.1
	無回答	11	6	5	2	6	1	1	0	0	0	1
		-	54.5	45.5	18.2	54.5	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1
年代	10歳代	46	23	20	20	18	0	0	3	0	4	5
		-	50.0	43.5	43.5	39.1	0.0	0.0	6.5	0.0	8.7	10.9
	20歳代	248	184	153	76	115	12	23	27	2	5	9
		-	74.2	61.7	30.6	46.4	4.8	9.3	10.9	0.8	2.0	3.6
	30歳代	416	309	213	106	201	33	54	44	4	8	10
		-	74.3	51.2	25.5	48.3	7.9	13.0	10.6	1.0	1.9	2.4
	40歳代	571	422	296	145	270	61	69	41	9	15	21
		-	73.9	51.8	25.4	47.3	10.7	12.1	7.2	1.6	2.6	3.7
	50歳代	540	387	251	168	243	64	57	37	3	17	23
		-	71.7	46.5	31.1	45.0	11.9	10.6	6.9	0.6	3.1	4.3
60歳代	716	519	326	145	224	90	77	59	14	35	44	
	-	72.5	45.5	20.3	31.3	12.6	10.8	8.2	2.0	4.9	6.1	
70歳以上	580	394	239	116	187	54	36	50	21	50	53	
	-	67.9	41.2	20.0	32.2	9.3	6.2	8.6	3.6	8.6	9.1	
	無回答	15	8	6	4	10	2	3	0	0	0	1
		-	53.3	40.0	26.7	66.7	13.3	20.0	0.0	0.0	0.0	6.7
地域区分	市街地地域	1,131	807	527	277	461	117	114	81	21	43	51
		-	71.4	46.6	24.5	40.8	10.3	10.1	7.2	1.9	3.8	4.5
	市街地周辺地域	721	511	353	172	295	80	85	57	14	34	41
		-	70.9	49.0	23.9	40.9	11.1	11.8	7.9	1.9	4.7	5.7
	犀南地域	849	622	415	216	347	88	78	80	11	32	42
		-	73.3	48.9	25.4	40.9	10.4	9.2	9.4	1.3	3.8	4.9
	松代・若穂	238	170	117	66	91	10	25	22	2	14	18
	-	71.4	49.2	27.7	38.2	4.2	10.5	9.2	0.8	5.9	7.6	
中山間地域	156	114	73	38	54	17	15	17	5	9	10	
	-	73.1	46.8	24.4	34.6	10.9	9.6	10.9	3.2	5.8	6.4	
	無回答	37	22	19	11	20	4	2	4	0	2	4
		-	59.5	51.4	29.7	54.1	10.8	5.4	10.8	0.0	5.4	10.8
職業	農・林・漁業	126	80	54	33	39	13	6	22	4	7	6
		-	63.5	42.9	26.2	31.0	10.3	4.8	17.5	3.2	5.6	4.8
	工業	34	26	19	5	6	9	11	7	0	1	2
		-	76.5	55.9	14.7	17.6	26.5	32.4	20.6	0.0	2.9	5.9
	商業・自由業	195	121	83	39	64	28	31	12	5	12	17
		-	62.1	42.6	20.0	32.8	14.4	15.9	6.2	2.6	6.2	8.7
	事務系会社員	275	224	132	73	125	29	20	21	0	1	5
		-	81.5	48.0	26.5	45.5	10.5	7.3	7.6	0.0	0.4	1.8
	サービス系会社員	313	223	163	80	164	45	58	16	1	6	11
		-	71.2	52.1	25.6	52.4	14.4	18.5	5.1	0.3	1.9	3.5
	技術系会社員	317	223	143	93	143	43	61	34	1	10	12
		-	70.3	45.1	29.3	45.1	13.6	19.2	10.7	0.3	3.2	3.8
	公務員・教員	170	120	83	50	70	26	18	15	2	8	9
		-	70.6	48.8	29.4	41.2	15.3	10.6	8.8	1.2	4.7	5.3
	主婦(主夫)	674	504	309	170	260	15	17	53	17	38	41
		-	74.8	45.8	25.2	38.6	2.2	2.5	7.9	2.5	5.6	6.1
パート・アルバイト	468	340	237	118	208	41	38	31	3	16	23	
	-	72.6	50.6	25.2	44.4	8.8	8.1	6.6	0.6	3.4	4.9	
無職(学生含む)	385	261	185	78	118	49	36	37	15	24	26	
	-	67.8	48.1	20.3	30.6	12.7	9.4	9.6	3.9	6.2	6.8	
その他	116	88	69	24	49	15	15	8	3	5	6	
	-	75.9	59.5	20.7	42.2	12.9	12.9	6.9	2.6	4.3	5.2	
無回答	59	36	27	17	22	3	8	5	2	6	8	
	-	61.0	45.8	28.8	37.3	5.1	13.6	8.5	3.4	10.2	13.6	

具合の悪いところ

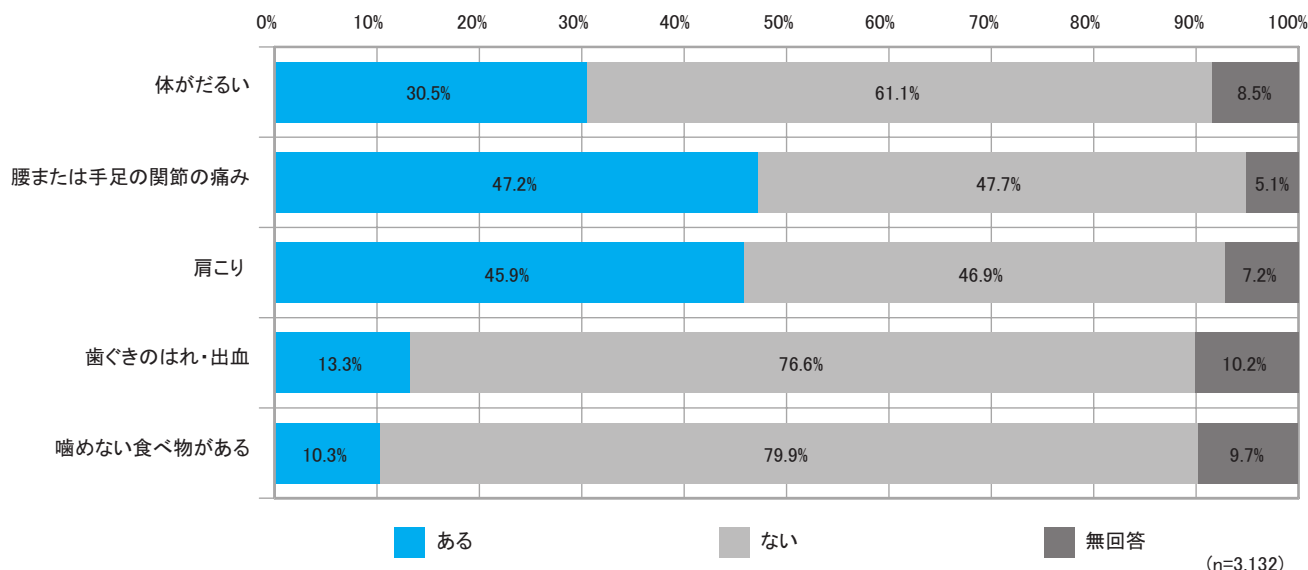
「関節の痛み」、「肩こり」が約5割

問3 あなたはここ数日、身体の具合の悪いところ（自覚症状）がありますか。

身体の具合の悪いところとしては、「腰または手足の関節の痛み」(47.2%)、「肩こり」(45.9%)という回答が約5割と多くなった。続いて、「体がだるい」(30.5%)となり、「歯ぐきのはれ・出血」(13.3%)、「噛めない食べ物がある」(10.3%)は約1割台であった。

性別で見ると、女性は「肩こり」が最も多く、次に「腰または手足の関節の痛み」と続いた。男性は「腰または手足の関節の痛み」が最も多かったが、女性よりも1.3%下回った。

年代別で見ると、10歳代から40歳代は「肩こり」が最も多く、50歳代は「肩こり」と「腰または手足の関節の痛み」がほぼ同じ結果となり、60歳代、70歳以上は「腰または手足の関節の痛み」が最も多くなった。



問3 あなたはここ数日、身体の具合の悪いところ（自覚症状）がありますか。それぞれについて、「ある」または「ない」のどちらかに○印をつけてください。

	上段:回答数(人) 下段:割合(%)	合計	体がだるい			腰または手足の関節の痛み			肩こり			歯ぐきのはれ・出血			噛めない食べ物が ある		
			ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
全体		3,132	954	1,913	265	1,478	1,495	159	1,438	1,468	226	415	2,398	319	324	2,504	304
		100.0	30.5	61.1	8.5	47.2	47.7	5.1	45.9	46.9	7.2	13.3	76.6	10.2	10.3	79.9	9.7
性別	男性	1,304	382	827	95	605	634	65	442	762	100	188	997	119	145	1,053	106
		100.0	29.3	63.4	7.3	46.4	48.6	5.0	33.9	58.4	7.7	14.4	76.5	9.1	11.1	80.8	8.1
	女性	1,817	568	1,080	169	866	858	93	993	699	125	225	1,393	199	175	1,445	197
	100.0	31.3	59.4	9.3	47.7	47.2	5.1	54.7	38.5	6.9	12.4	76.7	11.0	9.6	79.5	10.8	
	無回答	11	4	6	1	7	3	1	3	7	1	2	8	1	4	6	1
	100.0	36.4	54.5	9.1	63.6	27.3	9.1	27.3	63.6	9.1	18.2	72.7	9.1	36.4	54.5	9.1	
年代	10歳代	46	9	36	1	9	37	0	12	33	1	2	43	1	0	45	1
		100.0	19.6	78.3	2.2	19.6	80.4	0.0	26.1	71.7	2.2	4.3	93.5	2.2	0.0	97.8	2.2
	20歳代	248	85	149	14	65	170	13	110	128	10	25	208	15	4	228	16
		100.0	34.3	60.1	5.6	26.2	68.5	5.2	44.4	51.6	4.0	10.1	83.9	6.0	1.6	91.9	6.5
	30歳代	416	177	226	13	141	261	14	232	172	12	69	327	20	6	390	20
		100.0	42.5	54.3	3.1	33.9	62.7	3.4	55.8	41.3	2.9	16.6	78.6	4.8	1.4	93.8	4.8
	40歳代	571	209	329	33	231	305	35	300	243	28	80	448	43	24	502	45
		100.0	36.6	57.6	5.8	40.5	53.4	6.1	52.5	42.6	4.9	14.0	78.5	7.5	4.2	87.9	7.9
50歳代	540	179	318	43	279	232	29	281	228	31	87	401	52	36	446	58	
	100.0	33.1	58.9	8.0	51.7	43.0	5.4	52.0	42.2	5.7	16.1	74.3	9.6	6.7	82.6	10.7	
60歳代	716	154	495	67	403	285	28	296	361	59	93	547	76	111	533	72	
	100.0	21.5	69.1	9.4	56.3	39.8	3.9	41.3	50.4	8.2	13.0	76.4	10.6	15.5	74.4	10.1	
70歳以上	580	136	351	93	344	197	39	201	295	84	59	410	111	141	348	91	
	100.0	23.4	60.5	16.0	59.3	34.0	6.7	34.7	50.9	14.5	10.2	70.7	19.1	24.3	60.0	15.7	
	無回答	15	5	9	1	6	8	1	6	8	1	0	14	1	2	12	1
	100.0	33.3	60.0	6.7	40.0	53.3	6.7	40.0	53.3	6.7	0.0	93.3	6.7	13.3	80.0	6.7	
地域区分	市街地地域	1,131	366	674	91	525	554	52	543	510	78	143	877	111	110	919	102
		100.0	32.4	59.6	8.0	46.4	49.0	4.6	48.0	45.1	6.9	12.6	77.5	9.8	9.7	81.3	9.0
	市街地周辺地域	721	224	431	66	359	321	41	321	337	63	98	545	78	81	566	74
		100.0	31.1	59.8	9.2	49.8	44.5	5.7	44.5	46.7	8.7	13.6	75.6	10.8	11.2	78.5	10.3
	犀南地域	849	236	541	72	380	427	42	376	419	54	100	665	84	76	686	87
		100.0	27.8	63.7	8.5	44.8	50.3	4.9	44.3	49.4	6.4	11.8	78.3	9.9	9.0	80.8	10.2
	松代・若穂	238	70	153	15	118	108	12	114	112	12	42	177	19	28	192	18
	100.0	29.4	64.3	6.3	49.6	45.4	5.0	47.9	47.1	5.0	17.6	74.4	8.0	11.8	80.7	7.6	
中山間地域	156	44	94	18	83	65	8	66	74	16	28	107	21	26	112	18	
	100.0	28.2	60.3	11.5	53.2	41.7	5.1	42.3	47.4	10.3	17.9	68.6	13.5	16.7	71.8	11.5	
	無回答	37	14	20	3	13	20	4	18	16	3	4	27	6	3	29	5
	100.0	37.8	54.1	8.1	35.1	54.1	10.8	48.6	43.2	8.1	10.8	73.0	16.2	8.1	78.4	13.5	
職業	農・林・漁業	126	34	78	14	77	42	7	42	70	14	15	96	15	18	93	15
		100.0	27.0	61.9	11.1	61.1	33.3	5.6	33.3	55.6	11.1	11.9	76.2	11.9	14.3	73.8	11.9
	工業	34	11	19	4	19	12	3	16	14	4	5	24	5	7	22	5
		100.0	32.4	55.9	11.8	55.9	35.3	8.8	47.1	41.2	11.8	14.7	70.6	14.7	20.6	64.7	14.7
	商業・自由業	195	53	125	17	96	91	8	79	97	19	20	147	28	25	145	25
		100.0	27.2	64.7	8.7	49.2	46.7	4.1	40.5	49.7	9.7	10.3	75.4	14.4	12.8	74.4	12.8
	事務系会社員	275	99	163	13	99	165	11	138	124	13	27	227	21	10	244	21
		100.0	36.0	59.3	4.7	36.0	60.0	4.0	50.2	45.1	4.7	9.8	82.5	7.6	3.6	88.7	7.6
	サービス系会社員	313	110	180	23	132	160	21	156	136	21	48	234	31	18	267	28
		100.0	35.1	57.5	7.3	42.2	51.1	6.7	49.8	43.5	6.7	15.3	74.8	9.9	5.8	85.3	8.9
	技術系会社員	317	109	190	18	142	161	14	134	164	19	58	237	22	24	270	23
		100.0	34.4	59.9	5.7	44.8	50.8	4.4	42.3	51.7	6.0	18.3	74.8	6.9	7.6	85.2	7.3
	公務員・教員	170	54	111	5	62	104	4	81	84	5	21	142	7	2	160	8
		100.0	31.8	65.3	2.9	36.5	61.2	2.4	47.6	49.4	2.9	12.4	83.5	4.1	1.2	94.1	4.7
	主婦(主夫)	674	181	425	68	360	282	32	330	294	50	86	509	79	88	507	79
	100.0	26.9	63.1	10.1	53.4	41.8	4.7	49.0	43.6	7.4	12.8	75.5	11.7	13.1	75.2	11.7	
パート・アルバイト	468	146	280	42	220	222	26	268	175	25	62	364	42	33	388	47	
	100.0	31.2	59.8	9.0	47.0	47.4	5.6	57.3	37.4	5.3	13.2	77.8	9.0	7.1	82.9	10.0	
無職(学生含む)	385	102	244	39	180	180	25	112	235	38	52	286	47	76	275	34	
	100.0	26.5	63.4	10.1	46.8	46.8	6.5	29.1	61.0	9.9	13.5	74.3	12.2	19.7	71.4	8.8	
その他	116	42	63	11	56	54	6	58	48	10	18	87	11	14	92	10	
	100.0	36.2	54.3	9.5	48.3	46.6	5.2	50.0	41.4	8.6	15.5	75.0	9.5	12.1	79.3	8.6	
	無回答	59	13	35	11	35	22	2	24	27	8	3	45	11	9	41	9
	100.0	22.0	59.3	18.6	59.3	37.3	3.4	40.7	45.8	13.6	5.1	76.3	18.6	15.3	69.5	15.3	

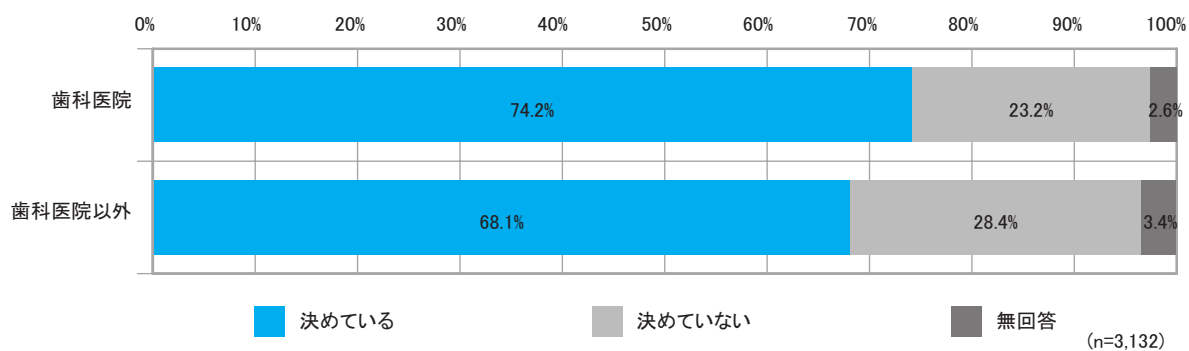
かかりつけ医 「歯科医院」、「歯科医院以外」とも約7割

問4 あなたは、かかりつけ医（主治医）、または、いつもかかる医療機関（病院、クリニック、診療所）を決めていますか。

かかりつけ医（主治医）、もしくはいつもかかる医療機関（病院、クリニック、診療所）については、「決めている」という回答は、歯科医院は74.2%、歯科医院以外は68.1%となった。

性別で見ると、男性は、歯科医院、歯科医院以外とも「決めている」という回答が6割台、女性は7割台と、約1割の差があった。

年代別で見ると、10歳代だけが歯科医院以外を「決めている」という回答の方が多かったが、20歳代から50歳代は歯科医院を「決めている」という回答の方が多かった。60歳代、70歳以上は、歯科医院、歯科医院以外とも、ほぼ同じ結果となった。



問4 あなたは、かかりつけ医（主治医）、または、いつもかかる医療機関（病院、クリニック、診療所）を決めていますか。それぞれについて、「決めている」または「決めていない」のどちらかに○印をつけてください。

	上段:回答数(人) 下段:割合(%)	合計	歯科医院			歯科医院以外		
			決めている	決めていない	無回答	決めている	決めていない	無回答
全体		3,132	2,323	728	81	2,134	890	108
		100.0	74.2	23.2	2.6	68.1	28.4	3.4
性別	男性	1,304	866	398	40	828	430	46
		100.0	66.4	30.5	3.1	63.5	33.0	3.5
	女性	1,817	1,450	327	40	1,300	457	60
	100.0	79.8	18.0	2.2	71.5	25.2	3.3	
性別	無回答	11	7	3	1	6	3	2
		100.0	63.6	27.3	9.1	54.5	27.3	18.2
	10歳代	46	25	21	0	28	18	0
	100.0	54.3	45.7	0.0	60.9	39.1	0.0	
年代	20歳代	248	140	102	6	128	113	7
		100.0	56.5	41.1	2.4	51.6	45.6	2.8
	30歳代	416	259	153	4	241	169	6
	100.0	62.3	36.8	1.0	57.9	40.6	1.4	
年代	40歳代	571	417	147	7	325	229	17
		100.0	73.0	25.7	1.2	56.9	40.1	3.0
	50歳代	540	419	115	6	362	167	11
	100.0	77.6	21.3	1.1	67.0	30.9	2.0	
年代	60歳代	716	561	133	22	556	139	21
		100.0	78.4	18.6	3.1	77.7	19.4	2.9
	70歳以上	580	491	54	35	486	51	43
	100.0	84.7	9.3	6.0	83.8	8.8	7.4	
年代	無回答	15	11	3	1	8	4	3
		100.0	73.3	20.0	6.7	53.3	26.7	20.0
	市街地地域	1,131	827	279	25	769	335	27
	100.0	73.1	24.7	2.2	68.0	29.6	2.4	
地域区分	市街地周辺地域	721	536	166	19	497	198	26
		100.0	74.3	23.0	2.6	68.9	27.5	3.6
	犀南地域	849	638	189	22	582	243	24
	100.0	75.1	22.3	2.6	68.6	28.6	2.8	
地域区分	松代・若穂	238	178	53	7	163	58	17
		100.0	74.8	22.3	2.9	68.5	24.4	7.1
	中山間地域	156	122	29	5	103	41	12
	100.0	78.2	18.6	3.2	66.0	26.3	7.7	
地域区分	無回答	37	22	12	3	20	15	2
		100.0	59.5	32.4	8.1	54.1	40.5	5.4
	農・林・漁業	126	105	17	4	105	15	6
	100.0	83.3	13.5	3.2	83.3	11.9	4.8	
職業	工業	34	23	9	2	20	12	2
		100.0	67.6	26.5	5.9	58.8	35.3	5.9
	商業・自由業	195	157	33	5	143	43	9
	100.0	80.5	16.9	2.6	73.3	22.1	4.6	
職業	事務系会社員	275	203	67	5	174	95	6
		100.0	73.8	24.4	1.8	63.3	34.5	2.2
	サービス系会社員	313	196	110	7	178	126	9
	100.0	62.6	35.1	2.2	56.9	40.3	2.9	
職業	技術系会社員	317	207	107	3	171	138	8
		100.0	65.3	33.8	0.9	53.9	43.5	2.5
	公務員・教員	170	117	51	2	102	66	2
	100.0	68.8	30.0	1.2	60.0	38.8	1.2	
職業	主婦(主夫)	674	550	107	17	515	139	20
		100.0	81.6	15.9	2.5	76.4	20.6	3.0
	パート・アルバイト	468	352	106	10	319	134	15
	100.0	75.2	22.6	2.1	68.2	28.6	3.2	
職業	無職(学生含む)	385	278	88	19	284	83	18
		100.0	72.2	22.9	4.9	73.8	21.6	4.7
	その他	116	89	22	5	81	30	5
	100.0	76.7	19.0	4.3	69.8	25.9	4.3	
職業	無回答	59	46	11	2	42	9	8
		100.0	78.0	18.6	3.4	71.2	15.3	13.6

活動の状況

「趣味・サークル」が約4割。「活動・参加していない」も約4割

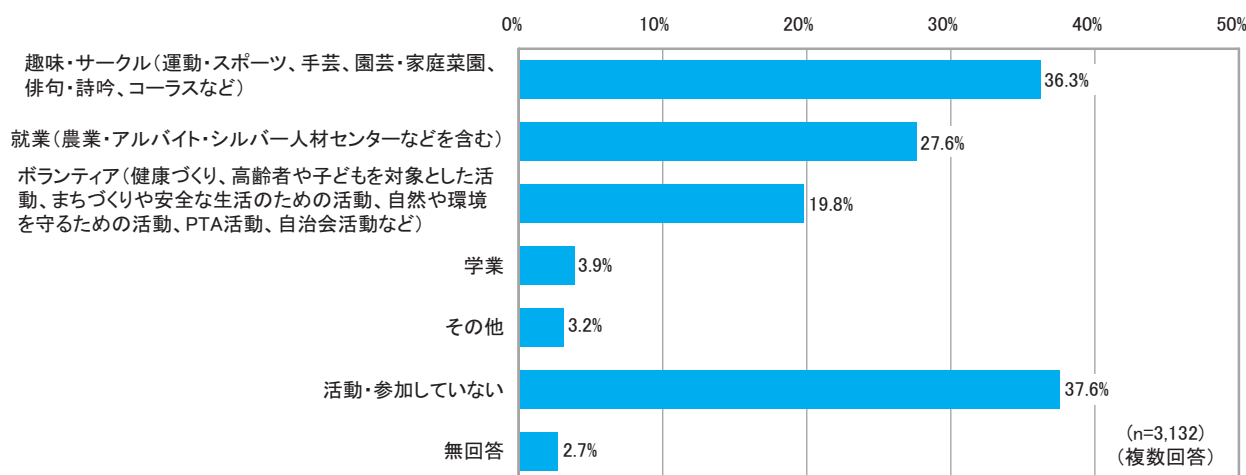
問5 あなたは、この1年間に、個人または友人と、あるいはグループや団体に継続的に行われている次のような活動を行った、または参加したことがありますか。

この1年間に継続的に行っていた活動としては、「趣味・サークル（運動・スポーツ、手芸、園芸・家庭菜園、俳句・詩吟、コーラスなど）」（36.3%）が約4割となった。次に、「就業（農業・アルバイト・シルバー人材センターなどを含む）」（27.6%）、「ボランティア（健康づくり、高齢者や子どもを対象とした活動、まちづくりや安全な生活のための活動、自然や環境を守るための活動、PTA活動、自治会活動など）」（19.8%）と続いている。一方、「活動・参加していない」（37.6%）も約4割となっている。

年代別で見ると、20歳代から50歳代は「活動していない」が最も多く、60歳代、70歳以上は「趣味・サークル（運動・スポーツ、手芸、園芸・家庭菜園、俳句・詩吟、コーラスなど）」となった。なお、10歳代は「学業」が最も多かった。

地域区分別で見ると、中山間地域で「ボランティア（健康づくり、高齢者や子どもを対象とした活動、まちづくりや安全な生活のための活動、自然や環境を守るための活動、PTA活動、自治会活動など）」が約3割となり、他の地域区分よりもやや多い回答となった。

なお、「就業（農業・アルバイト・シルバー人材センターなどを含む）」という回答が全体で27.6%となったが、職業区分（5ページ参照）では、約6割の方が就業していることから、本問は、就業を含めた社会活動と趣味などの私的活動とを合わせた活動状況の調査であったが、私的活動のみで回答された方が多かったものと考えられる。



問5 あなたは、この1年間に、個人または友人と、あるいはグループや団体で継続的に行われている次のような活動を行った、または参加したことがありますか。該当する番号全てに○印をつけてください。

上段:回答数(人) 下段:割合(%)		対象	就業(農業・アルバイト・シルバー人材センターなどを含む)	趣味・サークル(運動・スポーツ、手芸、園芸・家庭菜園、俳句・詩吟、コーラスなど)	ボランティア(健康づくり、高齢者や子どもを対象とした活動、まちづくりや安全な生活のための活動、自然や環境を守るための活動、PTA活動、自治会活動など)	学業	その他	活動参加していない	無回答
全体		3,132	865	1,136	620	122	99	1,177	86
		-	27.6	36.3	19.8	3.9	3.2	37.6	2.7
性別	男性	1,304	323	437	259	43	41	519	41
		-	24.8	33.5	19.9	3.3	3.1	39.8	3.1
	女性	1,817	539	695	359	79	58	654	43
		-	29.7	38.2	19.8	4.3	3.2	36.0	2.4
無回答		11	3	4	2	0	0	4	2
		-	27.3	36.4	18.2	0.0	0.0	36.4	18.2
年代	10歳代	46	11	13	4	37	1	6	0
		-	23.9	28.3	8.7	80.4	2.2	13.0	0.0
	20歳代	248	82	83	23	37	3	106	6
		-	33.1	33.5	9.3	14.9	1.2	42.7	2.4
	30歳代	416	91	108	45	10	6	206	9
		-	21.9	26.0	10.8	2.4	1.4	49.5	2.2
	40歳代	571	170	166	123	11	10	220	13
		-	29.8	29.1	21.5	1.9	1.8	38.5	2.3
	50歳代	540	185	161	117	7	12	205	11
		-	34.3	29.8	21.7	1.3	2.2	38.0	2.0
60歳代	716	210	311	178	7	26	244	18	
	-	29.3	43.4	24.9	1.0	3.6	34.1	2.5	
70歳以上	580	113	292	129	11	41	185	25	
	-	19.5	50.3	22.2	1.9	7.1	31.9	4.3	
無回答		15	3	2	1	2	0	5	4
		-	20.0	13.3	6.7	13.3	0.0	33.3	26.7
地域区分	市街地地域	1,131	317	423	208	47	34	421	29
		-	28.0	37.4	18.4	4.2	3.0	37.2	2.6
	市街地周辺地域	721	198	247	146	24	26	275	20
		-	27.5	34.3	20.2	3.3	3.6	38.1	2.8
	厚南地域	849	234	319	172	39	22	311	24
		-	27.6	37.6	20.3	4.6	2.6	36.6	2.8
	松代・若穂	238	63	76	47	9	13	92	7
	-	26.5	31.9	19.7	3.8	5.5	38.7	2.9	
中山間地域	156	47	58	42	2	4	60	4	
	-	30.1	37.2	26.9	1.3	2.6	38.5	2.6	
無回答		37	6	13	5	1	0	18	2
		-	16.2	35.1	13.5	2.7	0.0	48.6	5.4
職業	農・林・漁業	126	56	46	42	3	6	38	3
		-	44.4	36.5	33.3	2.4	4.8	30.2	2.4
	工業	34	9	9	12	0	3	12	1
		-	26.5	26.5	35.3	0.0	8.8	35.3	2.9
	商業・自由業	195	43	85	39	3	5	66	9
		-	22.1	43.6	20.0	1.5	2.6	33.8	4.6
	事務系会社員	275	96	97	42	3	6	102	5
		-	34.9	35.3	15.3	1.1	2.2	37.1	1.8
	サービス系会社員	313	76	92	38	6	3	145	13
		-	24.3	29.4	12.1	1.9	1.0	46.3	4.2
	技術系会社員	317	89	95	53	5	6	129	7
		-	28.1	30.0	16.7	1.6	1.9	40.7	2.2
	公務員・教員	170	39	53	33	4	5	74	4
		-	22.9	31.2	19.4	2.4	2.9	43.5	2.4
	主婦(主夫)	674	94	320	157	13	29	245	18
		-	13.9	47.5	23.3	1.9	4.3	36.4	2.7
	パート・アルバイト	468	244	141	106	10	8	144	8
	-	52.1	30.1	22.6	2.1	1.7	30.8	1.7	
無職(学生含む)	385	70	144	70	72	16	152	10	
	-	18.2	37.4	18.2	18.7	4.2	39.5	2.6	
その他	116	31	35	16	2	7	51	4	
	-	26.7	30.2	13.8	1.7	6.0	44.0	3.4	
無回答		59	18	19	12	1	5	19	4
		-	30.5	32.2	20.3	1.7	8.5	32.2	6.8

公園での犬の散歩について

公園での犬の散歩 「マナーが良ければ、気にならない」が約6割

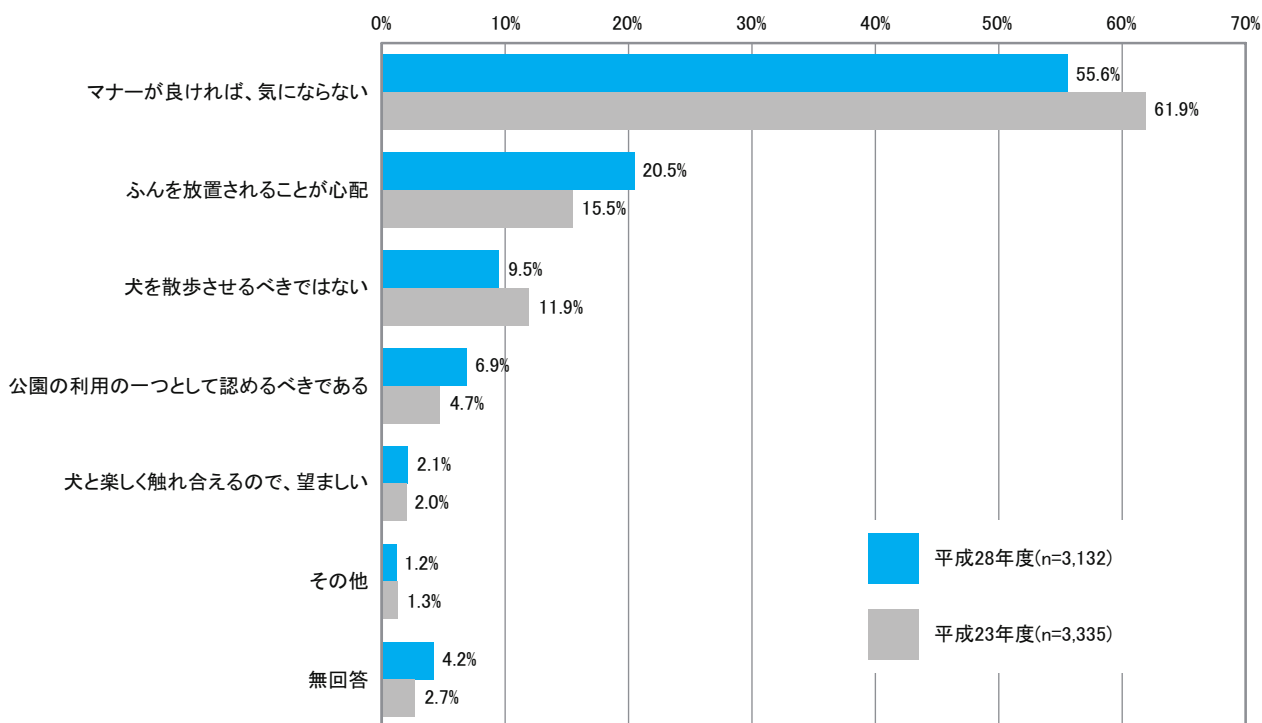
問6 あなたは、公園で犬を散歩させることについてどう思いますか。

公園で犬を散歩させることについては、「マナーが良ければ、気にならない」(55.6%)が約6割と最も多い。次に、「ふんを放置されることが心配」(20.5%)、「犬を散歩させるべきではない」(9.5%)と続いている。

平成23年度に実施した同様の調査結果と比較すると、「マナーが良ければ、気にならない」という回答は6.3ポイント減少し、「犬を散歩させるべきではない」も2.4ポイント減少している。一方、「ふんを放置されることが心配」は、5.0ポイント増加している。

男女別で見ると、男性、女性とも、「マナーが良ければ、気にならない」という回答が最も多く、その傾向は似ている。

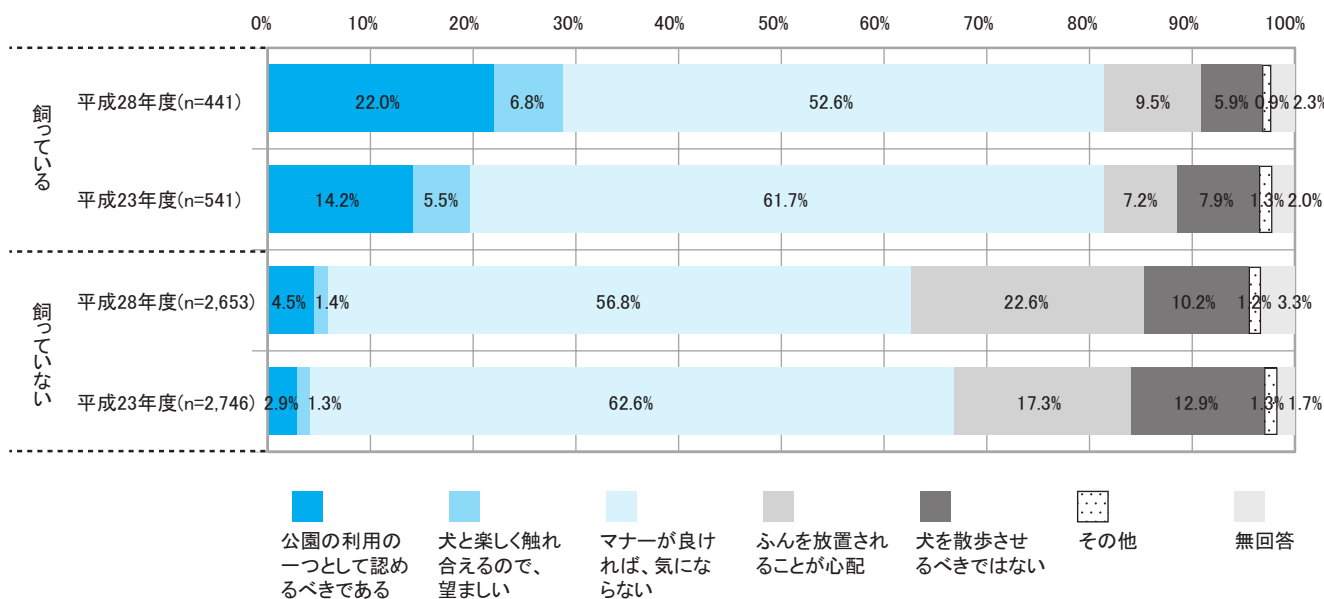
年代別に見ると、10歳代から40歳代は、「マナーが良ければ、気にならない」という回答が6割を超えている。一方、50歳代は5割台、60歳以上は4割台となっている。また、「ふんを放置されることが心配」という回答は、40歳代以下は2割に満たないものの、50歳代以上は2割を超え、特に、60歳代以上は約3割となり、年齢が上がるにつれ、割合が増える傾向にある。さらに、「犬を散歩させるべきではない」という回答は、50歳代以下は1割に満たないものの、60歳代は1割を超え、70歳以上は約2割となっている。



※今回の選択肢「ふんを放置されることが心配」は、平成23年度の同様の調査では、「放置されたふんが気になる」と表記されている。

犬を飼っているかどうかで見ると、いずれも「マナーが良ければ、気にならない」が最も多い回答となっている。一方、「公園の利用の一つとして認めるべきである」という回答は、犬を飼っている方は22.0%と約2割の回答となった。しかし、犬を飼っていない方は4.5%と1割に満たなく、17.5ポイント少ない回答となっている。また、「ふんを放置されることが心配」は、犬を飼っている方は9.5%と約1割となったものの、犬を飼っていない方は22.6%と2割を超える回答となっている。

平成23年度に実施した同様の調査と比較すると、犬を飼っている方の「公園の利用の一つとして認めるべきである」という回答が、7.8ポイント増加している。一方、犬を飼っていない方の「ふんを放置されることが心配」という回答も5.3ポイント増加している。



問6 あなたは、公園で犬を散歩させることについてどう思いますか。最も近い番号1つに○印をつけてください。

上段: 回答数(人) 下段: 割合(%)		合計	公園の利用 の一つとして 認めるべき である	犬と楽しく 触れ合える ので、望まし い	マナーが良 ければ、気に ならない	ふんを放置 されること が心配	犬を散歩さ せるべきで はない	その他	無回答
全体		3,132	217	67	1,740	643	298	37	130
		100.0	6.9	2.1	55.6	20.5	9.5	1.2	4.2
性別	男性	1,304	110	28	706	255	142	14	49
		100.0	8.4	2.1	54.1	19.6	10.9	1.1	3.8
	女性	1,817	106	39	1,030	384	155	23	80
	100.0	5.8	2.1	56.7	21.1	8.5	1.3	4.4	
	無回答	11	1	0	4	4	1	0	1
		100.0	9.1	0.0	36.4	36.4	9.1	0.0	9.1
年代	10歳代	46	6	2	31	5	0	0	2
		100.0	13.0	4.3	67.4	10.9	0.0	0.0	4.3
	20歳代	248	27	17	163	25	9	3	4
		100.0	10.9	6.9	65.7	10.1	3.6	1.2	1.6
	30歳代	416	33	6	279	54	26	6	12
		100.0	7.9	1.4	67.1	13.0	6.3	1.4	2.9
	40歳代	571	36	11	359	108	33	6	18
		100.0	6.3	1.9	62.9	18.9	5.8	1.1	3.2
	50歳代	540	46	7	299	112	50	6	20
		100.0	8.5	1.3	55.4	20.7	9.3	1.1	3.7
60歳代	716	45	12	354	182	81	11	31	
	100.0	6.3	1.7	49.4	25.4	11.3	1.5	4.3	
70歳以上	580	24	12	247	153	97	5	42	
	100.0	4.1	2.1	42.6	26.4	16.7	0.9	7.2	
	無回答	15	0	0	8	4	2	0	1
		100.0	0.0	0.0	53.3	26.7	13.3	0.0	6.7
地域区分	市街地地域	1,131	81	18	636	225	105	16	50
		100.0	7.2	1.6	56.2	19.9	9.3	1.4	4.4
	市街地周辺地域	721	54	20	410	133	65	9	30
		100.0	7.5	2.8	56.9	18.4	9.0	1.2	4.2
	犀南地域	849	51	17	458	201	81	10	31
		100.0	6.0	2.0	53.9	23.7	9.5	1.2	3.7
	松代・若穂	238	17	7	117	51	30	2	14
	100.0	7.1	2.9	49.2	21.4	12.6	0.8	5.9	
中山間地域	156	10	3	96	29	16	0	2	
	100.0	6.4	1.9	61.5	18.6	10.3	0.0	1.3	
	無回答	37	4	2	23	4	1	0	3
		100.0	10.8	5.4	62.2	10.8	2.7	0.0	8.1
職業	農・林・漁業	126	12	3	60	30	16	1	4
		100.0	9.5	2.4	47.6	23.8	12.7	0.8	3.2
	工業	34	3	0	21	6	2	0	2
		100.0	8.8	0.0	61.8	17.6	5.9	0.0	5.9
	商業・自由業	195	16	2	102	31	24	1	19
		100.0	8.2	1.0	52.3	15.9	12.3	0.5	9.7
	事務系会社員	275	18	4	174	47	21	5	6
		100.0	6.5	1.5	63.3	17.1	7.6	1.8	2.2
	サービス系会社員	313	27	11	192	47	19	4	13
		100.0	8.6	3.5	61.3	15.0	6.1	1.3	4.2
	技術系会社員	317	23	8	204	48	26	2	6
		100.0	7.3	2.5	64.4	15.1	8.2	0.6	1.9
	公務員・教員	170	9	1	98	40	15	2	5
		100.0	5.3	0.6	57.6	23.5	8.8	1.2	2.9
	主婦(主夫)	674	33	14	340	168	77	8	34
		100.0	4.9	2.1	50.4	24.9	11.4	1.2	5.0
パート・アルバイト	468	26	9	261	111	39	7	15	
	100.0	5.6	1.9	55.8	23.7	8.3	1.5	3.2	
無職(学生含む)	385	33	12	200	78	46	4	12	
	100.0	8.6	3.1	51.9	20.3	11.9	1.0	3.1	
その他	116	12	0	64	25	4	3	8	
	100.0	10.3	0.0	55.2	21.6	3.4	2.6	6.9	
	無回答	59	5	3	24	12	9	0	6
		100.0	8.5	5.1	40.7	20.3	15.3	0.0	10.2

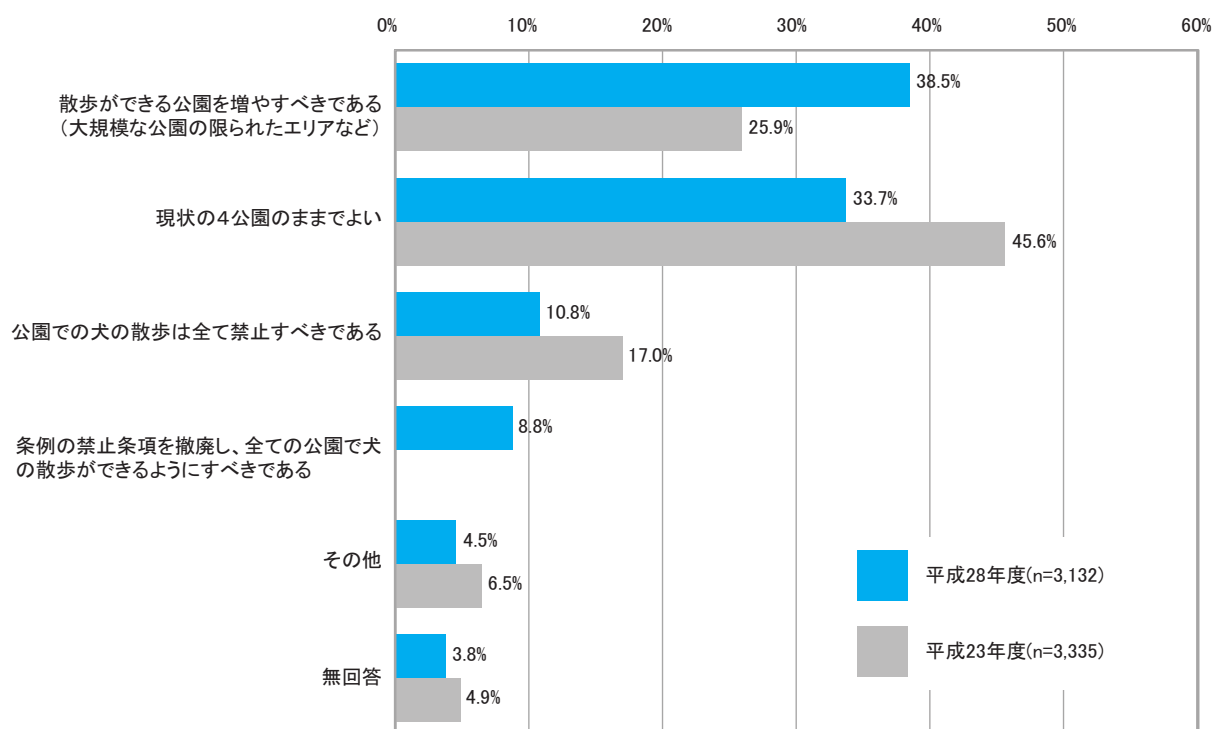
問7 今後、公園での犬の散歩について、どのようにしていくのが良いと思いますか。

今後の公園での犬の散歩についてどのようにしていくべきかについては、「散歩ができる公園を増やすべきである（大規模な公園の限られたエリアなど）」(38.5%)という回答が約4割と最も多い。次に、「現状の4公園のままでよい」(33.7%)と、「公園での犬の散歩は全て禁止すべきである」(10.8%)と続いている。

平成23年度に実施した同様の調査結果と比較すると、「現状の4公園のままでよい」は、前回(45.6%)は約5割と最も多かったものの、今回は33.7%と2番目に多い回答となり、11.9ポイント回答割合も減少している。一方、「散歩ができる公園を増やすべきである（大規模な公園の限られたエリアなど）」は、前回(25.9%)は約3割と2番目に多い回答となったものの、今回は38.5%と12.6ポイント回答割合が増加し、最も多い回答となっている。

男女別で見ると、最も回答が多い「散歩ができる公園を増やすべきである（大規模な公園の限られたエリアなど）」は、男女共ほぼ同じ回答割合となった。一方、「現状の4公園のままでよい」は、男性は29.5%と約3割となったものの、女性は36.6%と約4割となり、男性よりも回答割合が高い傾向にある。また、「条例の禁止条項を撤廃し、全ての公園で犬の散歩ができるようにすべきである」は、男性が11.9%と1割を超えたものの、女性は6.6%となり、男性が女性よりも回答割合が高い傾向にある。

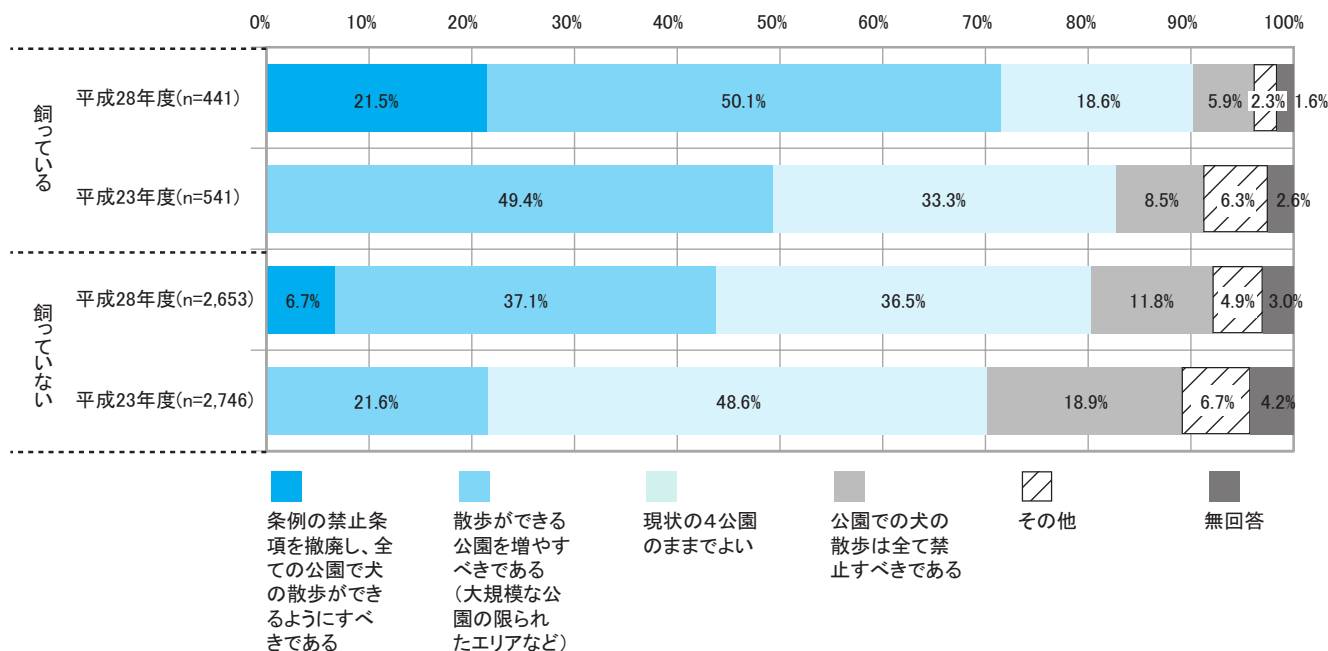
年代別に見ると、10歳代から50歳代は、「散歩ができる公園を増やすべきである（大規模な公園の限られたエリアなど）」という回答が最も多い。特に、10歳代、20歳代は約5割となった。一方、60歳代、70歳以上は、「現状の4公園のままでよい」という回答が最も多くなった。また、「公園での犬の散歩は全て禁止すべきである」は、60歳代、70歳以上で回答が1割を超えた。特に、70歳以上は2割を超えている。



※「条例の禁止条項を撤廃し、全ての公園で犬の散歩ができるようにすべきである」は、今回新設された選択肢であり、平成23年度の同様の調査では、選択肢はない。

犬を飼っているかどうかで見ると、「条例の禁止条項を撤廃し、全ての公園で犬の散歩ができるようにすべきである」は、犬を飼っていない方は6.7%と、1割に満たないものの、犬を飼っている方は21.5%と約2割となった。また、「散歩ができる公園を増やすべきである（大規模な公園の限られたエリアなど）」でも、犬を飼っていない方が37.1%と約4割に対し、犬を飼っている方は50.1%と5割となっている。一方、「公園での犬の散歩は全て禁止すべきである」は、犬を飼っていない方は11.8%と1割を超えているものの、犬を飼っている方は5.9%となった。

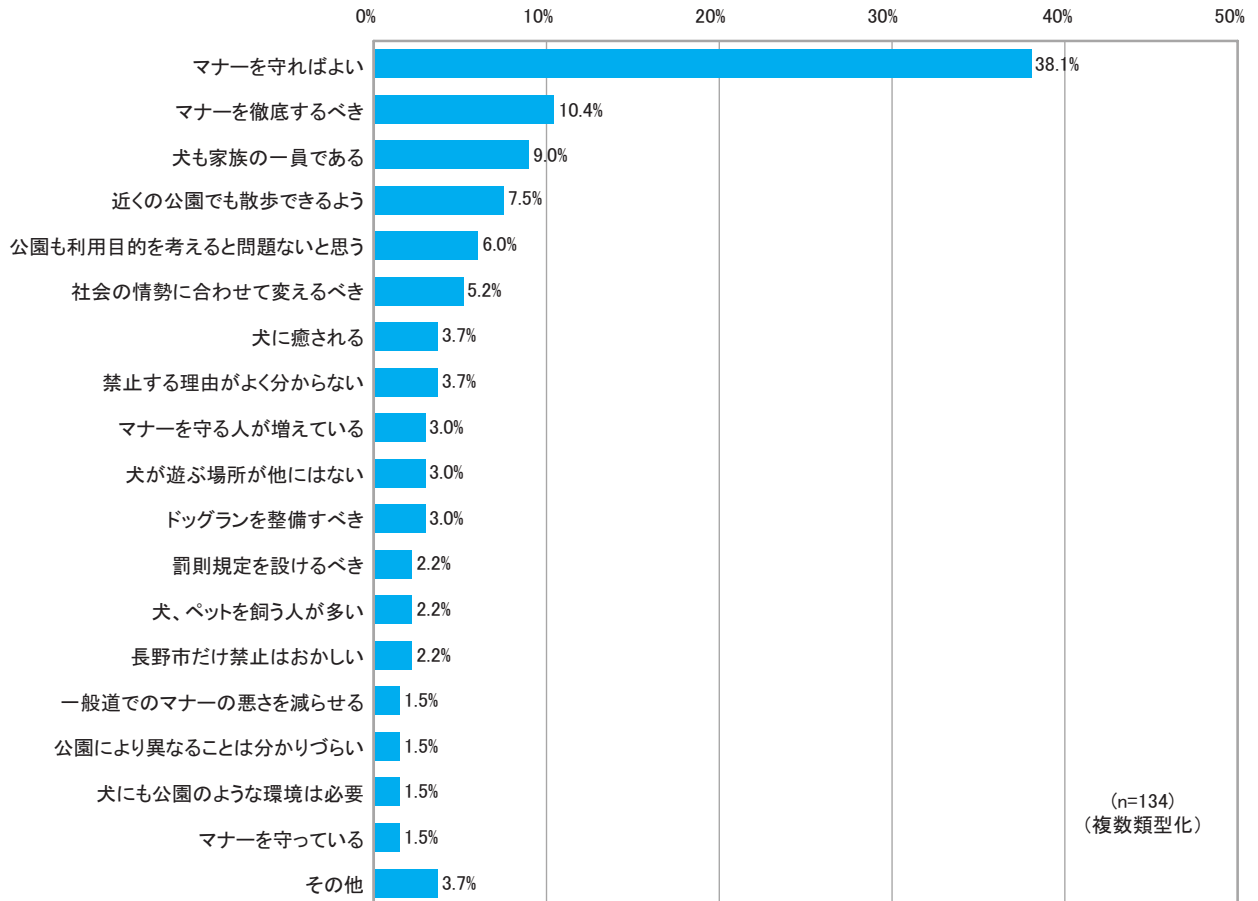
平成23年度に実施した同様の調査と比較すると、「散歩ができる公園を増やすべきである（大規模な公園の限られたエリアなど）」という回答は、犬を飼っている方は前回、今回とも約5割と、ほぼ同じ回答割合となっている。一方、犬を飼っていない方は、前は21.6%と約2割であったが、今回は37.1%と15.5ポイント増加し、約4割となっている。また、「公園での犬の散歩は全て禁止すべきである」は、犬を飼っている、いないにかかわらず、前回より今回の回答割合が低くなっている。特に、犬を飼っていない方は、7.1ポイント減少している。



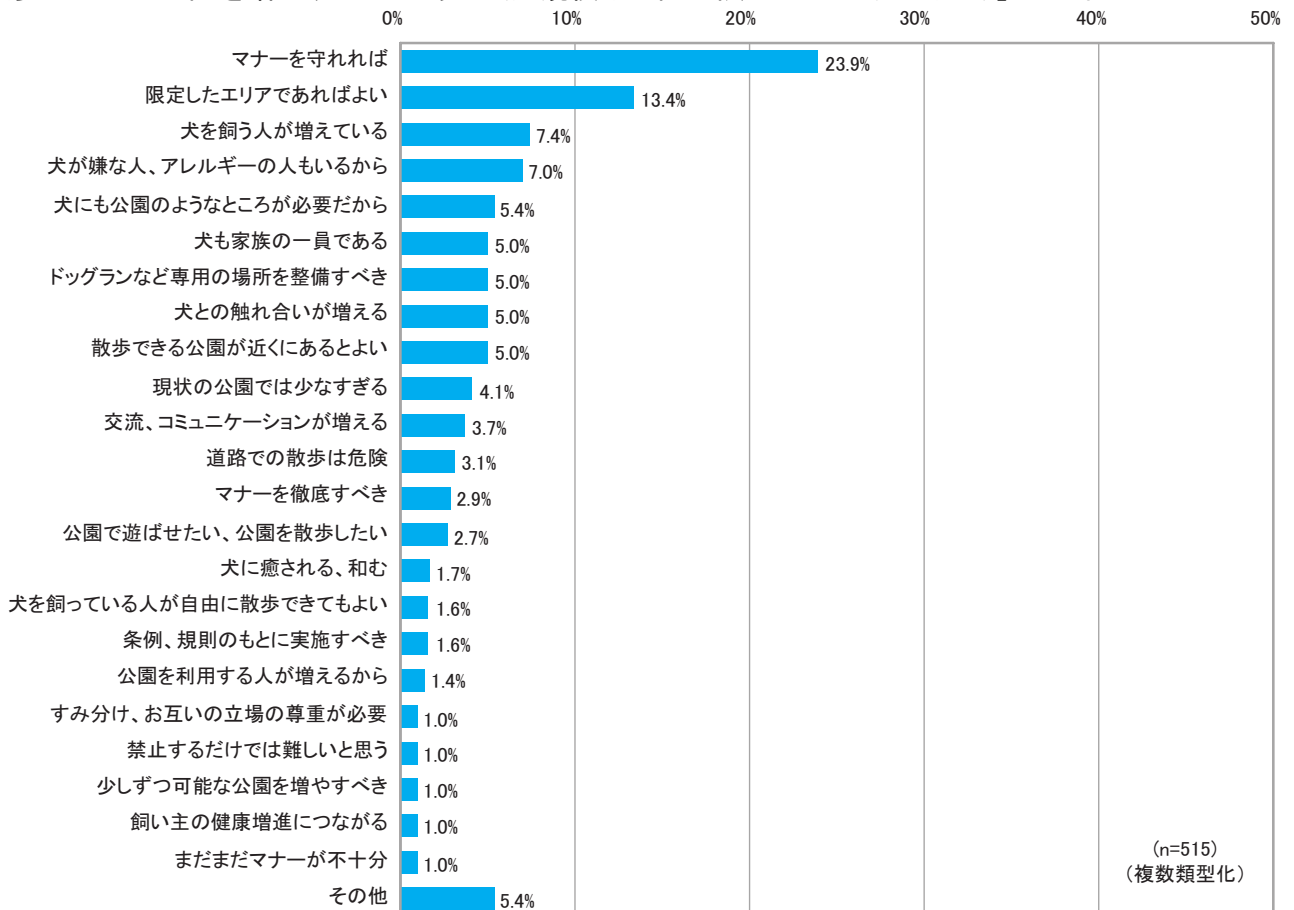
問7 今後、公園での犬の散歩について、どのようにしていくのが良いと思いますか。最も近い番号1つに○印をつけてください。

上段: 回答数(人) 下段: 割合(%)		合計	条例の禁止条項を撤廃し、全ての公園で犬の散歩ができるようにすべきである	散歩ができる公園を増やすべきである(大規模な公園の限られたエリアなど)	現状の4公園のままでよい	公園での犬の散歩は全て禁止すべきである	その他	無回答
全体		3,132	275	1,206	1,055	338	140	118
		100.0	8.8	38.5	33.7	10.8	4.5	3.8
性別	男性	1,304	155	507	385	160	56	41
		100.0	11.9	38.9	29.5	12.3	4.3	3.1
	女性	1,817	120	697	665	176	83	76
	100.0	6.6	38.4	36.6	9.7	4.6	4.2	
	無回答	11	0	2	5	2	1	1
		100.0	0.0	18.2	45.5	18.2	9.1	9.1
年代	10歳代	46	8	23	10	1	0	4
		100.0	17.4	50.0	21.7	2.2	0.0	8.7
	20歳代	248	26	130	73	6	8	5
		100.0	10.5	52.4	29.4	2.4	3.2	2.0
	30歳代	416	38	176	156	18	21	7
		100.0	9.1	42.3	37.5	4.3	5.0	1.7
	40歳代	571	57	255	195	33	19	12
		100.0	10.0	44.7	34.2	5.8	3.3	2.1
50歳代	540	57	208	173	53	32	17	
	100.0	10.6	38.5	32.0	9.8	5.9	3.1	
60歳代	716	54	242	247	103	33	37	
	100.0	7.5	33.8	34.5	14.4	4.6	5.2	
70歳以上	580	34	169	195	122	25	35	
	100.0	5.9	29.1	33.6	21.0	4.3	6.0	
	無回答	15	1	3	6	2	2	1
		100.0	6.7	20.0	40.0	13.3	13.3	6.7
地域区分	市街地地域	1,131	96	428	394	118	55	40
		100.0	8.5	37.8	34.8	10.4	4.9	3.5
	市街地周辺地域	721	69	271	246	74	31	30
		100.0	9.6	37.6	34.1	10.3	4.3	4.2
	犀南地域	849	64	354	277	88	35	31
		100.0	7.5	41.7	32.6	10.4	4.1	3.7
	松代・若穂	238	24	75	86	35	9	9
	100.0	10.1	31.5	36.1	14.7	3.8	3.8	
中山間地域	156	17	61	43	20	9	6	
	100.0	10.9	39.1	27.6	12.8	5.8	3.8	
	無回答	37	5	17	9	3	1	2
		100.0	13.5	45.9	24.3	8.1	2.7	5.4
職業	農・林・漁業	126	7	44	44	24	3	4
		100.0	5.6	34.9	34.9	19.0	2.4	3.2
	工業	34	2	15	9	2	5	1
		100.0	5.9	44.1	26.5	5.9	14.7	2.9
	商業・自由業	195	22	79	54	22	13	5
		100.0	11.3	40.5	27.7	11.3	6.7	2.6
	事務系会社員	275	28	126	86	22	6	7
		100.0	10.2	45.8	31.3	8.0	2.2	2.5
	サービス系会社員	313	34	148	89	18	14	10
		100.0	10.9	47.3	28.4	5.8	4.5	3.2
	技術系会社員	317	44	123	106	27	12	5
		100.0	13.9	38.8	33.4	8.5	3.8	1.6
	公務員・教員	170	14	69	66	11	6	4
		100.0	8.2	40.6	38.8	6.5	3.5	2.4
主婦(主夫)	674	40	215	265	98	25	31	
	100.0	5.9	31.9	39.3	14.5	3.7	4.6	
パート・アルバイト	468	29	199	169	37	21	13	
	100.0	6.2	42.5	36.1	7.9	4.5	2.8	
無職(学生含む)	385	39	134	114	58	17	23	
	100.0	10.1	34.8	29.6	15.1	4.4	6.0	
その他	116	12	41	33	10	14	6	
	100.0	10.3	35.3	28.4	8.6	12.1	5.2	
	無回答	59	4	13	20	9	4	9
		100.0	6.8	22.0	33.9	15.3	6.8	15.3

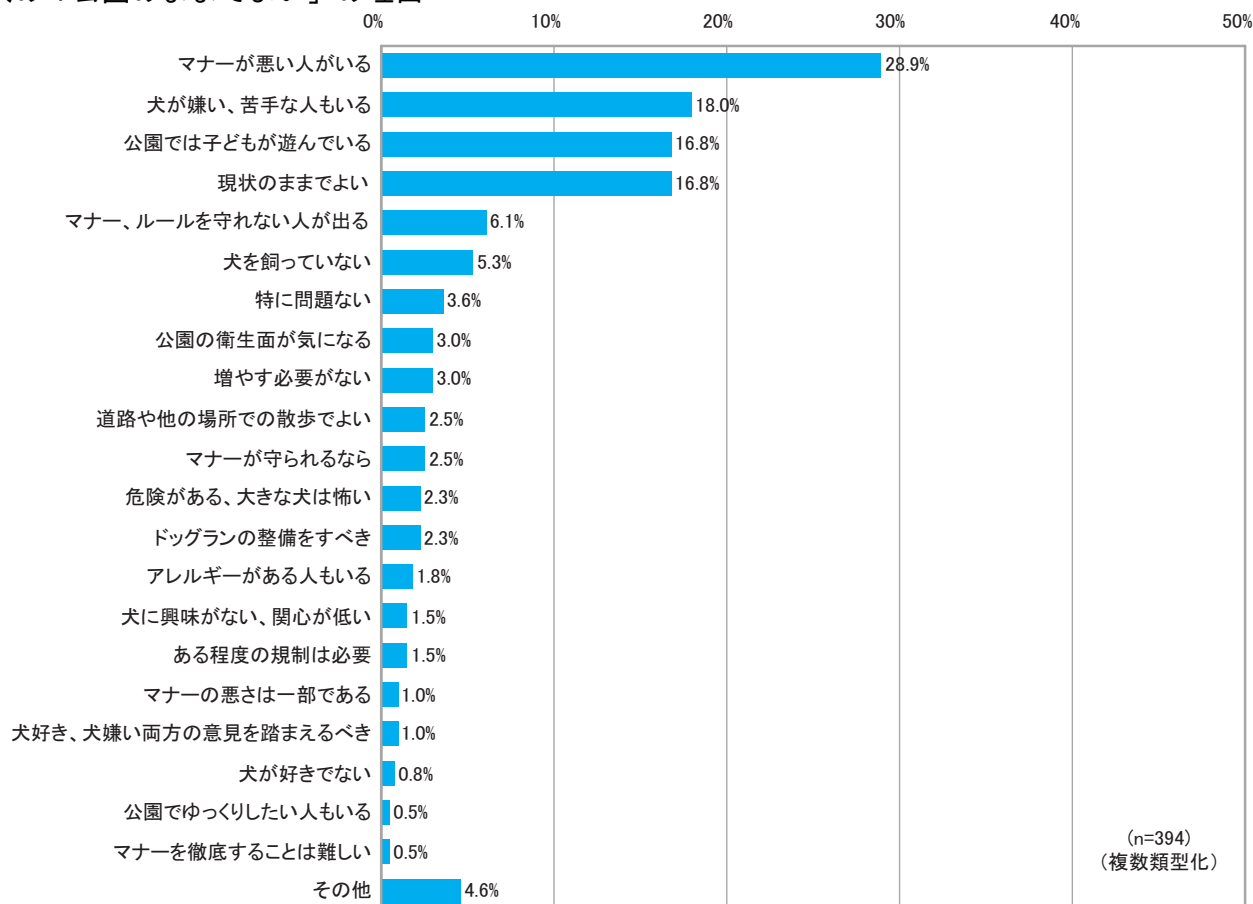
「条例の禁止条項を撤廃し、全ての公園で犬の散歩ができるようにすべきである」の理由



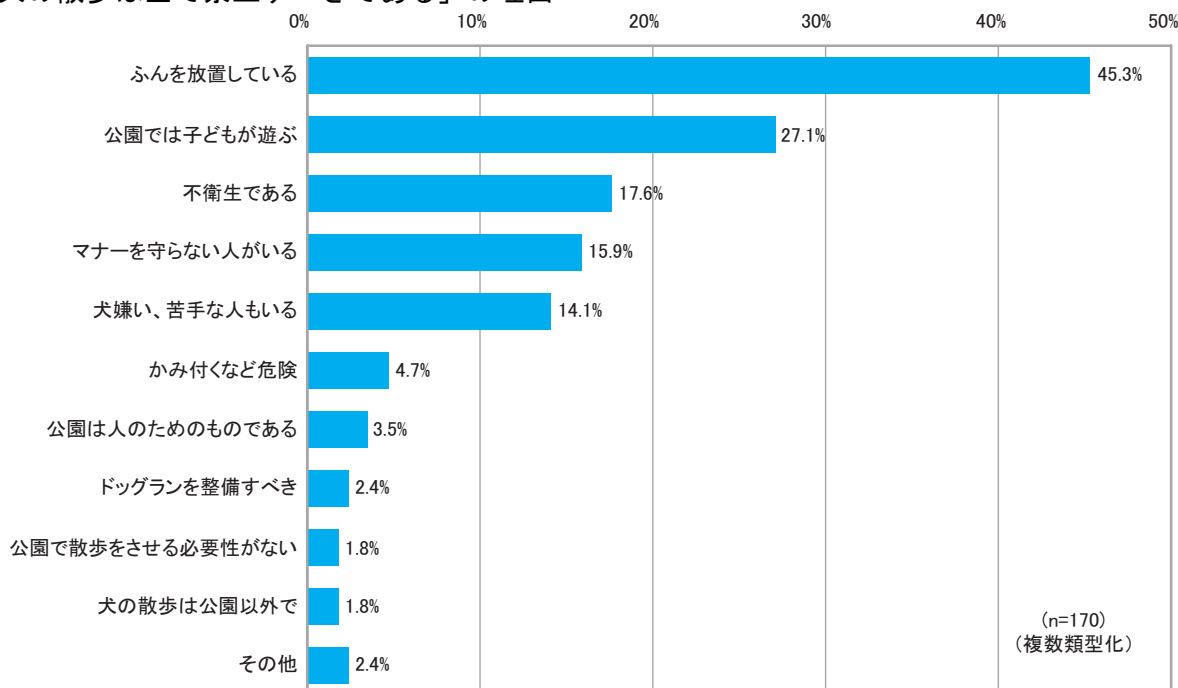
「散歩ができる公園を増やすべきである（大規模な公園の限られたエリアなど）」の理由



「現状の4公園のままでよい」の理由



「公園での犬の散歩は全て禁止すべきである」の理由



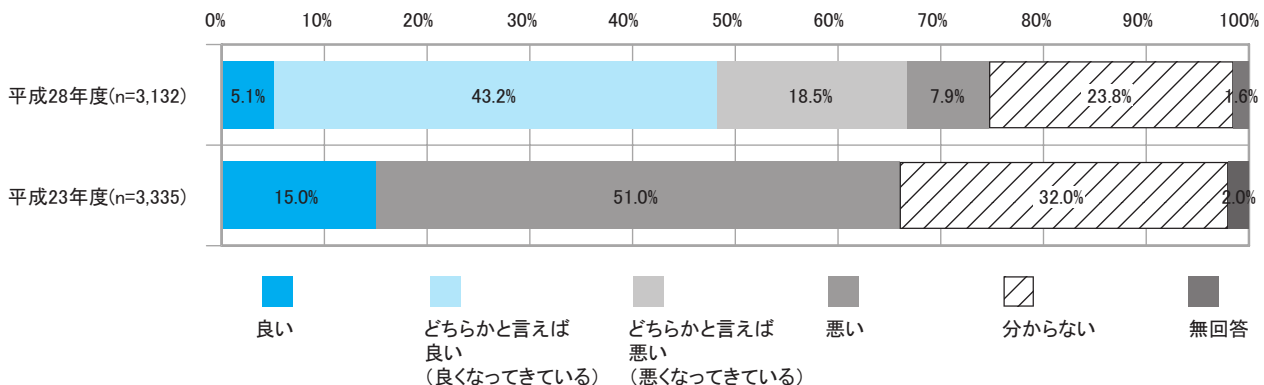
問8 犬を散歩させる際の飼い主のマナーについてどう思いますか。

犬を散歩させる際の飼い主のマナーについては、「どちらかと言えば良い（良くなってきている）」（43.2%）という回答が約4割と最も多い。次に、「分からない」（23.8%）、「どちらかと言えば悪い（悪くなっている）」（18.5%）と続いている。

平成23年度に実施した同様の調査結果と比較すると、前回の調査では「良い」、「悪い」、「分からない」という3つの選択肢のみであった。今回の調査結果を、「良い」と「どちらかと言えば良い（良くなってきている）」の合計を「良い」、「悪い」と「どちらかと言えば悪い（悪くなっている）」の合計を「悪い」として比較すると、前回は、「良い」が約2割であったものの、今回は約5割となっている。また、「悪い」という回答は、前回は約5割であったものの、今回は約3割となった。

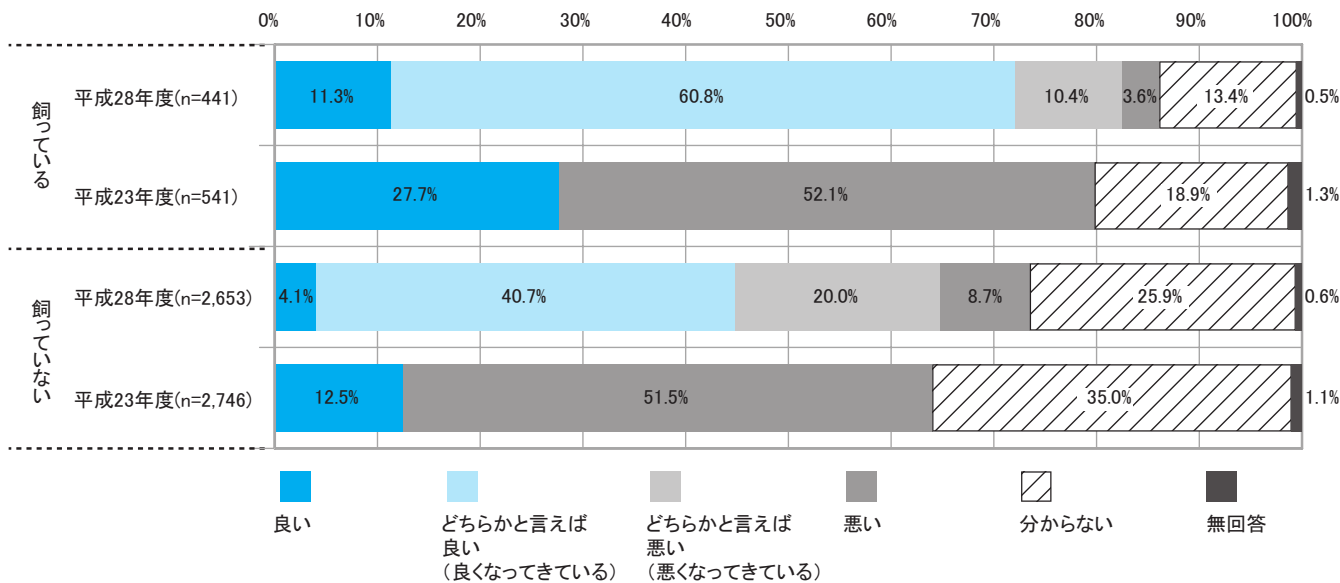
男女別で見ると、男女による差は少ない結果となっている。

年代別に見ると、いずれの年代でも「どちらかと言えば良い（良くなってきている）」という回答は、4割を超えている。40歳代以下は「良い」という回答も約1割となり、特に、10歳代は1割を超えている。一方、50歳代以上は「どちらかと言えば悪い（悪くなっている）」が、約2割となっている。特に、60歳代、70歳以上は2割を超えている。また、50歳代以上は「悪い」という回答も約1割となり、特に、70歳以上は1割を超えている。



犬を飼っているかどうかで見ると、犬を飼っていない方は、「良い」と「どちらかと言えば良い（良くなってきている）」の回答割合の合計は約4割となったものの、犬を飼っている方は7割を超えている。一方、「悪い」と「どちらかと言えば悪い（悪くなっている）」の回答割合の合計は、犬を飼っていない方は約3割となったものの、犬を飼っている方は約1割となっている。

平成23年度に実施した同様の調査結果と比較すると、犬を飼っている、いないにかかわらず、「良い」と「どちらかと言えば良い（良くなってきている）」の回答割合の合計は、前回よりも大幅に増加している。また、「悪い」と「どちらかと言えば悪い（悪くなっている）」の回答割合の合計は減少している。犬を飼っていない方も、「良い」と「どちらかと言えば良い（良くなってきている）」という回答割合の合計は、前回の約1割から32.3ポイント増加している。



問 8 犬を散歩させる際の飼い主のマナーについてどう思いますか。最も近い番号1つに○印をつけてください。

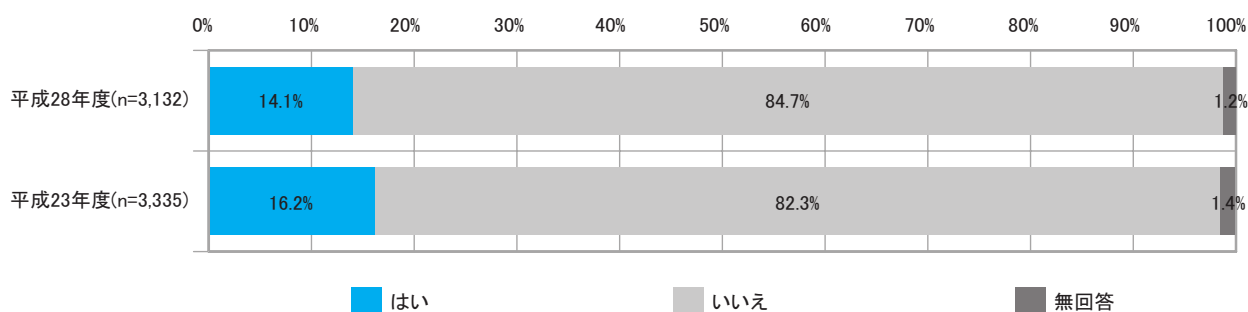
上段:回答数(人) 下段:割合(%)		合計	良い	どちらか かと言え ば良い (良くな って きてい る)	どちらか かと言え ば悪い (悪くな って きてい る)	悪い	分から ない	無回 答
全体		3,132	159	1,352	578	248	745	50
		100.0	5.1	43.2	18.5	7.9	23.8	1.6
性別	男性	1,304	65	562	258	110	283	26
		100.0	5.0	43.1	19.8	8.4	21.7	2.0
	女性	1,817	94	788	316	137	459	23
	100.0	5.2	43.4	17.4	7.5	25.3	1.3	
	無回答	11	0	2	4	1	3	1
	100.0	0.0	0.0	18.2	36.4	9.1	27.3	9.1
年代	10歳代	46	6	22	3	1	12	2
		100.0	13.0	47.8	6.5	2.2	26.1	4.3
	20歳代	248	24	107	25	8	79	5
		100.0	9.7	43.1	10.1	3.2	31.9	2.0
	30歳代	416	33	170	57	18	135	3
		100.0	7.9	40.9	13.7	4.3	32.5	0.7
	40歳代	571	34	251	81	30	169	6
		100.0	6.0	44.0	14.2	5.3	29.6	1.1
	50歳代	540	21	242	99	45	128	5
		100.0	3.9	44.8	18.3	8.3	23.7	0.9
60歳代	716	19	322	169	71	123	12	
	100.0	2.7	45.0	23.6	9.9	17.2	1.7	
70歳以上	580	21	234	140	73	96	16	
	100.0	3.6	40.3	24.1	12.6	16.6	2.8	
	無回答	15	1	4	4	2	3	1
	100.0	6.7	6.7	26.7	26.7	13.3	20.0	6.7
地域区分	市街地地域	1,131	56	460	205	106	286	18
		100.0	5.0	40.7	18.1	9.4	25.3	1.6
	市街地周辺地域	721	42	330	127	43	165	14
		100.0	5.8	45.8	17.6	6.0	22.9	1.9
	犀南地域	849	41	399	153	60	183	13
		100.0	4.8	47.0	18.0	7.1	21.6	1.5
	松代・若穂	238	11	84	58	22	61	2
	100.0	4.6	35.3	24.4	9.2	25.6	0.8	
中山間地域	156	4	62	30	14	45	1	
	100.0	2.6	39.7	19.2	9.0	28.8	0.6	
	無回答	37	5	17	5	3	5	2
	100.0	13.5	45.9	13.5	8.1	13.5	5.4	
職業	農・林・漁業	126	5	54	28	9	28	2
		100.0	4.0	42.9	22.2	7.1	22.2	1.6
	工業	34	2	20	3	3	5	1
		100.0	5.9	58.8	8.8	8.8	14.7	2.9
	商業・自由業	195	8	98	37	17	29	6
		100.0	4.1	50.3	19.0	8.7	14.9	3.1
	事務系会社員	275	16	117	51	19	68	4
		100.0	5.8	42.5	18.5	6.9	24.7	1.5
	サービス系会社員	313	15	131	58	17	87	5
		100.0	4.8	41.9	18.5	5.4	27.8	1.6
	技術系会社員	317	19	131	56	25	84	2
		100.0	6.0	41.3	17.7	7.9	26.5	0.6
	公務員・教員	170	11	82	26	13	37	1
		100.0	6.5	48.2	15.3	7.6	21.8	0.6
	主婦(主夫)	674	39	270	137	65	155	8
	100.0	5.8	40.1	20.3	9.6	23.0	1.2	
パート・アルバイト	468	17	213	78	31	125	4	
	100.0	3.6	45.5	16.7	6.6	26.7	0.9	
無職(学生含む)	385	18	166	76	34	81	10	
	100.0	4.7	43.1	19.7	8.8	21.0	2.6	
その他	116	3	49	18	8	35	3	
	100.0	2.6	42.2	15.5	6.9	30.2	2.6	
無回答	59	6	21	10	7	11	4	
	100.0	10.2	35.6	16.9	11.9	18.6	6.8	

犬の飼育 「飼っている」は1割強

問9 あなたの家では犬を飼っていますか。

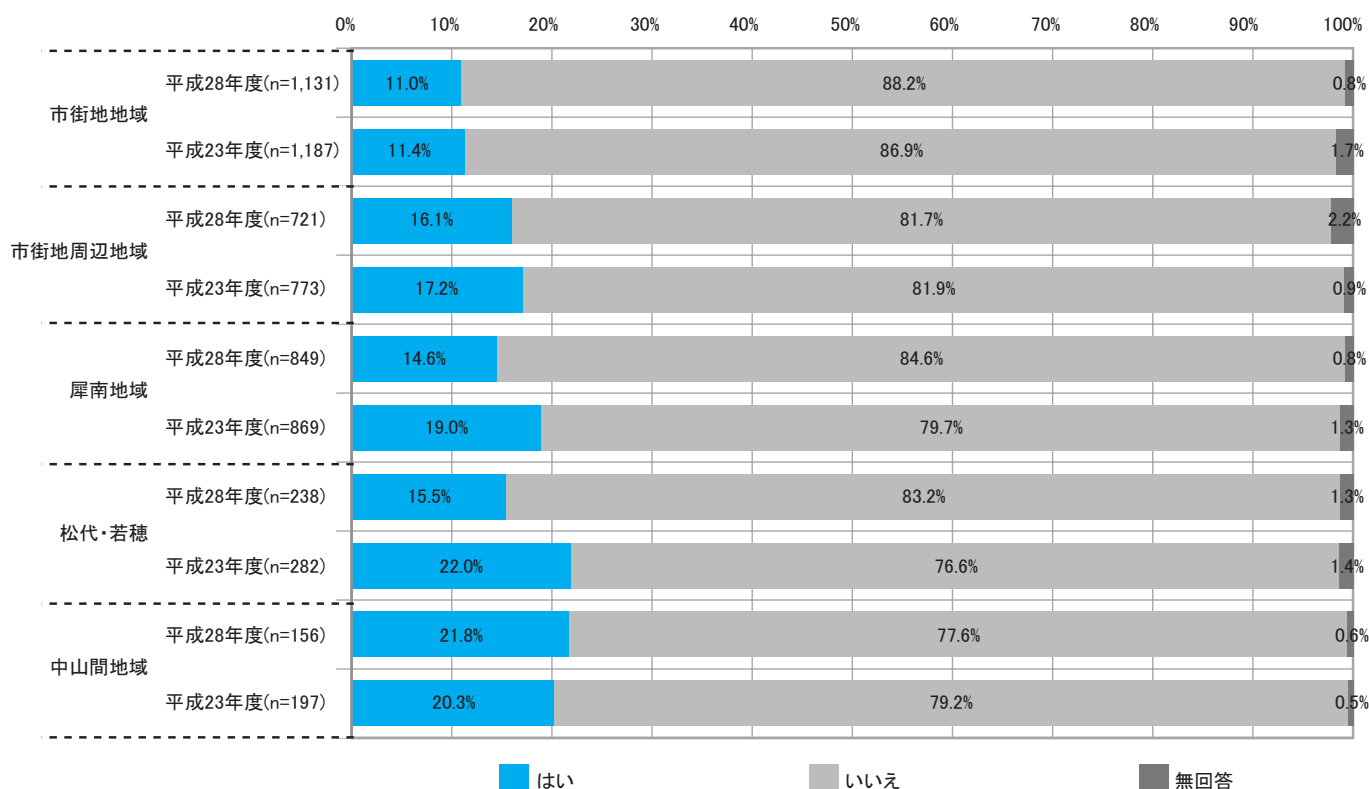
犬を飼っているかについては、「はい」という回答は14.1%となり、「いいえ」(84.7%)は8割を超えている。

平成23年度に実施した同様の調査結果と比較すると、「はい」という回答は、2.1ポイント減少している。



地域区別で見ると、「はい」という回答は、中山間地域(21.8%)は2割を超え、地域区分の中で最も多い。次に、市街地周辺地域(16.1%)、松代・若穂(15.5%)と続いている。

平成23年度に実施した同様の調査結果と比較すると、中山間地域は、「はい」という回答が1.5ポイント増加している。一方、他の地域区分は、「はい」という回答が減少している。特に、松代・若穂は6.5ポイント、犀南地域は4.4ポイントと、他の地域区分よりもやや大きな減少となっている。



問9 あなたの家では犬を飼っていますか。どちらかに○印をつけてください。

上段:回答数(人) 下段:割合(%)		合計	はい	いいえ	無回答
全体		3,132	441	2,653	38
		100.0	14.1	84.7	1.2
性別	男性	1,304	207	1,078	19
		100.0	15.9	82.7	1.5
	女性	1,817	232	1,567	18
	100.0	12.8	86.2	1.0	
	無回答	11	2	8	1
		100.0	18.2	72.7	9.1
年代	10歳代	46	10	34	2
		100.0	21.7	73.9	4.3
	20歳代	248	50	193	5
		100.0	20.2	77.8	2.0
	30歳代	416	43	371	2
		100.0	10.3	89.2	0.5
	40歳代	571	70	496	5
		100.0	12.3	86.9	0.9
	50歳代	540	92	444	4
		100.0	17.0	82.2	0.7
60歳代	716	107	600	9	
	100.0	14.9	83.8	1.3	
70歳以上	580	69	501	10	
	100.0	11.9	86.4	1.7	
	無回答	15	0	14	1
		100.0	0.0	93.3	6.7
地域区分	市街地地域	1,131	124	998	9
		100.0	11.0	88.2	0.8
	市街地周辺地域	721	116	589	16
		100.0	16.1	81.7	2.2
	犀南地域	849	124	718	7
		100.0	14.6	84.6	0.8
	松代・若穂	238	37	198	3
	100.0	15.5	83.2	1.3	
中山間地域	156	34	121	1	
	100.0	21.8	77.6	0.6	
	無回答	37	6	29	2
		100.0	16.2	78.4	5.4
職業	農・林・漁業	126	26	100	0
		100.0	20.6	79.4	0.0
	工業	34	7	26	1
		100.0	20.6	76.5	2.9
	商業・自由業	195	38	153	4
		100.0	19.5	78.5	2.1
	事務系会社員	275	50	221	4
		100.0	18.2	80.4	1.5
	サービス系会社員	313	47	261	5
		100.0	15.0	83.4	1.6
	技術系会社員	317	51	265	1
		100.0	16.1	83.6	0.3
	公務員・教員	170	20	149	1
		100.0	11.8	87.6	0.6
	主婦(主夫)	674	77	592	5
		100.0	11.4	87.8	0.7
パート・アルバイト	468	47	417	4	
	100.0	10.0	89.1	0.9	
無職(学生含む)	385	48	329	8	
	100.0	12.5	85.5	2.1	
その他	116	20	94	2	
	100.0	17.2	81.0	1.7	
無回答	59	10	46	3	
	100.0	16.9	78.0	5.1	

空き家対策について

空き家増加による懸念 「生活環境の悪化」、「防火・防犯上の不安」が約6割

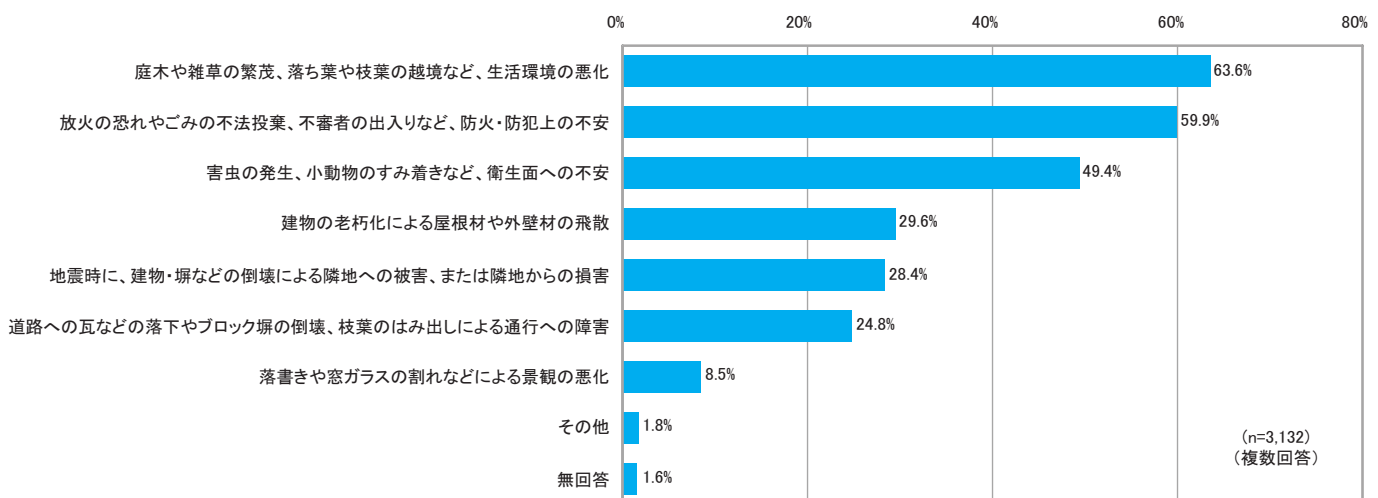
問10 今後、空き家の増加が見込まれます。お住まいの地域で空き家が発生した（している）場合、どのような問題が懸念されますか。

空き家の増加によって懸念される問題としては、「庭木や雑草の繁茂、落ち葉や枝葉の越境など、生活環境の悪化」（63.6%）という回答が約6割と最も多い。また、「放火の恐れやごみの不法投棄、不審者の出入りなど、防火・防犯上の不安」（59.9%）が約6割となり、次に、「害虫の発生、小動物のすみ着きなど、衛生面への不安」（49.4%）と続いている。

男女別で見ると、男女共、上位3項目の順番は同じである。しかし、「害虫の発生、小動物のすみ着きなど、衛生面への不安」は、男性が45.7%であるものの、女性は52.1%と、6.4ポイント男性よりも回答割合が高い。

年代別に見ると、50歳代以上は、「庭木や雑草の繁茂、落ち葉や枝葉の越境など、生活環境の悪化」という回答が6割を超え、最も回答が多かった。一方、20歳代から40歳代は、「放火の恐れやごみの不法投棄、不審者の出入りなど、防火・防犯上の不安」という回答が約6割となり、最も回答が多かった。

地域区分別で見ると、犀南地域を除き、「庭木や雑草の繁茂、落ち葉や枝葉の越境など、生活環境の悪化」という回答が約6割となり、最も回答が多く、犀南地域はわずかの差で「放火の恐れやごみの不法投棄、不審者の出入りなど、防火・防犯上の不安」という回答が最も多かった。しかし、2番目に多い回答は、市街地地域、市街地周辺地域は、「放火の恐れやごみの不法投棄、不審者の出入りなど、防火・防犯上の不安」となったものの、松代・若穂、中山間地域は、「害虫の発生、小動物のすみ着きなど、衛生面への不安」となった。また、「建物の老朽化による屋根材や外壁材の飛散」という回答は、松代・若穂および中山間地域で回答割合が約4割となり、他の地域よりも高い傾向にある。



問 10 今後、空き家の増加が見込まれます。お住まいの地域で空き家が発生した（している）場合、どのような問題が懸念されますか。該当する番号3つ以内に○印をつけてください。

上段:回答数(人) 下段:割合(%)		対象	庭木や雑草の繁茂、落ち葉や枝葉の越境など、生活環境の悪化	建物や外壁材の飛散	建物の老朽化による屋根材や外壁材の飛散	地震時に、建物・塀などの倒壊による隣地への被害、または隣地からの損害	道路への瓦などの落下やブロック塀の倒壊、枝葉のはみ出しによる通行への障害	害虫の発生、小動物のすみ着きなど、衛生面への不安	放火の恐れやごみの不法投棄、不審者の出入りなど、防火・防犯上の不安	放火の恐れやごみの不法投棄、不審者の出入りなど、防火・防犯上の不安	落書きや窓ガラスの割れなどによる景観の悪化	その他	無回答
全体		3,132	1,991	926	891	776	1,548	1,877	266	56	51		
		-	63.6	29.6	28.4	24.8	49.4	59.9	8.5	1.8	1.6		
性別	男性	1,304	831	429	362	326	596	785	113	27	16		
		-	63.7	32.9	27.8	25.0	45.7	60.2	8.7	2.1	1.2		
	女性	1,817	1,155	495	527	448	947	1,083	152	29	34		
		-	63.6	27.2	29.0	24.7	52.1	59.6	8.4	1.6	1.9		
無回答		11	5	2	2	2	5	9	1	0	1		
		-	45.5	18.2	18.2	18.2	45.5	81.8	9.1	0.0	9.1		
年代	10歳代	46	26	9	15	8	18	24	6	1	0		
		-	56.5	19.6	32.6	17.4	39.1	52.2	13.0	2.2	0.0		
	20歳代	248	141	73	80	60	133	144	35	5	2		
		-	56.9	29.4	32.3	24.2	53.6	58.1	14.1	2.0	0.8		
	30歳代	416	243	131	154	106	190	250	49	5	2		
		-	58.4	31.5	37.0	25.5	45.7	60.1	11.8	1.2	0.5		
	40歳代	571	323	185	177	147	264	373	64	8	6		
		-	56.6	32.4	31.0	25.7	46.2	65.3	11.2	1.4	1.1		
	50歳代	540	344	179	157	128	264	327	45	7	3		
		-	63.7	33.1	29.1	23.7	48.9	60.6	8.3	1.3	0.6		
60歳代	716	506	200	182	186	362	423	41	12	13			
	-	70.7	27.9	25.4	26.0	50.6	59.1	5.7	1.7	1.8			
70歳以上	580	400	147	120	137	311	324	25	18	24			
	-	69.0	25.3	20.7	23.6	53.6	55.9	4.3	3.1	4.1			
無回答		15	8	2	6	4	6	12	1	0	1		
		-	53.3	13.3	40.0	26.7	40.0	80.0	6.7	0.0	6.7		
地域区分	市街地地域	1,131	711	308	330	293	544	695	106	22	16		
		-	62.9	27.2	29.2	25.9	48.1	61.5	9.4	1.9	1.4		
	市街地周辺地域	721	478	203	214	160	356	439	56	12	17		
		-	66.3	28.2	29.7	22.2	49.4	60.9	7.8	1.7	2.4		
	犀南地域	849	532	246	223	208	427	533	63	14	12		
		-	62.7	29.0	26.3	24.5	50.3	62.8	7.4	1.6	1.4		
	松代・若穂	238	158	89	68	62	123	121	21	5	2		
	-	66.4	37.4	28.6	26.1	51.7	50.8	8.8	2.1	0.8			
中山間地域	156	92	68	40	37	80	70	16	3	3			
	-	59.0	43.6	25.6	23.7	51.3	44.9	10.3	1.9	1.9			
無回答		37	20	12	16	16	18	19	4	0	1		
		-	54.1	32.4	43.2	43.2	48.6	51.4	10.8	0.0	2.7		
職業	農・林・漁業	126	80	50	27	37	64	68	11	2	1		
		-	63.5	39.7	21.4	29.4	50.8	54.0	8.7	1.6	0.8		
	工業	34	23	8	6	7	20	20	0	0	1		
		-	67.6	23.5	17.6	20.6	58.8	58.8	0.0	0.0	2.9		
	商業・自由業	195	110	75	54	51	98	104	16	5	9		
		-	56.4	38.5	27.7	26.2	50.3	53.3	8.2	2.6	4.6		
	事務系会社員	275	179	103	73	64	129	175	25	0	1		
		-	65.1	37.5	26.5	23.3	46.9	63.6	9.1	0.0	0.4		
	サービス系会社員	313	185	92	106	78	156	183	42	5	4		
		-	59.1	29.4	33.9	24.9	49.8	58.5	13.4	1.6	1.3		
	技術系会社員	317	186	103	103	80	152	192	26	6	0		
		-	58.7	32.5	32.5	25.2	47.9	60.6	8.2	1.9	0.0		
	公務員・教員	170	114	48	45	42	86	112	24	2	1		
		-	67.1	28.2	26.5	24.7	50.6	65.9	14.1	1.2	0.6		
	主婦(主夫)	674	467	158	173	166	363	407	39	14	12		
		-	69.3	23.4	25.7	24.6	53.9	60.4	5.8	2.1	1.8		
パート・アルバイト	468	294	139	138	111	230	292	42	7	5			
	-	62.8	29.7	29.5	23.7	49.1	62.4	9.0	1.5	1.1			
無職(学生含む)	385	250	101	105	101	165	223	30	8	11			
	-	64.9	26.2	27.3	26.2	42.9	57.9	7.8	2.1	2.9			
その他	116	72	32	42	24	61	65	6	3	1			
	-	62.1	27.6	36.2	20.7	52.6	56.0	5.2	2.6	0.9			
無回答		59	31	17	19	15	24	36	5	4	5		
		-	52.5	28.8	32.2	25.4	40.7	61.0	8.5	6.8	8.5		

空き家の所有

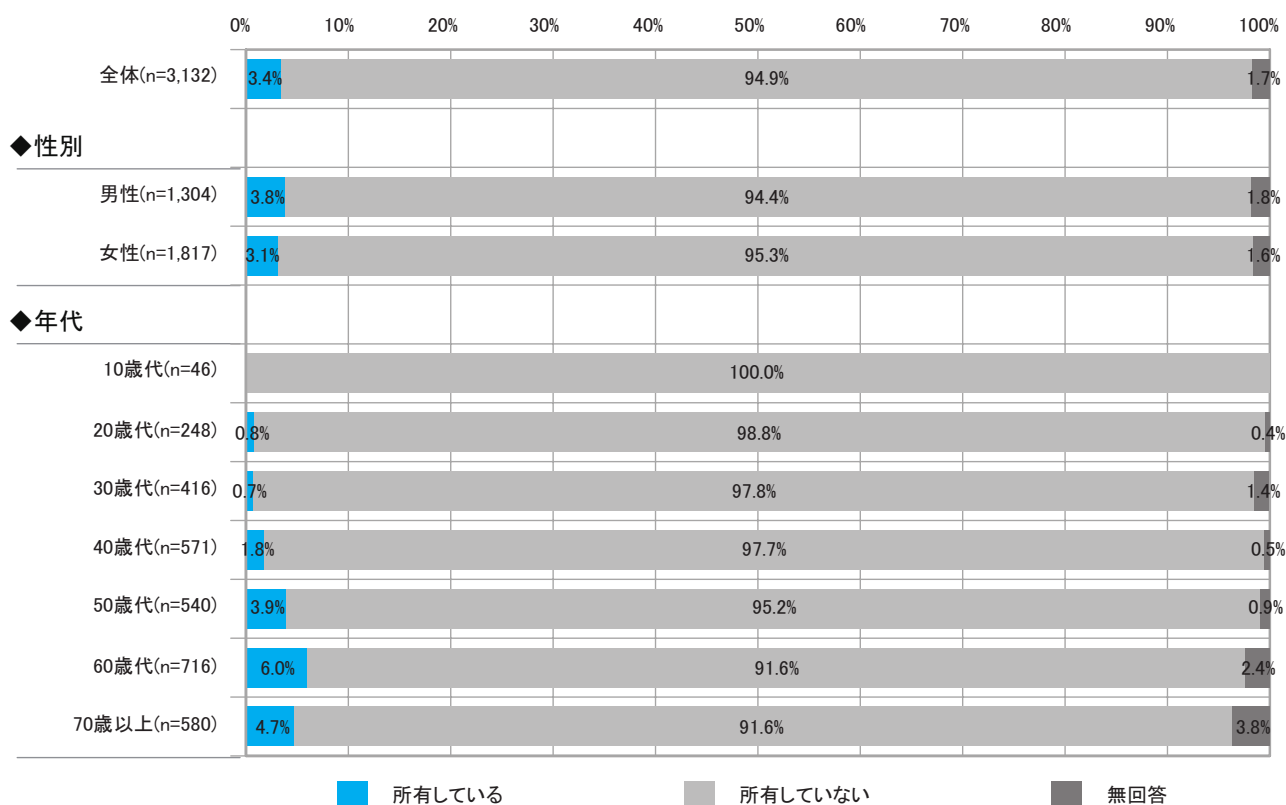
「所有している」は3.4%

問 11 あなたは現在、市内に空き家を所有していますか。

現在市内に空き家を所有しているかについては、「所有している」という回答は3.4%となり、「所有していない」(94.9%)は9割を超えている。

年代別に見ると、30歳代以下は「所有している」という回答は1%に満たない。一方、50歳代で3.9%となり、60歳代は6.0%と、年代層の中で最も高い回答割合となっている。

地域区別で見ると、松代・若穂で5.0%と、地域区分の中で最も高い回答割合となっている。次に、犀南地域が3.9%、中山間地域が3.8%と続いている。



問 11 あなたは現在、市内に空き家を所有していますか。どちらかに○印をつけてください。

上段:回答数(人) 下段:割合(%)		合計	所有している	所有していない	無回答	
全体		3,132	107	2,971	54	
		100.0	3.4	94.9	1.7	
性別	男性	1,304	49	1,231	24	
		100.0	3.8	94.4	1.8	
	女性	1,817	56	1,732	29	
		100.0	3.1	95.3	1.6	
無回答		11	2	8	1	
		100.0	18.2	72.7	9.1	
年代	10歳代	46	0	46	0	
		100.0	0.0	100.0	0.0	
	20歳代	248	2	245	1	
		100.0	0.8	98.8	0.4	
	30歳代	416	3	407	6	
		100.0	0.7	97.8	1.4	
	40歳代	571	10	558	3	
		100.0	1.8	97.7	0.5	
	50歳代	540	21	514	5	
		100.0	3.9	95.2	0.9	
	60歳代	716	43	656	17	
		100.0	6.0	91.6	2.4	
	70歳以上	580	27	531	22	
		100.0	4.7	91.6	3.8	
	無回答		15	1	14	0
			100.0	6.7	93.3	0.0
地域区分	市街地地域	1,131	33	1,084	14	
		100.0	2.9	95.8	1.2	
	市街地周辺地域	721	22	686	13	
		100.0	3.1	95.1	1.8	
	犀南地域	849	33	800	16	
		100.0	3.9	94.2	1.9	
	松代・若穂	238	12	224	2	
	100.0	5.0	94.1	0.8		
中山間地域	156	6	141	9		
	100.0	3.8	90.4	5.8		
無回答		37	1	36	0	
		100.0	2.7	97.3	0.0	
職業	農・林・漁業	126	3	115	8	
		100.0	2.4	91.3	6.3	
	工業	34	1	32	1	
		100.0	2.9	94.1	2.9	
	商業・自由業	195	9	181	5	
		100.0	4.6	92.8	2.6	
	事務系会社員	275	10	263	2	
		100.0	3.6	95.6	0.7	
	サービス系会社員	313	7	302	4	
		100.0	2.2	96.5	1.3	
	技術系会社員	317	11	304	2	
		100.0	3.5	95.9	0.6	
	公務員・教員	170	2	166	2	
		100.0	1.2	97.6	1.2	
	主婦(主夫)	674	29	636	9	
		100.0	4.3	94.4	1.3	
	パート・アルバイト	468	19	445	4	
	100.0	4.1	95.1	0.9		
無職(学生含む)	385	10	364	11		
	100.0	2.6	94.5	2.9		
その他	116	4	111	1		
	100.0	3.4	95.7	0.9		
無回答	59	2	52	5		
	100.0	3.4	88.1	8.5		

相続による住宅の扱い

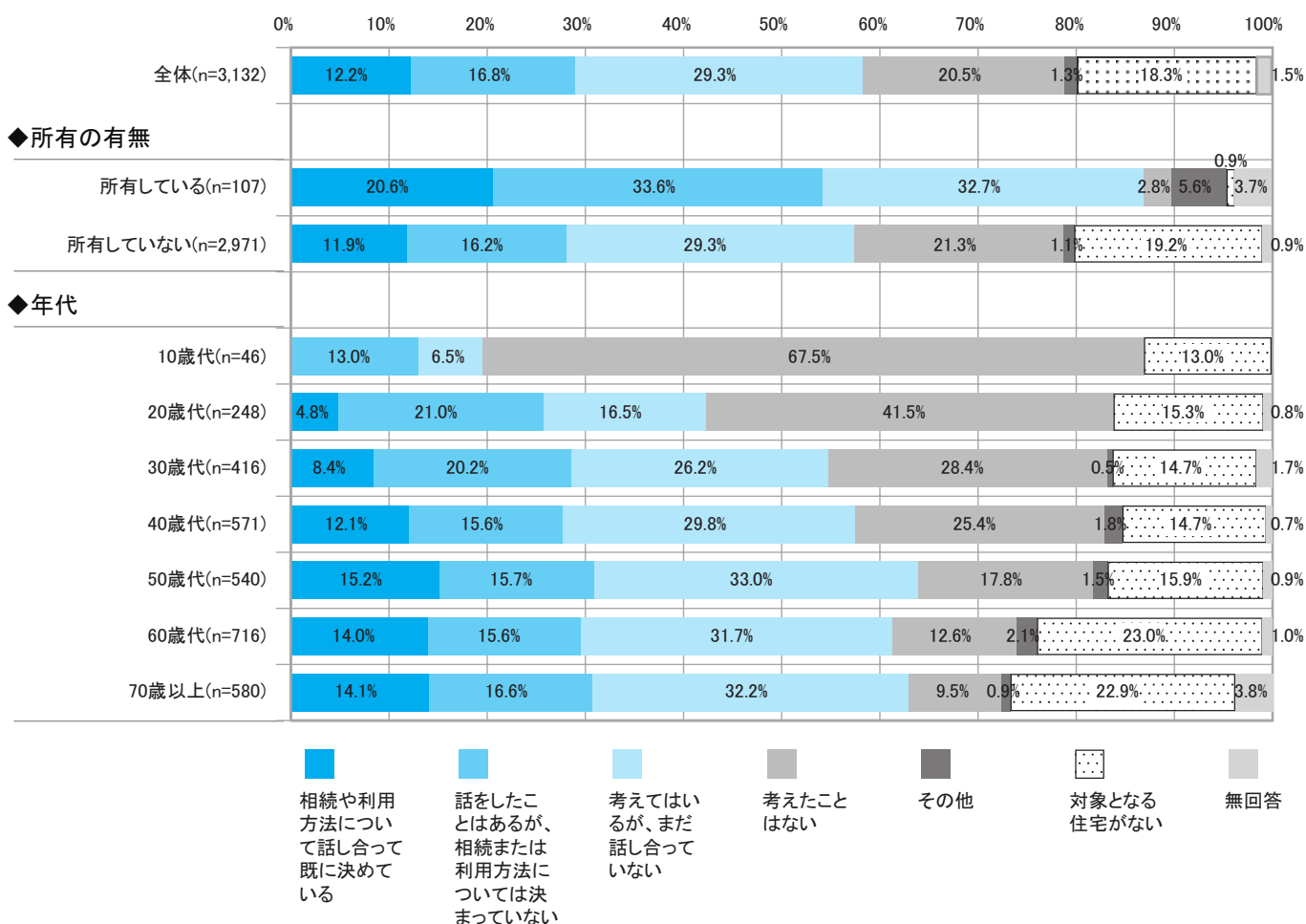
「考えてはいるが、まだ話し合っていない」が約3割

問 12 空き家が発生する理由として、相続して取得した住宅がそのまま空き家になることが多いといわれています。あなたがお住まいの住宅あるいは親の住宅について、家族で話し合ったことがありますか。

現在住んでいる、もしくは親の住宅について、家族で今後のことを話し合ったことがあるかどうかについては、「考えてはいるが、まだ話し合っていない」(29.3%)という回答が約3割と最も多い。次に、「考えたことはない」(20.5%)、「対象となる住宅がない」(18.3%)、「話をしたことはあるが、相続または利用方法については決まっていない」(16.8%)と続いている。一方、「相続や利用方法について話し合って既に決めている」(12.2%)は約1割となった。

所有の有無で見ると、所有している方は「話をしたことはあるが、相続または利用方法については決まっていない」(33.6%)という回答が最も多く、次に、ほぼ同じ割合で「考えてはいるが、まだ話し合っていない」(32.7%)となった。一方、所有していない方は、「考えてはいるが、まだ話し合っていない」(29.3%)という回答が最も多く、次に「考えたことはない」(21.3%)と続いている。

年代別に見ると、10歳代から30歳代は、「考えたことはない」という回答が最も多い。一方、40歳代以上は、「考えてはいるが、まだ話し合っていない」という回答が最も多くなり、50歳代以上は3割を超えている。



問 12 空き家が発生する理由として、相続して取得した住宅がそのまま空き家になることが多いといわれています。
 あなたがお住まいの住宅あるいは親の住宅について、家族で話し合ったことがありますか。最も近い番号 1 つに○印をつけてください。

上段:回答数(人) 下段:割合(%)		合計	相続や利用方 法について話し 合っていて既に決 めている	相続や利用方 法について話し 合っていない	話をしたこと はあるが、相 続または利用 方法については 決まっていない	話をしたこと はあるが、相 続または利用 方法については 決まっていない	考えたことは ない	考えたことは ない	その他	対象となる住 宅がない	無回 答
全体		3,132	383	527	919	642	41	573	47		
		100.0	12.2	16.8	29.3	20.5	1.3	18.3	1.5		
性別	男性	1,304	147	193	417	289	14	225	19		
		100.0	11.3	14.8	32.0	22.2	1.1	17.3	1.5		
	女性	1,817	233	332	499	351	27	347	28		
		100.0	12.8	18.3	27.5	19.3	1.5	19.1	1.5		
無回答		11	3	2	3	2	0	1	0		
		100.0	27.3	18.2	27.3	18.2	0.0	9.1	0.0		
	10歳代	46	0	6	3	31	0	6	0		
		100.0	0.0	13.0	6.5	67.4	0.0	13.0	0.0		
20歳代	248	12	52	41	103	0	38	2			
	100.0	4.8	21.0	16.5	41.5	0.0	15.3	0.8			
30歳代	416	35	84	109	118	2	61	7			
	100.0	8.4	20.2	26.2	28.4	0.5	14.7	1.7			
40歳代	571	69	89	170	145	10	84	4			
	100.0	12.1	15.6	29.8	25.4	1.8	14.7	0.7			
50歳代	540	82	85	178	96	8	86	5			
	100.0	15.2	15.7	33.0	17.8	1.5	15.9	0.9			
60歳代	716	100	112	227	90	15	165	7			
	100.0	14.0	15.6	31.7	12.6	2.1	23.0	1.0			
70歳以上	580	82	96	187	55	5	133	22			
	100.0	14.1	16.6	32.2	9.5	0.9	22.9	3.8			
無回答	15	3	3	4	4	1	0	0			
	100.0	20.0	20.0	26.7	26.7	6.7	0.0	0.0			
	市街地地域	1,131	137	165	339	224	19	234	13		
		100.0	12.1	14.6	30.0	19.8	1.7	20.7	1.1		
市街地周辺地域	721	84	134	205	157	10	119	12			
	100.0	11.7	18.6	28.4	21.8	1.4	16.5	1.7			
犀南地域	849	110	153	234	174	10	155	13			
	100.0	13.0	18.0	27.6	20.5	1.2	18.3	1.5			
松代・若穂	238	26	43	80	51	2	31	5			
	100.0	10.9	18.1	33.6	21.4	0.8	13.0	2.1			
中山間地域	156	18	24	54	31	0	26	3			
	100.0	11.5	15.4	34.6	19.9	0.0	16.7	1.9			
無回答	37	8	8	7	5	0	8	1			
	100.0	21.6	21.6	18.9	13.5	0.0	21.6	2.7			
農・林・漁業	126	18	25	56	16	1	10	0			
	100.0	14.3	19.8	44.4	12.7	0.8	7.9	0.0			
工業	34	3	9	6	6	0	10	0			
	100.0	8.8	26.5	17.6	17.6	0.0	29.4	0.0			
商業・自由業	195	37	29	49	25	4	42	9			
	100.0	19.0	14.9	25.1	12.8	2.1	21.5	4.6			
事務系会社員	275	41	47	79	59	3	44	2			
	100.0	14.9	17.1	28.7	21.5	1.1	16.0	0.7			
サービス系会社員	313	29	43	80	96	2	59	4			
	100.0	9.3	13.7	25.6	30.7	0.6	18.8	1.3			
技術系会社員	317	33	50	103	84	1	45	1			
	100.0	10.4	15.8	32.5	26.5	0.3	14.2	0.3			
公務員・教員	170	16	25	66	40	3	19	1			
	100.0	9.4	14.7	38.8	23.5	1.8	11.2	0.6			
主婦(主夫)	674	98	127	202	97	11	130	9			
	100.0	14.5	18.8	30.0	14.4	1.6	19.3	1.3			
パート・アルバイト	468	48	83	145	92	10	84	6			
	100.0	10.3	17.7	31.0	19.7	2.1	17.9	1.3			
無職(学生含む)	385	41	65	90	92	4	84	9			
	100.0	10.6	16.9	23.4	23.9	1.0	21.8	2.3			
その他	116	13	16	32	24	2	27	2			
	100.0	11.2	13.8	27.6	20.7	1.7	23.3	1.7			
無回答	59	6	8	11	11	0	19	4			
	100.0	10.2	13.6	18.6	18.6	0.0	32.2	6.8			

空き家に対する支援

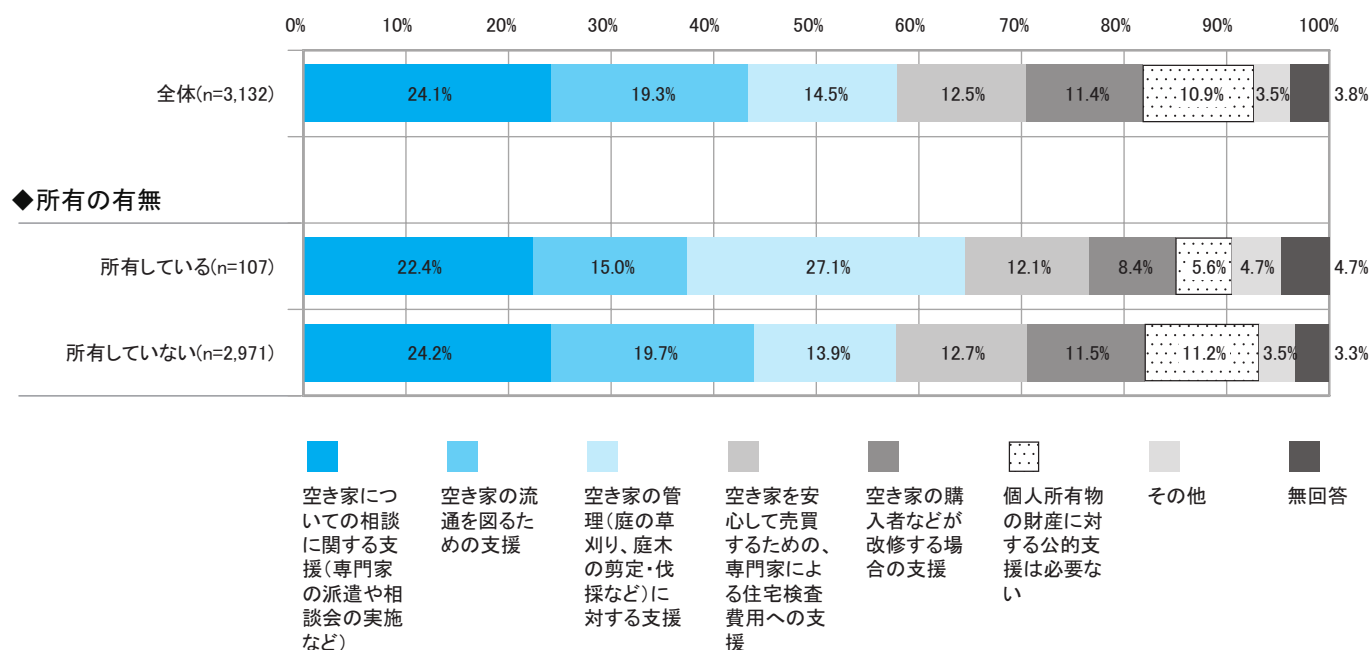
「空き家についての相談に関する支援」が約4分の1

問 13 空き家が増加している現状を改善するためには、どのような支援が必要だと思いますか。

空き家が増加している現状を改善するための支援としては、「空き家についての相談に関する支援（専門家の派遣や相談会の実施など）」（24.1%）が約4分の1と最も多い。次に、「空き家の流通を図るための支援」（19.3%）、「空き家の管理（庭の草刈り、庭木の剪定・伐採など）に対する支援」（14.5%）と続いている。

所有の有無で見ると、所有している方は、「空き家の管理（庭の草刈り、庭木の剪定・伐採など）に対する支援」（27.1%）という回答が最も多く、次に、「空き家についての相談に関する支援（専門家の派遣や相談会の実施など）」（22.4%）と続いている。一方、所有していない方は、「空き家についての相談に関する支援（専門家の派遣や相談会の実施など）」（24.2%）という回答が最も多く、次に、「空き家の流通を図るための支援」（19.7%）、と続いている。

年代別に見ると、20歳代、40歳代以上は、「空き家についての相談に関する支援（専門家の派遣や相談会の実施など）」という回答が最も多くなっている。一方、10歳代は「空き家を安心して売買するための、専門家による住宅検査費用への支援」という回答が、30歳代は「空き家の流通を図るための支援」という回答が最も多くなった。



問 13 空き家が増加している現状を改善するためには、どのような支援が必要だと思いますか。最も近い番号1つに○印をつけてください。

上段:回答数(人) 下段:割合(%)		合計	空き家の購入者などが改修する場合の支援	空き家の管理(庭の草刈り、庭木の剪定・伐採など)に対する支援	空き家の管理(庭の草刈り、庭木の剪定・伐採など)に対する支援(専門家の派遣や相談会の実施など)	空き家についての相談に関する支援(専門家の派遣や相談会の実施など)	空き家を購入するための、専門家による住宅検査費用への支援	空き家を安心して売却するための、専門家による住宅検査費用への支援	空き家の流通を図るための支援	個人所有物の財産に対する公的支援は必要ない	その他	無回答	
全体		3,132 100.0	356 11.4	454 14.5	755 24.1	391 12.5	604 19.3	342 10.9	111 3.5	119 3.8			
性別	男性	1,304 100.0	139 10.7	186 14.3	279 21.4	140 10.7	300 23.0	163 12.5	59 4.5	38 2.9			
	女性	1,817 100.0	217 11.9	266 14.6	474 26.1	248 13.6	302 16.6	178 9.8	52 2.9	80 4.4			
	無回答	11 100.0	0 0.0	2 18.2	2 18.2	3 27.3	2 18.2	1 9.1	0 0.0	1 9.1			
年代	10歳代	46 100.0	6 13.0	8 17.4	10 21.7	12 26.1	8 17.4	1 2.2	1 2.2	0 0.0			
	20歳代	248 100.0	49 19.8	34 13.7	57 23.0	46 18.5	42 16.9	8 3.2	11 4.4	1 0.4			
	30歳代	416 100.0	75 18.0	47 11.3	75 18.0	62 14.9	98 23.6	23 5.5	22 5.3	14 3.4			
	40歳代	571 100.0	70 12.3	87 15.2	133 23.3	79 13.8	114 20.0	54 9.5	19 3.3	15 2.6			
	50歳代	540 100.0	70 13.0	78 14.4	128 23.7	68 12.6	111 20.6	49 9.1	18 3.3	18 3.3			
	60歳代	716 100.0	50 7.0	110 15.4	201 28.1	72 10.1	131 18.3	101 14.1	28 3.9	23 3.2			
	70歳以上	580 100.0	36 6.2	85 14.7	146 25.2	52 9.0	98 16.9	104 17.9	12 2.1	47 8.1			
	無回答	15 100.0	0 0.0	5 33.3	5 33.3	0 0.0	2 13.3	2 13.3	0 0.0	1 6.7			
	地域区分	市街地地域	1,131 100.0	134 11.8	160 14.1	259 22.9	153 13.5	220 19.5	116 10.3	43 3.8	46 4.1		
		市街地周辺地域	721 100.0	67 9.3	109 15.1	184 25.5	88 12.2	140 19.4	79 11.0	24 3.3	30 4.2		
犀南地域		849 100.0	105 12.4	115 13.5	212 25.0	107 12.6	156 18.4	99 11.7	28 3.3	27 3.2			
松代・若穂		238 100.0	21 8.8	38 16.0	52 21.8	31 13.0	49 20.6	28 11.8	9 3.8	10 4.2			
中山間地域		156 100.0	18 11.5	27 17.3	42 26.9	10 6.4	32 20.5	17 10.9	5 3.2	5 3.2			
無回答		37 100.0	11 29.7	5 13.5	6 16.2	2 5.4	7 18.9	3 8.1	2 5.4	1 2.7			
職業	農・林・漁業	126 100.0	15 11.9	22 17.5	26 20.6	12 9.5	21 16.7	22 17.5	4 3.2	4 3.2			
	工業	34 100.0	7 20.6	6 17.6	4 11.8	4 11.8	6 17.6	4 11.8	1 2.9	2 5.9			
	商業・自由業	195 100.0	20 10.3	15 7.7	42 21.5	27 13.8	45 23.1	27 13.8	10 5.1	9 4.6			
	事務系会社員	275 100.0	32 11.6	48 17.5	52 18.9	50 18.2	57 20.7	18 6.5	11 4.0	7 2.5			
	サービス系会社員	313 100.0	49 15.7	44 14.1	66 21.1	38 12.1	63 20.1	22 7.0	21 6.7	10 3.2			
	技術系会社員	317 100.0	40 12.6	47 14.8	68 21.5	37 11.7	75 23.7	31 9.8	11 3.5	8 2.5			
	公務員・教員	170 100.0	20 11.8	17 10.0	45 26.5	16 9.4	40 23.5	16 9.4	11 6.5	5 2.9			
	主婦(主夫)	674 100.0	66 9.8	109 16.2	186 27.6	76 11.3	119 17.7	73 10.8	11 1.6	34 5.0			
	パート・アルバイト	468 100.0	54 11.5	71 15.2	132 28.2	55 11.8	88 18.8	46 9.8	10 2.1	12 2.6			
	無職(学生含む)	385 100.0	40 10.4	50 13.0	94 24.4	47 12.2	69 17.9	54 14.0	13 3.4	18 4.7			
	その他	116 100.0	11 9.5	12 10.3	34 29.3	17 14.7	15 12.9	17 14.7	6 5.2	4 3.4			
	無回答	59 100.0	2 3.4	13 22.0	6 10.2	12 20.3	6 10.2	12 20.3	2 3.4	6 10.2			

危険な空き家の除去への補助

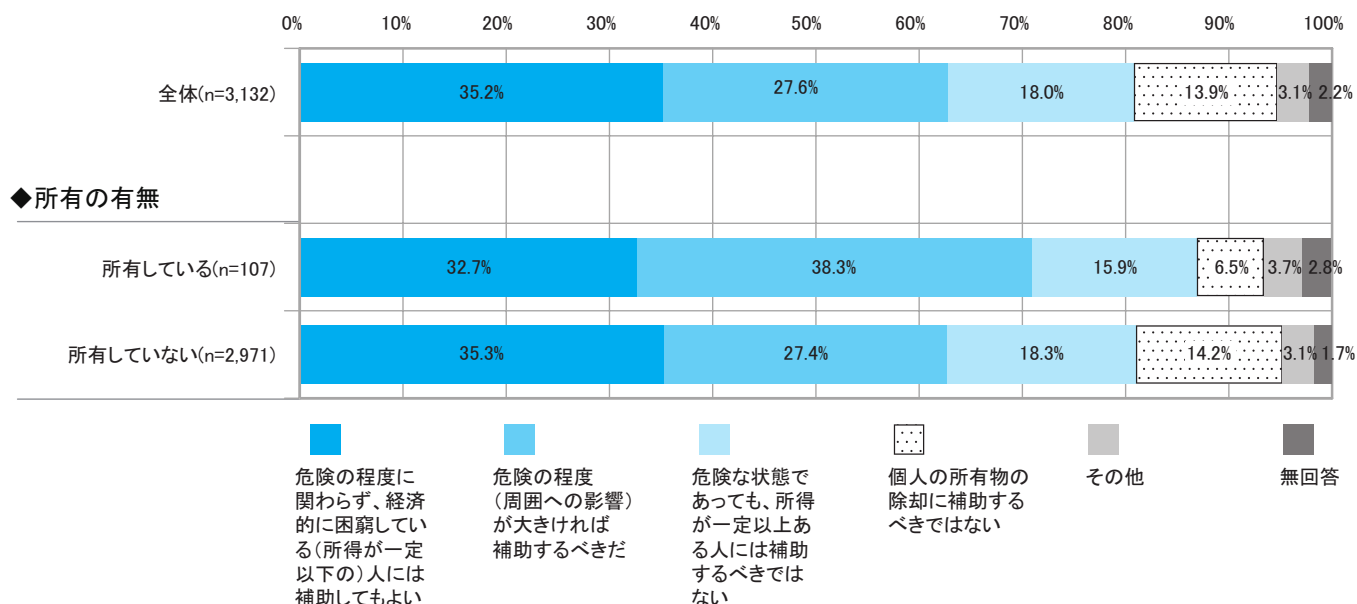
「危険の程度に関わらず、経済的に困窮している人には補助してもよい」が約4割

問14 危険な状態となっている空き家に対する除却費用の補助についてどう思いますか。

危険な状態となっている空き家に対する除却費用の補助については、「危険の程度に関わらず、経済的に困窮している（所得が一定以下の）人には補助してもよい」（35.2%）という回答が約4割と最も多い。次に、「危険の程度（周囲への影響）が大きければ補助するべきだ」（27.6%）、「危険な状態であっても、所得が一定以上ある人には補助するべきではない」（18.0%）と続いている。

所有の有無で見ると、所有している方は、「危険の程度（周囲への影響）が大きければ補助するべきだ」（38.3%）という回答が最も多く、次に、「危険の程度に関わらず、経済的に困窮している（所得が一定以下の）人には補助してもよい」（32.7%）、と続いている。一方、所有していない方は、「危険の程度に関わらず、経済的に困窮している（所得が一定以下の）人には補助してもよい」（35.3%）が最も多く、次に、「危険の程度（周囲への影響）が大きければ補助するべきだ」（27.4%）と続いている。

年代別に見ると、10歳代、20歳代は、「危険の程度（周囲への影響）が大きければ補助するべきだ」という回答が4割以上となり、最も多かった。一方、30歳代以上は、「危険の程度に関わらず、経済的に困窮している（所得が一定以下の）人には補助してもよい」という回答が最も多い。また、30歳代と60歳代は、「危険な状態であっても、所得が一定以上ある人には補助するべきではない」という回答が約2割あった。さらに、70歳以上は、「個人の所有物の除却に補助するべきではない」という回答が約2割あった。



問 14 危険な状態となっている空き家に対する除却費用の補助についてどう思いますか。最も近い番号1つに○印をつけてください。

上段:回答数(人) 下段:割合(%)		合計	危険の程度(周囲への影響)が大きければ補助するべきだ	危険な状態であつても所得が一定以上ある人には補助するべきではない	危険の程度に関わらず、経済的に困窮している(所得が一定以下の)人には補助してもよい	個人の所有物の除却に補助するべきではない	その他	無回答
全体		3,132 100.0	865 27.6	565 18.0	1,101 35.2	435 13.9	96 3.1	70 2.2
性別	男性	1,304 100.0	358 27.5	243 18.6	439 33.7	200 15.3	46 3.5	18 1.4
	女性	1,817 100.0	503 27.7	320 17.6	659 36.3	234 12.9	50 2.8	51 2.8
	無回答	11 100.0	4 36.4	2 18.2	3 27.3	1 9.1	0 0.0	1 9.1
年代	10歳代	46 100.0	23 50.0	6 13.0	15 32.6	1 2.2	1 2.2	0 0.0
	20歳代	248 100.0	101 40.7	38 15.3	83 33.5	17 6.9	8 3.2	1 0.4
	30歳代	416 100.0	112 26.9	84 20.2	145 34.9	51 12.3	16 3.8	8 1.9
	40歳代	571 100.0	150 26.3	102 17.9	219 38.4	77 13.5	17 3.0	6 1.1
	50歳代	540 100.0	173 32.0	98 18.1	183 33.9	61 11.3	18 3.3	7 1.3
	60歳代	716 100.0	177 24.7	145 20.3	247 34.5	109 15.2	21 2.9	17 2.4
	70歳以上	580 100.0	123 21.2	89 15.3	205 35.3	118 20.3	15 2.6	30 5.2
	無回答	15 100.0	6 40.0	3 20.0	4 26.7	1 6.7	0 0.0	1 6.7
地域区分	市街地地域	1,131 100.0	301 26.6	209 18.5	391 34.6	150 13.3	46 4.1	34 3.0
	市街地周辺地域	721 100.0	201 27.9	118 16.4	256 35.5	115 16.0	18 2.5	13 1.8
	犀南地域	849 100.0	228 26.9	168 19.8	301 35.5	118 13.9	23 2.7	11 1.3
	松代・若穂	238 100.0	77 32.4	36 15.1	85 35.7	28 11.8	6 2.5	6 2.5
	中山間地域	156 100.0	46 29.5	30 19.2	55 35.3	19 12.2	2 1.3	4 2.6
	無回答	37 100.0	12 32.4	4 10.8	13 35.1	5 13.5	1 2.7	2 5.4
職業	農・林・漁業	126 100.0	34 27.0	24 19.0	40 31.7	26 20.6	1 0.8	1 0.8
	工業	34 100.0	7 20.6	4 11.8	15 44.1	7 20.6	0 0.0	1 2.9
	商業・自由業	195 100.0	48 24.6	48 24.6	54 27.7	29 14.9	12 6.2	4 2.1
	事務系会社員	275 100.0	86 31.3	56 20.4	89 32.4	34 12.4	8 2.9	2 0.7
	サービス系会社員	313 100.0	99 31.6	51 16.3	103 32.9	40 12.8	12 3.8	8 2.6
	技術系会社員	317 100.0	63 19.9	74 23.3	130 41.0	40 12.6	9 2.8	1 0.3
	公務員・教員	170 100.0	58 34.1	28 16.5	49 28.8	25 14.7	9 5.3	1 0.6
	主婦(主夫)	674 100.0	181 26.9	114 16.9	250 37.1	89 13.2	18 2.7	22 3.3
	パート・アルバイト	468 100.0	125 26.7	71 15.2	193 41.2	59 12.6	10 2.1	10 2.1
	無職(学生含む)	385 100.0	111 28.8	65 16.9	127 33.0	58 15.1	11 2.9	13 3.4
	その他	116 100.0	42 36.2	21 18.1	38 32.8	11 9.5	4 3.4	0 0.0
	無回答	59 100.0	11 18.6	9 15.3	13 22.0	17 28.8	2 3.4	7 11.9

人口減少、少子・高齢化の影響 「強く感じる」、「感じるときがある」が約8割

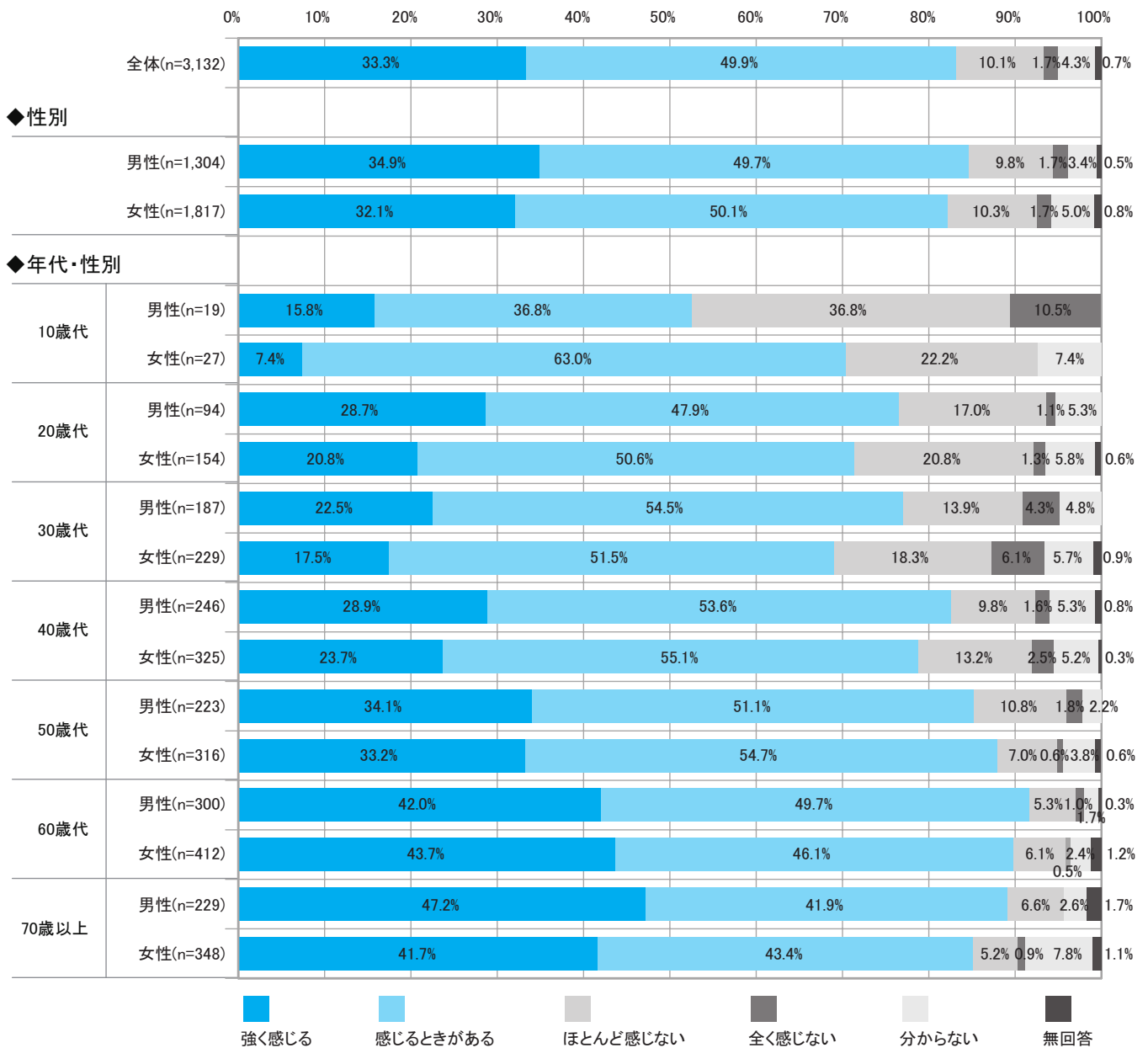
問 15 あなたは、日常生活の中で人口減少、少子・高齢化による影響を身近に感じることはありますか。

日常生活の中で人口減少、少子・高齢化による影響を身近に感じるかどうかということについては、「感じるときがある」(49.9%)という回答が約5割と最も多い。次に、「強く感じる」(33.3%)、「ほとんど感じない」(10.1%)と続いている。「強く感じる」、「感じるときがある」の回答割合の合計は、8割を超えている。

男女別で見ると、男女共、「感じるときがある」という回答が最も多く、その回答割合も差が少ない。また、「強く感じる」という回答も2番目に多いものの、男性の回答割合は、女性よりもやや高いといえる。

年代別に見ると、70歳以上を除く全ての年代で、「感じるときがある」という回答が最も多く、約5割となった。一方、70歳以上は、「強く感じる」という回答が最も多く、次に、「感じるときがある」と続いている。また、「強く感じる」という回答は、10歳代は約1割、20歳代から40歳代はおおむね2割、50歳代は3割を超え、60歳代以上は4割を超えている。

年代・性別で見ると、10歳代男性は、「強く感じる」(15.8%)という回答が約2割となったものの、「強く感じる」、「感じるときがある」の回答割合の合計は約5割と、年代・性別層の中で最も低くなった。一方、10歳代女性は、「強く感じる」(7.4%)という回答が、年代・性別層の中で最も低いものの、「強く感じる」、「感じるときがある」の回答割合の合計は約7割となった。また、20歳代女性、30歳代女性も、「強く感じる」、「感じるときがある」の回答割合の合計は約7割となった。その一方で、20歳代男性、30歳代男性、40歳代女性は、「強く感じる」、「感じるときがある」の回答割合の合計は7割台の後半となった。40歳代男性は、「強く感じる」、「感じるときがある」の回答割合の合計が8割を超えた。50歳代は、男女共、「強く感じる」、「感じるときがある」の回答割合の合計は約9割となり、女性が男性よりもやや高い傾向となった。60歳代も、「強く感じる」、「感じるときがある」の回答割合の合計は、男女共約9割となり、各年代の中で男女共、最も高かった。70歳以上は、「強く感じる」、「感じるときがある」の回答割合の合計は約9割となるものの、60歳代よりもやや低くなった。



問 15 あなたは、日常生活の中で人口減少、少子・高齢化による影響を身近に感じることはありますか。最も近い番号1つに○印をつけてください。

上段:回答数(人) 下段:割合(%)		合計	強く感じる	感じるときがある	ほとんど感じない	全く感じない	分からない	無回答
全体		3,132	1,043	1,562	317	54	134	22
		100.0	33.3	49.9	10.1	1.7	4.3	0.7
性別	男性	1,304	455	648	128	22	44	7
		100.0	34.9	49.7	9.8	1.7	3.4	0.5
	女性	1,817	583	910	188	31	90	15
	100.0	32.1	50.1	10.3	1.7	5.0	0.8	
	無回答	11	5	4	1	1	0	0
		100.0	45.5	36.4	9.1	9.1	0.0	0.0
年代	10歳代	46	5	24	13	2	2	0
		100.0	10.9	52.2	28.3	4.3	4.3	0.0
	20歳代	248	59	123	48	3	14	1
		100.0	23.8	49.6	19.4	1.2	5.6	0.4
	30歳代	416	82	220	68	22	22	2
		100.0	19.7	52.9	16.3	5.3	5.3	0.5
	40歳代	571	148	311	67	12	30	3
		100.0	25.9	54.5	11.7	2.1	5.3	0.5
	50歳代	540	181	287	47	6	17	2
		100.0	33.5	53.1	8.7	1.1	3.1	0.4
60歳代	716	308	341	41	5	15	6	
	100.0	43.0	47.6	5.7	0.7	2.1	0.8	
70歳以上	580	255	248	33	3	33	8	
	100.0	44.0	42.8	5.7	0.5	5.7	1.4	
	無回答	15	5	8	0	1	1	0
		100.0	33.3	53.3	0.0	6.7	6.7	0.0
地域区分	市街地地域	1,131	349	580	130	17	48	7
		100.0	30.9	51.3	11.5	1.5	4.2	0.6
	市街地周辺地域	721	229	366	70	17	33	6
		100.0	31.8	50.8	9.7	2.4	4.6	0.8
	犀南地域	849	262	434	95	17	35	6
		100.0	30.9	51.1	11.2	2.0	4.1	0.7
	松代・若穂	238	97	114	9	1	15	2
	100.0	40.8	47.9	3.8	0.4	6.3	0.8	
中山間地域	156	94	53	6	1	2	0	
	100.0	60.3	34.0	3.8	0.6	1.3	0.0	
	無回答	37	12	15	7	1	1	1
		100.0	32.4	40.5	18.9	2.7	2.7	2.7
職業	農・林・漁業	126	71	43	8	0	3	1
		100.0	56.3	34.1	6.3	0.0	2.4	0.8
	工業	34	11	19	4	0	0	0
		100.0	32.4	55.9	11.8	0.0	0.0	0.0
	商業・自由業	195	78	90	17	5	3	2
		100.0	40.0	46.2	8.7	2.6	1.5	1.0
	事務系会社員	275	84	148	27	4	11	1
		100.0	30.5	53.8	9.8	1.5	4.0	0.4
	サービス系会社員	313	89	169	32	7	14	2
		100.0	28.4	54.0	10.2	2.2	4.5	0.6
	技術系会社員	317	94	173	33	5	11	1
		100.0	29.7	54.6	10.4	1.6	3.5	0.3
	公務員・教員	170	56	84	20	4	5	1
		100.0	32.9	49.4	11.8	2.4	2.9	0.6
	主婦(主夫)	674	245	314	67	13	31	4
		100.0	36.4	46.6	9.9	1.9	4.6	0.6
パート・アルバイト	468	126	257	54	8	21	2	
	100.0	26.9	54.9	11.5	1.7	4.5	0.4	
無職(学生含む)	385	130	178	39	6	25	7	
	100.0	33.8	46.2	10.1	1.6	6.5	1.8	
その他	116	46	52	11	1	6	0	
	100.0	39.7	44.8	9.5	0.9	5.2	0.0	
無回答	59	13	35	5	1	4	1	
	100.0	22.0	59.3	8.5	1.7	6.8	1.7	

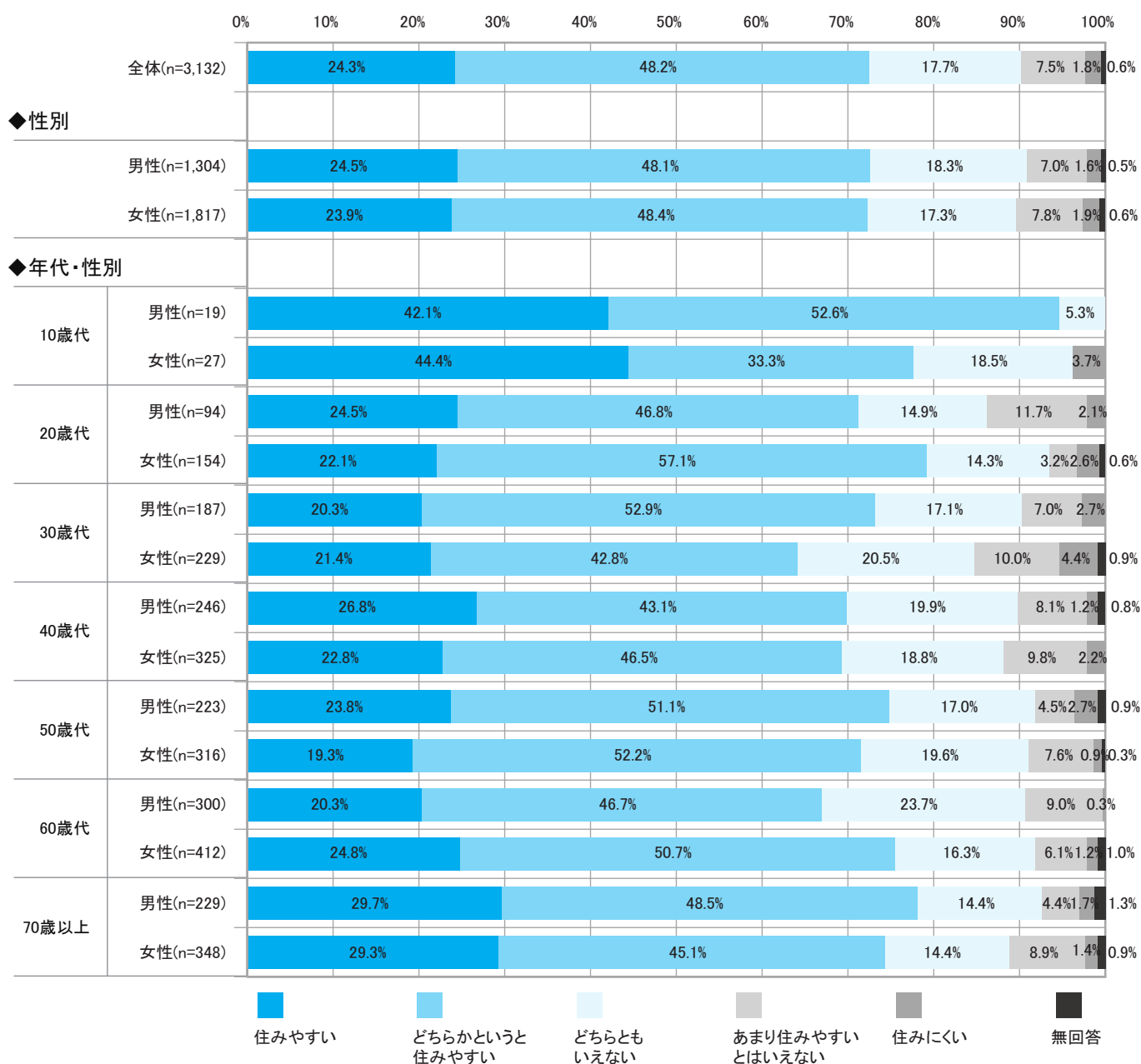
問 16 現在、あなたにとって、長野市は住みやすいまちですか。

現在の長野市の住みやすさについては、「どちらかという住みやすい」(48.2%)が約5割と最も多い。次に、「住みやすい」(24.3%)、「どちらともいえない」(17.7%)と続いている。

男女別で見ると、男女共、大きな差がないといえる。

年代別に見ると、10歳代は、「住みやすい」(43.5%)という回答が最も多く、次に、「どちらかという住みやすい」(41.3%)となり、年代別で唯一、「住みやすい」が「どちらかという住みやすい」を上回った。一方、20歳代以上は、「どちらかという住みやすい」が約5割で最も多い回答となり、「住みやすい」という回答は2番目であった。20歳代から60歳代は、「住みやすい」という回答は約2割、70歳以上は約3割となっている。

年代・性別で見ると、10歳代男性は、「どちらかという住みやすい」(52.6%)が約5割と最も多く、次の「住みやすい」(42.1%)との回答割合の合計が9割を超え、各年代・性別層の中で最も高くなった。また、10歳代女性も、「住みやすい」(44.4%)が約4割と最も多く、次の「どちらかという住みやすい」(33.3%)との回答割合の合計は約8割となった。一方、30歳代女性は、「どちらかという住みやすい」(42.8%)という回答が約4割となったものの、「住みやすい」(21.4%)という回答との回答割合の合計は約6割となり、年代・性別層の中で最も低くなった。次に、60歳代男性は、2つの回答割合の合計が約7割と2番目に低くなっている。



問 16 現在、あなたにとって、長野市は住みやすいまちですか。最も近い番号 1 つに○印をつけてください。

上段: 回答数(人) 下段: 割合(%)		合計	住みやすい	どちらか やすいと住み	どちらとも いえない	あまり住み やすいとは いえない	住みにくい	無回答
全体		3,132	760	1,511	553	234	56	18
		100.0	24.3	48.2	17.7	7.5	1.8	0.6
性別	男性	1,304	320	627	238	91	21	7
		100.0	24.5	48.1	18.3	7.0	1.6	0.5
	女性	1,817	435	880	314	142	35	11
	100.0	23.9	48.4	17.3	7.8	1.9	0.6	
	無回答	11	5	4	1	1	0	0
		100.0	45.5	36.4	9.1	9.1	0.0	0.0
年代	10歳代	46	20	19	6	0	1	0
		100.0	43.5	41.3	13.0	0.0	2.2	0.0
	20歳代	248	57	132	36	16	6	1
		100.0	23.0	53.2	14.5	6.5	2.4	0.4
	30歳代	416	87	197	79	36	15	2
		100.0	20.9	47.4	19.0	8.7	3.6	0.5
	40歳代	571	140	257	110	52	10	2
		100.0	24.5	45.0	19.3	9.1	1.8	0.4
	50歳代	540	114	280	100	34	9	3
		100.0	21.1	51.9	18.5	6.3	1.7	0.6
	60歳代	716	164	351	139	52	6	4
		100.0	22.9	49.0	19.4	7.3	0.8	0.6
	70歳以上	580	173	268	83	41	9	6
		100.0	29.8	46.2	14.3	7.1	1.6	1.0
	無回答	15	5	7	0	3	0	0
		100.0	33.3	46.7	0.0	20.0	0.0	0.0
地域区分	市街地地域	1,131	268	577	181	81	18	6
		100.0	23.7	51.0	16.0	7.2	1.6	0.5
	市街地周辺地域	721	204	337	127	33	14	6
		100.0	28.3	46.7	17.6	4.6	1.9	0.8
	犀南地域	849	218	417	143	54	12	5
		100.0	25.7	49.1	16.8	6.4	1.4	0.6
	松代・若穂	238	46	104	49	29	10	0
	100.0	19.3	43.7	20.6	12.2	4.2	0.0	
中山間地域	156	14	57	49	33	2	1	
	100.0	9.0	36.5	31.4	21.2	1.3	0.6	
	無回答	37	10	19	4	4	0	0
		100.0	27.0	51.4	10.8	10.8	0.0	0.0
職業	農・林・漁業	126	40	52	17	12	4	1
		100.0	31.7	41.3	13.5	9.5	3.2	0.8
	工業	34	6	16	9	3	0	0
		100.0	17.6	47.1	26.5	8.8	0.0	0.0
	商業・自由業	195	58	88	32	13	2	2
		100.0	29.7	45.1	16.4	6.7	1.0	1.0
	事務系会社員	275	64	131	44	31	4	1
		100.0	23.3	47.6	16.0	11.3	1.5	0.4
	サービス系会社員	313	75	157	48	27	4	2
		100.0	24.0	50.2	15.3	8.6	1.3	0.6
	技術系会社員	317	78	153	66	16	4	0
		100.0	24.6	48.3	20.8	5.0	1.3	0.0
	公務員・教員	170	40	94	24	6	4	2
		100.0	23.5	55.3	14.1	3.5	2.4	1.2
	主婦(主夫)	674	174	337	106	41	14	2
		100.0	25.8	50.0	15.7	6.1	2.1	0.3
	パート・アルバイト	468	89	236	86	47	9	1
		100.0	19.0	50.4	18.4	10.0	1.9	0.2
無職(学生含む)	385	101	172	80	20	7	5	
	100.0	26.2	44.7	20.8	5.2	1.8	1.3	
その他	116	27	50	28	7	3	1	
	100.0	23.3	43.1	24.1	6.0	2.6	0.9	
	無回答	59	8	25	13	11	1	1
		100.0	13.6	42.4	22.0	18.6	1.7	1.7

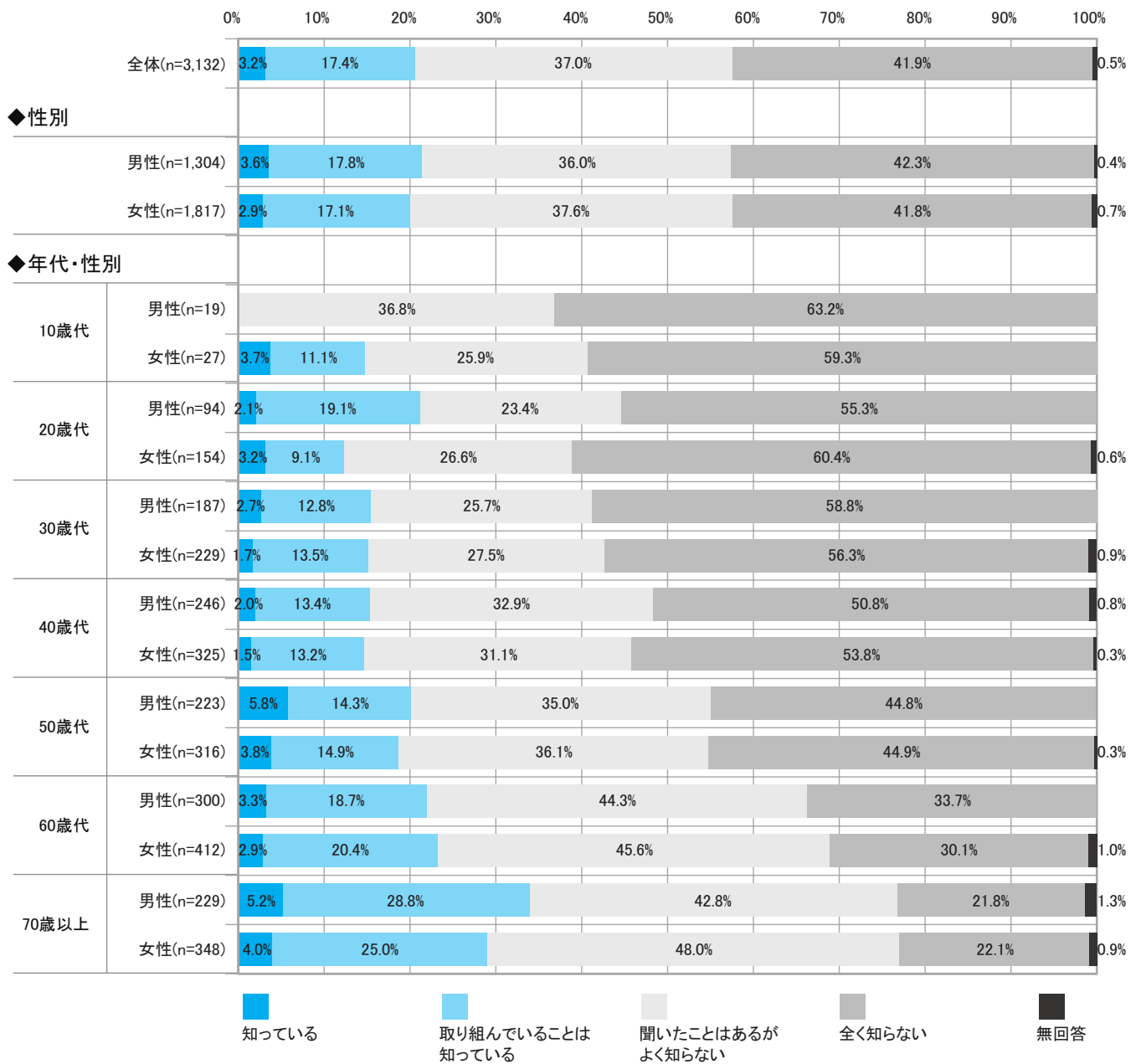
問 17 本市では、人口減少対策を喫緊に取り組まなくてはならない最重要課題と位置付け、さまざまな取り組みを推進しています。あなたは、長野市の人口増に向けた取り組みを知っていますか。

本市での人口増に向けた取り組みについては、「全く知らない」(41.9%)という回答が約4割と最も多い。次に、「聞いたことはあるがよく知らない」(37.0%)、「取り組んでいることは知っている」(17.4%)と続いている。

男女別で見ると、男女共、大きな差がないといえる。

年代別に見ると、30歳代以下は「全く知らない」という回答が約6割と、最も多かった。40歳代は約5割、50歳代は約4割と下がってはくるものの、最も多い回答結果となった。一方、60歳代以上は、「聞いたことはあるがよく知らない」という回答が約5割と最も多く、「全く知らない」という回答は、60歳代で約3割、70歳以上で約2割となった。「取り組んでいることは知っている」は、50歳代以下は約1割となったものの、60歳代は約2割、70歳以上は約3割となっている。

年代・性別で見ると、「知っている」、「取り組んでいることは知っている」の回答割合の合計は、70歳以上男性が3割を超え、年代・性別層で最も高くなった。次に、70歳以上女性、60歳代女性、60歳代男性と続いた。また、20歳代男性も、2つの回答割合の合計が約2割となり、年代・性別層で5番目に高い結果となった。一方、10歳代男性は、この2つの回答は全くない。20歳代女性が2つの回答割合の合計が約1割と、年代・性別層で2番目に低い結果となった。



問 17 本市では、人口減少対策を喫緊に取り組まなくてはならない最重要課題と位置付け、さまざまな取り組みを推進しています。あなたは、長野市の人口増に向けた取り組みを知っていますか。最も近い番号1つに○印をつけてください。

上段:回答数(人) 下段:割合(%)		合計	知っている	取り組んでいることは知っている	聞いたことはあるがよく知らない	全く知らない	無回答
全体		3,132	100	544	1,158	1,313	17
		100.0	3.2	17.4	37.0	41.9	0.5
性別	男性	1,304	47	232	469	551	5
		100.0	3.6	17.8	36.0	42.3	0.4
	女性	1,817	53	310	683	759	12
		100.0	2.9	17.1	37.6	41.8	0.7
	無回答	11	0	2	6	3	0
		100.0	0.0	18.2	54.5	27.3	0.0
年代	10歳代	46	1	3	14	28	0
		100.0	2.2	6.5	30.4	60.9	0.0
	20歳代	248	7	32	63	145	1
		100.0	2.8	12.9	25.4	58.5	0.4
	30歳代	416	9	55	111	239	2
		100.0	2.2	13.2	26.7	57.5	0.5
	40歳代	571	10	76	182	300	3
		100.0	1.8	13.3	31.9	52.5	0.5
	50歳代	540	25	79	193	242	1
		100.0	4.6	14.6	35.7	44.8	0.2
60歳代	716	22	141	323	226	4	
	100.0	3.1	19.7	45.1	31.6	0.6	
70歳以上	580	26	154	267	127	6	
	100.0	4.5	26.6	46.0	21.9	1.0	
	無回答	15	0	4	5	6	0
		100.0	0.0	26.7	33.3	40.0	0.0
地域区分	市街地地域	1,131	38	187	419	480	7
		100.0	3.4	16.5	37.0	42.4	0.6
	市街地周辺地域	721	16	127	248	325	5
		100.0	2.2	17.6	34.4	45.1	0.7
	犀南地域	849	27	151	318	349	4
		100.0	3.2	17.8	37.5	41.1	0.5
	松代・若穂	238	12	45	94	86	1
	100.0	5.0	18.9	39.5	36.1	0.4	
中山間地域	156	7	30	65	54	0	
	100.0	4.5	19.2	41.7	34.6	0.0	
	無回答	37	0	4	14	19	0
		100.0	0.0	10.8	37.8	51.4	0.0
職業	農・林・漁業	126	5	35	53	33	0
		100.0	4.0	27.8	42.1	26.2	0.0
	工業	34	1	4	11	18	0
		100.0	2.9	11.8	32.4	52.9	0.0
	商業・自由業	195	7	38	80	68	2
		100.0	3.6	19.5	41.0	34.9	1.0
	事務系会社員	275	2	30	87	155	1
		100.0	0.7	10.9	31.6	56.4	0.4
	サービス系会社員	313	10	38	87	176	2
		100.0	3.2	12.1	27.8	56.2	0.6
	技術系会社員	317	3	47	104	163	0
		100.0	0.9	14.8	32.8	51.4	0.0
	公務員・教員	170	19	47	54	49	1
		100.0	11.2	27.6	31.8	28.8	0.6
	主婦(主夫)	674	26	132	291	224	1
		100.0	3.9	19.6	43.2	33.2	0.1
パート・アルバイト	468	8	66	175	217	2	
	100.0	1.7	14.1	37.4	46.4	0.4	
無職(学生含む)	385	13	73	148	145	6	
	100.0	3.4	19.0	38.4	37.7	1.6	
その他	116	5	20	45	46	0	
	100.0	4.3	17.2	38.8	39.7	0.0	
	無回答	59	1	14	23	19	2
		100.0	1.7	23.7	39.0	32.2	3.4

運動の頻度 週1回以上が約5割

問18 あなたは、体を動かす運動をどのくらいの頻度でしていますか。(おおむね1日30分以上で、体操やウォーキングも含まれます)

基本施策 441 スポーツを軸としたまちづくりの推進		
指標項目	現状値(H22)	目標値(H28)
週1回以上スポーツ活動を行っている成人の割合	52.8%	69.6%

※国が示す「スポーツ基本計画」において、対象を「成人」としているため、この間のみ、20歳以上を対象に集計している。

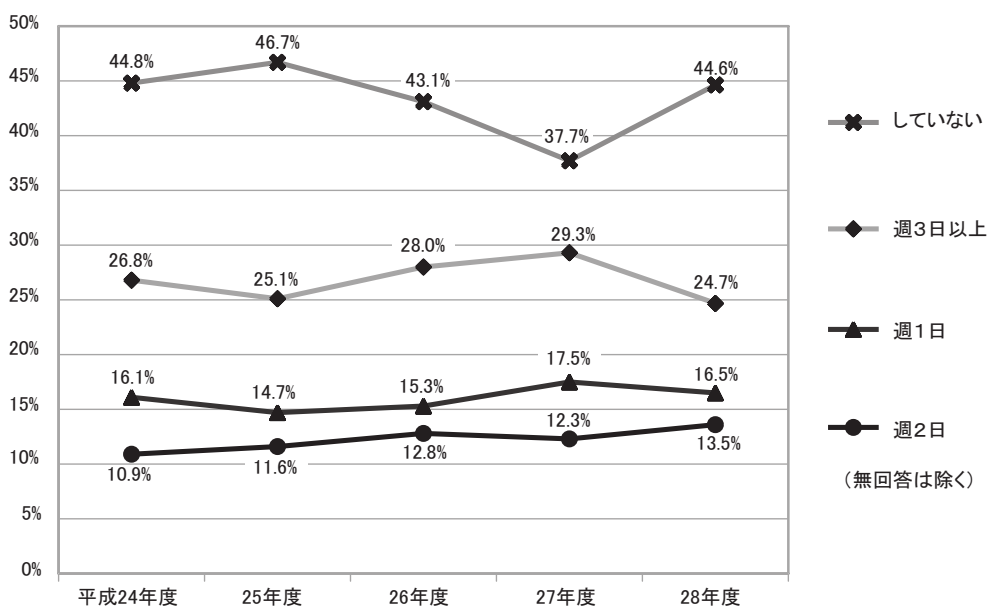
週1回以上運動をしている割合は、54.7%と約5割となった。一方、「していない」(44.6%)は約4割であった。

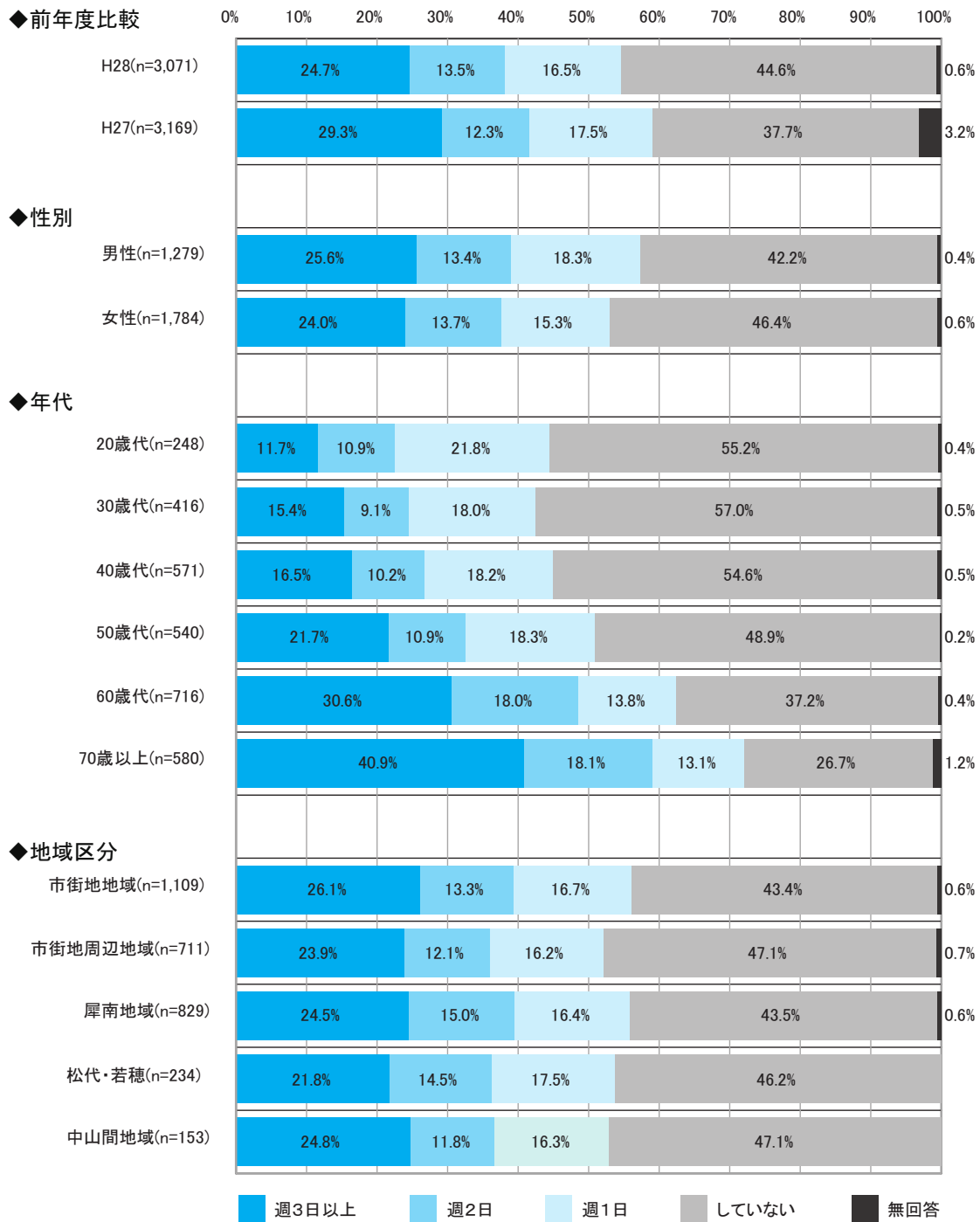
平成27年度と比較して、「週3日以上」が4.6ポイント低くなっている。「週1日」も、1.0ポイント低くなった。一方、「していない」が6.9ポイント高くなったことから、週1回以上スポーツ活動を行っている成人の割合が、減少しているといえる。

性別では、「していない」が男性42.2%、女性46.4%と、女性の運動量がやや低い。

年代別で見ると、20歳代から40歳代は「していない」が5割を超えているのに対し、50歳代は約5割、60歳代は約4割、70歳以上は約3割と低くなった。逆に、「週3日以上」は、年代が上がるにつれ、運動をしている割合も増える傾向にあり、70歳代以上の40.9%に対し、20歳代は11.7%と、29.2ポイントの開きがある。

地域区分別で見ると、市街地地域(56.1%)と犀南地域(55.9%)で、週1回以上の運動をしている割合が約6割となり、他の地域区分よりもやや高くなった。他の地域も5割台となり、地域区分による差異は少ない結果となっている。





問 18 あなたは、体を動かす運動をどのくらいの頻度でしていますか。該当する番号1つに○印をつけてください。
 (おおむね1日30分以上で、体操やウォーキングも含まれます)

上段:回答数(人) 下段:割合(%)		合計	週3日以上	週2日	週1日	していない	無回答	
全体		3,071	760	416	507	1,371	17	
		100.0	24.7	13.5	16.5	44.6	0.6	
性別	男性	1,279	328	172	234	540	5	
		100.0	25.6	13.4	18.3	42.2	0.4	
	女性	1,784	429	244	273	827	11	
		100.0	24.0	13.7	15.3	46.4	0.6	
無回答		8	3	0	0	4	1	
		100.0	37.5	0.0	0.0	50.0	12.5	
年代	20歳代	248	29	27	54	137	1	
		100.0	11.7	10.9	21.8	55.2	0.4	
	30歳代	416	64	38	75	237	2	
		100.0	15.4	9.1	18.0	57.0	0.5	
	40歳代	571	94	58	104	312	3	
		100.0	16.5	10.2	18.2	54.6	0.5	
	50歳代	540	117	59	99	264	1	
		100.0	21.7	10.9	18.3	48.9	0.2	
	60歳代	716	219	129	99	266	3	
		100.0	30.6	18.0	13.8	37.2	0.4	
	70歳以上	580	237	105	76	155	7	
		100.0	40.9	18.1	13.1	26.7	1.2	
	無回答		35	9	7	5	14	0
			100.0	25.7	20.0	14.3	40.0	0.0
地域区分	市街地地域	1,109	289	147	185	481	7	
		100.0	26.1	13.3	16.7	43.4	0.6	
	市街地周辺地域	711	170	86	115	335	5	
		100.0	23.9	12.1	16.2	47.1	0.7	
	犀南地域	829	203	124	136	361	5	
		100.0	24.5	15.0	16.4	43.5	0.6	
	松代・若穂	234	51	34	41	108	0	
		100.0	21.8	14.5	17.5	46.2	0.0	
	中山間地域	153	38	18	25	72	0	
		100.0	24.8	11.8	16.3	47.1	0.0	
	無回答		35	9	7	5	14	0
			100.0	25.7	20.0	14.3	40.0	0.0
	職業	農・林・漁業	126	48	15	13	50	0
			100.0	38.1	11.9	10.3	39.7	0.0
工業		34	5	2	5	22	0	
		100.0	14.7	5.9	14.7	64.7	0.0	
商業・自由業		194	55	22	31	84	2	
		100.0	28.4	11.3	16.0	43.3	1.0	
事務系会社員		275	44	30	60	140	1	
		100.0	16.0	10.9	21.8	50.9	0.4	
サービス系会社員		310	41	28	70	169	2	
		100.0	13.2	9.0	22.6	54.5	0.6	
技術系会社員		314	53	32	67	162	0	
		100.0	16.9	10.2	21.3	51.6	0.0	
公務員・教員		168	40	25	35	67	1	
		100.0	23.8	14.9	20.8	39.9	0.6	
主婦(主夫)		672	218	116	89	245	4	
		100.0	32.4	17.3	13.2	36.5	0.6	
パート・アルバイト		464	97	55	62	248	2	
		100.0	20.9	11.9	13.4	53.4	0.4	
無職(学生含む)		343	122	69	46	102	4	
		100.0	35.6	20.1	13.4	29.7	1.2	
その他		116	21	16	17	62	0	
		100.0	18.1	13.8	14.7	53.4	0.0	
無回答		55	16	6	12	20	1	
		100.0	29.1	10.9	21.8	36.4	1.8	

ホテルの現状 「見掛けた」割合が微減

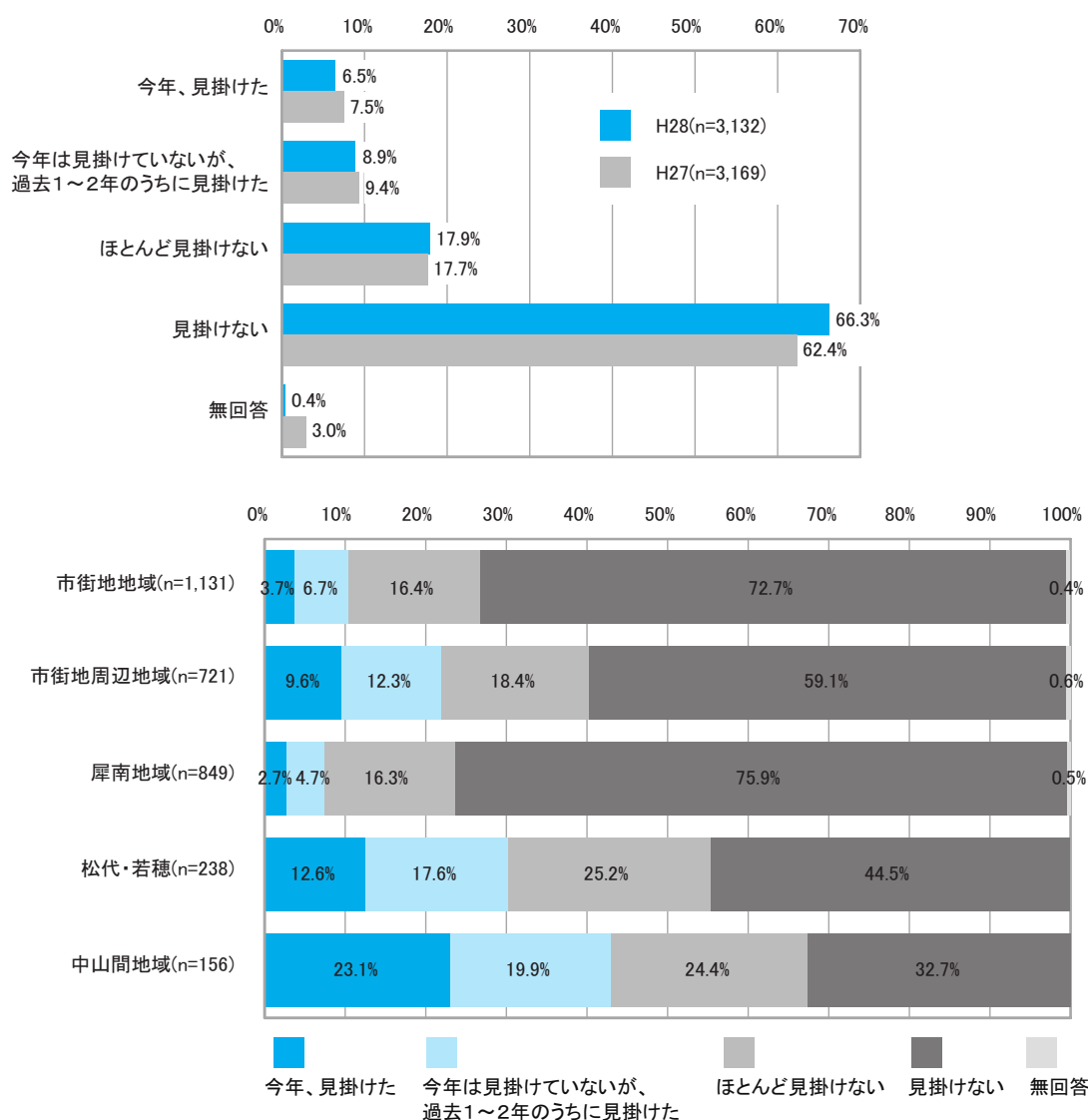
問 19 あなたは、お住まいの地区で、ホテルを見掛けることがありますか。

基本施策 212 良好な自然環境の確保		
指標項目	現状値(H22)	目標値(H28)
ホテルを見掛けることがある市民の割合	18.2%	30.0%

ホテルを見掛けたことがある市民の割合は、「今年、見掛けた」(6.5%)、「今年は見掛けていないが、過去1～2年のうちに見掛けた」(8.9%)の合計が、15.4%となった。

平成27年度と比較すると、「今年、見掛けた」、「今年は見掛けていないが、過去1～2年のうちに見掛けた」の、いずれもやや低下し、ホテルを見掛けたことがある市民の割合も、1.5ポイント低くなった。

地域区別で見ると、中山間地域で「今年、見掛けた」という回答が23.1%と、約4分の1となり、最も多い。次に、松代・若穂で12.6%、市街地周辺地域で9.6%と続いている。一方、市街地地域では3.7%、犀南地域では2.7%となった。



問 19 あなたは、お住まいの地区で、ホテルを見掛けることがありますか。該当する番号 1 つに○印をつけてください。

上段:回答数(人) 下段:割合(%)		合計	今年、 見掛けた	今年は見掛け ていないが、過 去1~2年のう ちに見掛けた	ほとんど 見掛けない	見掛けない	無回答
全体		3,132	203	278	561	2,077	13
		100.0	6.5	8.9	17.9	66.3	0.4
性別	男性	1,304	102	126	238	833	5
		100.0	7.8	9.7	18.3	63.9	0.4
	女性	1,817	100	151	323	1,235	8
		100.0	5.5	8.3	17.8	68.0	0.4
無回答		11	1	1	0	9	0
		100.0	9.1	9.1	0.0	81.8	0.0
年代	10歳代	46	4	5	6	31	0
		100.0	8.7	10.9	13.0	67.4	0.0
	20歳代	248	14	19	39	175	1
		100.0	5.6	7.7	15.7	70.6	0.4
	30歳代	416	32	36	46	300	2
		100.0	7.7	8.7	11.1	72.1	0.5
	40歳代	571	41	48	62	418	2
		100.0	7.2	8.4	10.9	73.2	0.4
	50歳代	540	27	41	114	357	1
		100.0	5.0	7.6	21.1	66.1	0.2
	60歳代	716	52	66	144	452	2
		100.0	7.3	9.2	20.1	63.1	0.3
	70歳以上	580	31	62	148	334	5
		100.0	5.3	10.7	25.5	57.6	0.9
	無回答	15	2	1	2	10	0
		100.0	13.3	6.7	13.3	66.7	0.0
地域区分	市街地地域	1,131	42	76	186	822	5
		100.0	3.7	6.7	16.4	72.7	0.4
	市街地周辺地域	721	69	89	133	426	4
		100.0	9.6	12.3	18.4	59.1	0.6
	犀南地域	849	23	40	138	644	4
		100.0	2.7	4.7	16.3	75.9	0.5
	松代・若穂	238	30	42	60	106	0
		100.0	12.6	17.6	25.2	44.5	0.0
中山間地域	156	36	31	38	51	0	
	100.0	23.1	19.9	24.4	32.7	0.0	
無回答	37	3	0	6	28	0	
	100.0	8.1	0.0	16.2	75.7	0.0	
職業	農・林・漁業	126	16	17	30	63	0
		100.0	12.7	13.5	23.8	50.0	0.0
	工業	34	3	2	11	18	0
		100.0	8.8	5.9	32.4	52.9	0.0
	商業・自由業	195	19	17	49	108	2
		100.0	9.7	8.7	25.1	55.4	1.0
	事務系会社員	275	14	28	36	196	1
		100.0	5.1	10.2	13.1	71.3	0.4
	サービス系会社員	313	18	21	42	230	2
		100.0	5.8	6.7	13.4	73.5	0.6
	技術系会社員	317	20	31	62	204	0
		100.0	6.3	9.8	19.6	64.4	0.0
	公務員・教員	170	21	13	28	107	1
		100.0	12.4	7.6	16.5	62.9	0.6
	主婦(主夫)	674	28	55	128	462	1
		100.0	4.2	8.2	19.0	68.5	0.1
	パート・アルバイト	468	29	44	71	323	1
		100.0	6.2	9.4	15.2	69.0	0.2
無職(学生含む)	385	23	34	74	250	4	
	100.0	6.0	8.8	19.2	64.9	1.0	
その他	116	6	8	21	81	0	
	100.0	5.2	6.9	18.1	69.8	0.0	
無回答	59	6	8	9	35	1	
	100.0	10.2	13.6	15.3	59.3	1.7	

満足度 「消防や救急救命活動が迅速かつ適切」が3年連続1位

問 20 あなたの日常生活を思い出していただき、No. 1 から No. 44 のそれぞれの質問項目について、最も当てはまると思われる番号 1 つに○印をつけてください。実感や印象、経験でお答えください。

◆「そう思う」、「ややそう思う」合計割合（上位5項目） (％)

順位	施策項目	そう思う	ややそう思う	合計
1	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	33.1	42.2	75.3
2	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	24.4	47.5	71.9
3	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	20.9	49.6	70.5
4	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている	18.4	50.6	69.0
5	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	27.4	41.0	68.4

◆「そう思う」、「ややそう思う」合計割合（下位5項目） (％)

順位	施策項目	そう思う	ややそう思う	合計
40	外国の人や文化との交流が行われている	3.2	20.5	23.7
41	市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている	3.0	20.4	23.4
42	働きたい人が仕事につきやすい環境がある	1.5	15.5	17.0
43	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている	2.1	14.5	16.6
44	工業や製造業に活気がある	1.4	12.9	14.3

※「そう思う、ややそう思う合計割合」は、「そう思う」、「ややそう思う」を回答した合計人数から割合を計算しているため、57 ページ以降の数値と、小数点以下第 1 位の数値が異なる場合がある。

第四次長野市総合計画の基本施策 44 項目について、日常生活の実感や印象、経験から 5 段階で評価してもらった。その中で、「そう思う」、「ややそう思う」の合計を満足度の指標としている。

満足度の高い 5 項目のうち、上位 4 項目は、順位に変動はあるものの、昨年度と同様の結果となった。一方、昨年度、5 番目に満足度が高かった「健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている」は、66.3%で 6 位となり、順位を 1 つ落としている。代わりに、昨年度 6 位だった「資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである」（70.5%）が 3 位となった。また、上位 3 項目は、満足度が 7 割以上となった。

満足度の低い 5 項目では、下位 3 項目は、昨年度と同様の順位となった。一方、41 位となった「市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている」（23.4%）は、昨年度の 38 位から 3 つ順位を下げている。なお、40 位の「外国の人や文化との交流が行われている」（23.7%）は昨年度の 41 位から 1 つ順位を上げている。

昨年度と比較して、大きく順位を上げたものとしては、12 位の「高齢者向けの福祉・介護サービスが地域で受けられる環境が整っている」（48.9%）が、昨年度の 18 位から 6 つ、17 位の「自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりが行われている」（44.7%）が、26 位から 9 つ順位を上げている。

一方、大きく順位を下げたものとして、18 位の「地域で自治会や住民グループが積極的に活動している」（44.3%）が昨年度の 12 位から、22 位の「消費者トラブルや交通事故・犯罪の起

こりにくい地域がつくられている」(41.4%)が16位から、それぞれ6つ順位を下げている。

回答割合で比較すると、44項目全てで、昨年度より回答割合のポイントが高くなっている。特に、「資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである」(70.5%)は14.4ポイント増加している。このほか、「豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある」(68.4%)で10.1ポイント、「歴史的街並みや自然環境に調和した景観が整備されている」(53.4%)で13.0ポイント、「高齢者向けの福祉・介護サービスが地域で受けられる環境が整っている」(48.9%)で10.8ポイント、「自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりが行われている」(44.7%)で12.7ポイント、それぞれ10ポイント以上回答割合が上がった。

◆「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計が多い5項目 (％)

順位	施策項目	あまりそう 思わない	そう思わない	合計
1	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている	37.3	27.3	64.6
2	働きたい人が仕事につきやすい環境がある	40.1	23.2	63.3
3	公共施設や歩道は、全ての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている	39.4	22.9	62.3
4	個性的で魅力的なお店が増えている	38.3	22.4	60.7
5	工業や製造業に活気がある	39.2	21.3	60.5

◆「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計が少ない5項目 (％)

順位	施策項目	あまりそう 思わない	そう思わない	合計
40	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている	18.3	6.2	24.5
41	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている	17.0	5.1	22.1
42	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	16.3	3.3	19.6
43	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	10.9	3.9	14.8
44	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	7.6	1.7	9.3

「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が多かった5項目のうち、「働きたい人が仕事につきやすい環境がある」と「工業や製造業に活気がある」は、昨年度同様、満足度の低い項目と一致している。

また、合計が少ない5項目では、「騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている」、「資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである」、「生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている」、および「消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている」の4項目が、満足度の高い項目と一致した。

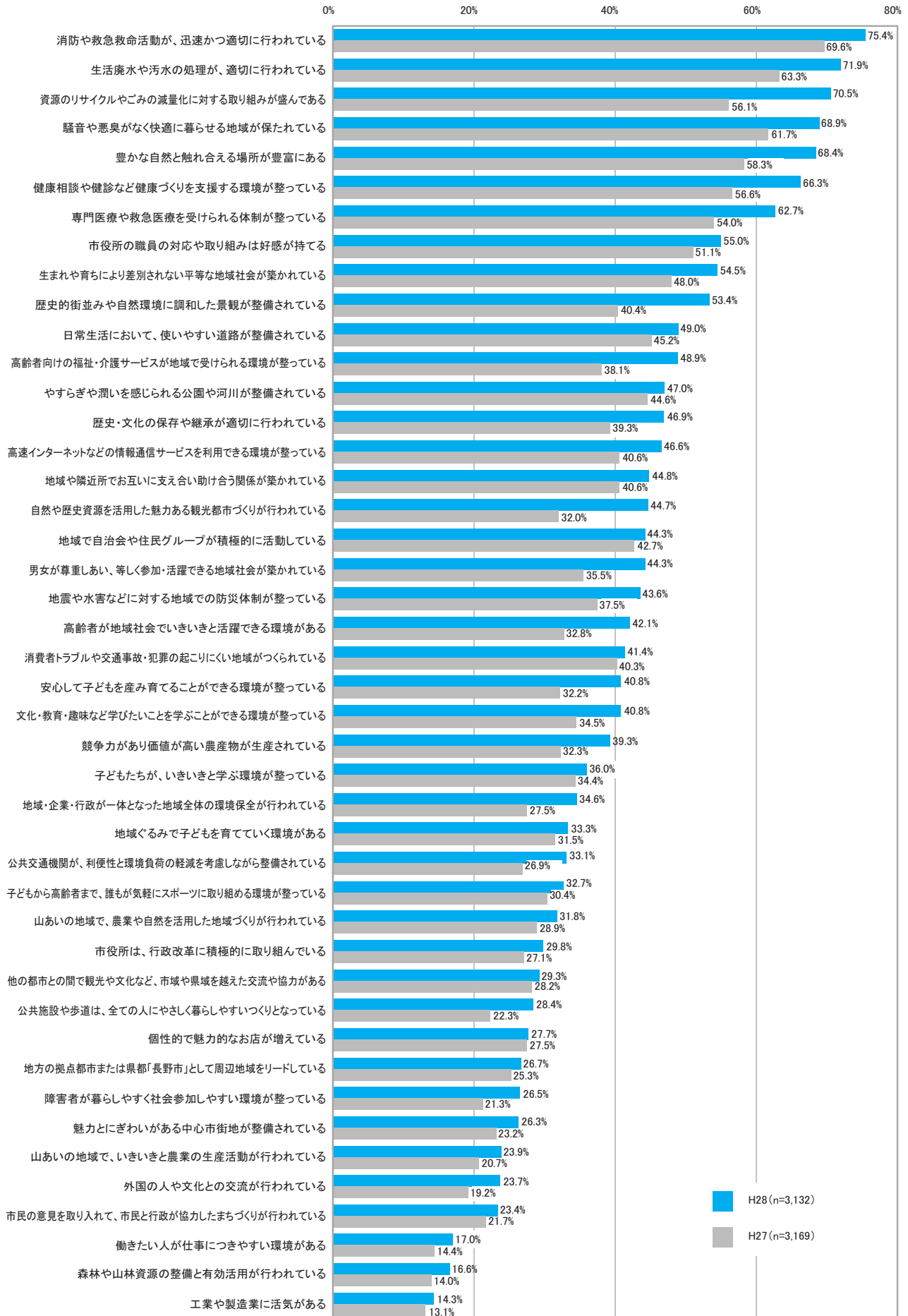
＜参考＞第四次長野市総合計画

第四次長野市総合計画は、「～善光寺平に結ばれる～人と地域がきらめくまち“ながの”」をまちづくりの目標(都市像)に定め、市民福祉の更なる向上と新たなまちづくりを展望した総合的な市政運営を行うための基本方針(長野市の最高方針)である。平成19年度を初年度として、平成28年度を目標年次としている。

総合計画は、まちづくりの方針や施策の方向性を示す「基本構想」と、施策の具体的展開や取組内容を示す「基本計画」、具体的な事業を示す「実施計画」で構成されている。

「基本計画」は、目標年次までの前半5年間(平成19年度から平成23年度)の前期基本計画と、後半5年間(平成24年度から平成28年度)の後期基本計画に分けられ、基本施策の「アンケート指標」を定め、市民の皆さんによる評価の視点を導入している。

「そう思う」、「ややそう思う」の合計（全44項目）



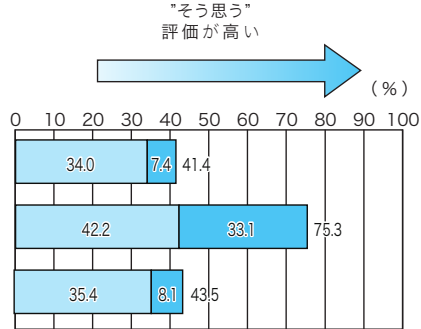
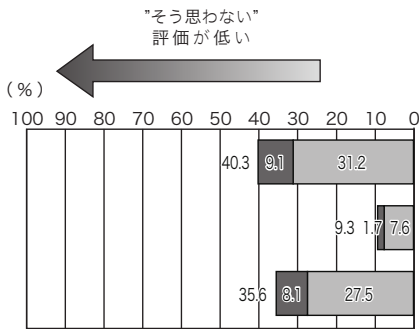
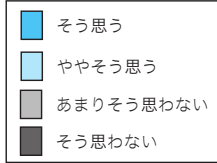
◆回答結果一覧（設問順）

（％）

選 択 肢	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	分からない	無回答
1 消費者トラブルや交通事故・犯罪の起こりにくい地域がつくられている	7.4	34.0	31.2	9.1	15.1	3.2
2 消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	33.1	42.2	7.6	1.7	12.9	2.5
3 地震や水害などに対する地域での防災体制が整っている	8.1	35.4	27.5	8.1	17.3	3.5
4 男女が尊重しあい、等しく参加・活躍できる地域社会が築かれている	9.3	35.0	28.2	8.9	16.0	2.7
5 生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている	15.0	39.5	20.6	7.7	14.9	2.2
6 専門医療や救急医療を受けられる体制が整っている	19.5	43.2	19.2	7.1	8.8	2.2
7 健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている	19.0	47.3	17.0	5.1	9.2	2.4
8 地域や隣近所でお互いに支え合い助け合う関係が築かれている	8.8	36.0	33.6	13.2	6.4	2.1
9 障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている	3.3	23.3	37.0	14.7	19.3	2.4
10 高齢者が地域社会でいきいきと活躍できる環境がある	7.2	34.9	28.3	11.3	15.7	2.5
11 高齢者向けの福祉・介護サービスが地域で受けられる環境が整っている	10.7	38.3	22.7	9.5	16.9	2.0
12 安心して子どもを産み育てることができる環境が整っている	6.3	34.5	28.0	13.6	15.3	2.3
13 高速インターネットなどの情報通信サービスを利用できる環境が整っている	15.1	31.5	20.5	8.7	21.2	2.9
14 日常生活において、使いやすい道路が整備されている	11.2	37.8	29.6	17.0	2.7	1.7
15 公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている	5.6	27.5	33.4	21.7	9.5	2.4
16 歴史的街並みや自然環境に調和した景観が整備されている	9.4	44.0	25.0	10.3	9.1	2.2
17 公共施設や歩道は、全ての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている	3.6	24.8	39.4	22.9	7.2	2.1
18 魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている	3.9	22.4	37.3	27.3	7.1	2.0
19 市役所の職員の対応や取り組みは好感が持てる	14.2	40.8	18.4	10.0	14.9	1.7
20 市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる	5.3	24.5	26.5	11.0	30.4	2.2
21 他の都市との間で観光や文化など、市域や県域を越えた交流や協力がある	4.2	25.1	24.6	7.8	36.0	2.3
22 地方の拠点都市または県都「長野市」として周辺地域をリードしている	5.1	21.5	32.1	14.8	24.3	2.1
23 山あいの地域で、農業や自然を活用した地域づくりが行われている	4.5	27.2	28.0	11.0	27.0	2.2
24 地域で自治会や住民グループが積極的に活動している	7.6	36.7	25.7	8.8	18.9	2.2
25 市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている	3.0	20.4	31.0	14.1	29.1	2.4
26 やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている	7.4	39.6	31.3	12.9	6.5	2.3
27 生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	24.4	47.5	10.9	3.9	11.4	1.9
28 騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている	18.4	50.6	18.3	6.2	4.2	2.4
29 資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	20.9	49.6	16.3	3.3	8.1	1.9
30 豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	27.4	41.0	18.5	6.5	4.6	2.0
31 地域・企業・行政が一体となった地域全体の環境保全が行われている	5.1	29.5	28.7	7.7	27.0	1.9
32 働きたい人が仕事につきやすい環境がある	1.5	15.5	40.1	23.2	17.6	2.0
33 個性的で魅力的なお店が増えている	3.4	24.2	38.3	22.4	9.6	2.0
34 工業や製造業に活気がある	1.4	12.9	39.2	21.3	23.1	2.1
35 森林や山林資源の整備と有効活用が行われている	2.1	14.5	31.4	18.6	31.0	2.3
36 山あいの地域で、いきいきと農業の生産活動が行われている	3.3	20.6	28.6	16.9	28.5	2.1
37 競争力があり価値が高い農産物が生産されている	6.5	32.8	26.3	12.4	20.0	2.0
38 自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりが行われている	6.2	38.4	26.3	11.3	15.7	2.0
39 外国の人や文化との交流が行われている	3.2	20.5	31.7	12.1	30.5	1.9
40 子どもから高齢者まで、誰もが気軽にスポーツに取り組める環境が整っている	4.7	28.1	35.2	15.6	14.8	1.7
41 歴史・文化の保存や継承が適切に行われている	6.4	40.6	22.9	7.9	20.2	2.0
42 文化・教育・趣味など学びたいことを学ぶことができる環境が整っている	5.9	34.9	30.4	10.7	16.2	2.0
43 地域ぐるみで子どもを育てていく環境がある	4.9	28.4	33.0	14.2	17.7	1.8
44 子どもたちが、いきいきと学ぶ環境が整っている	5.6	30.4	30.8	11.9	19.6	1.8

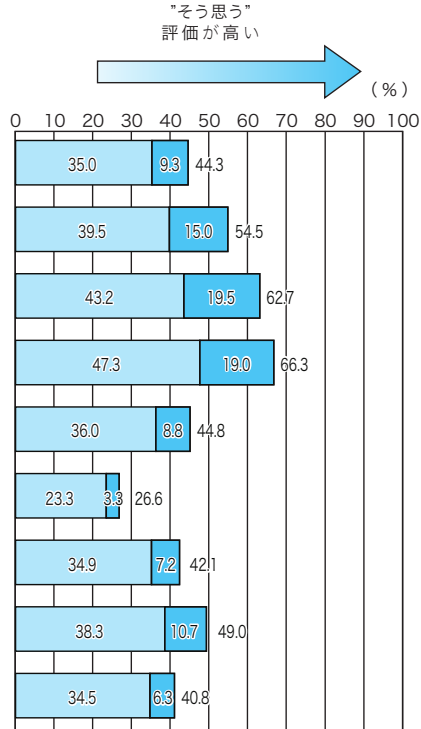
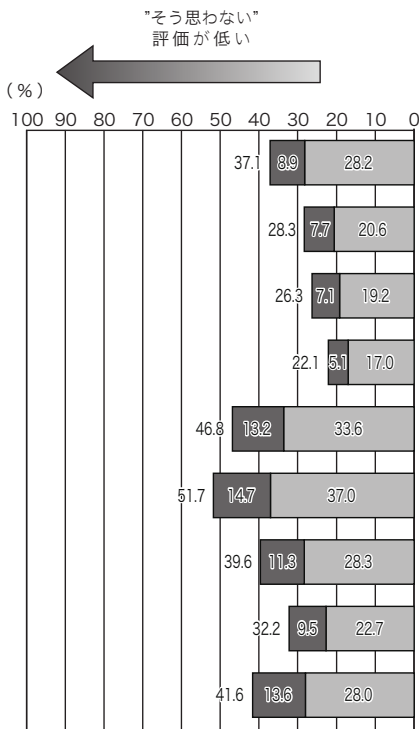
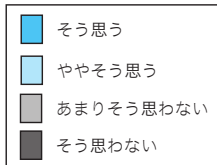
◆分野別評価

《防災、安全について》



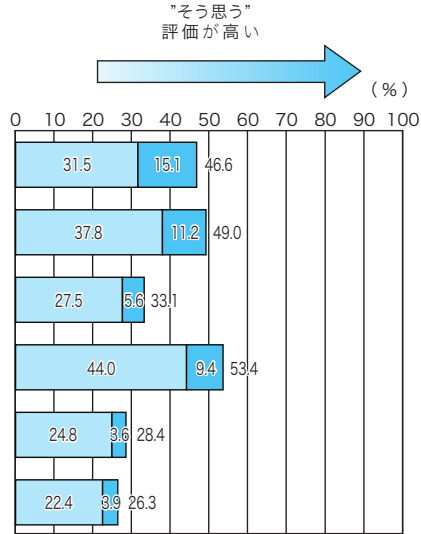
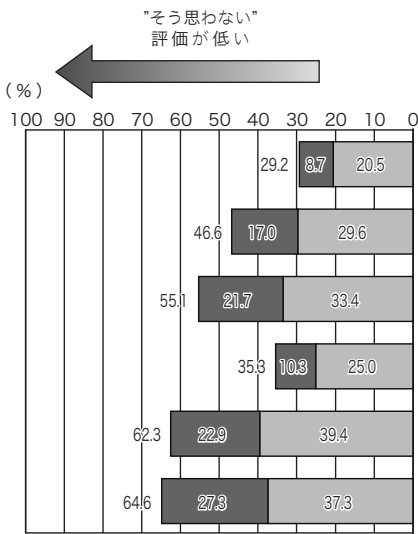
分からない	無回答
15.1	3.2
12.9	2.5
17.3	3.5

《保健、福祉について》



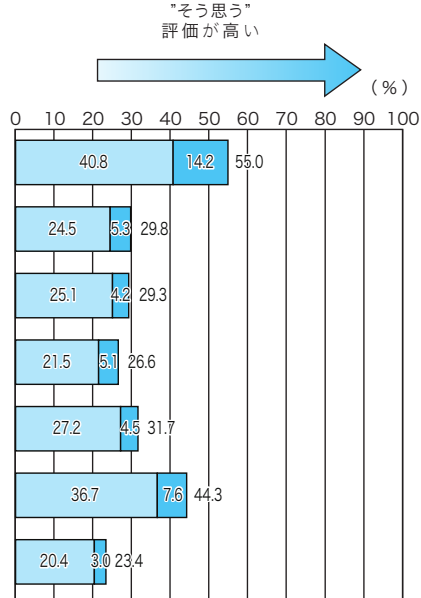
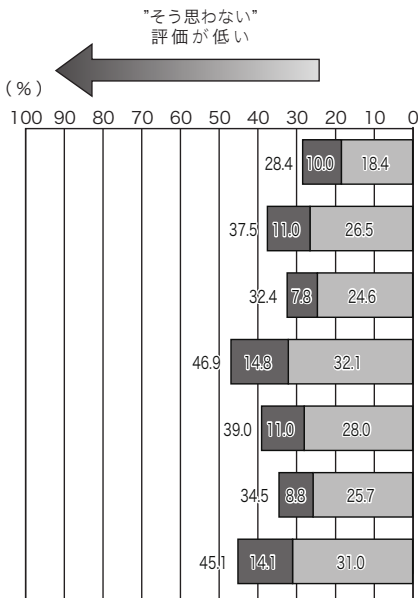
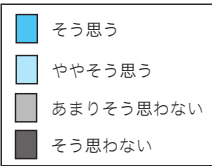
分からない	無回答
16.0	2.7
14.9	2.2
8.8	2.2
9.2	2.4
6.4	2.1
19.3	2.4
15.7	2.5
16.9	2.0
15.3	2.3

《都市整備について》



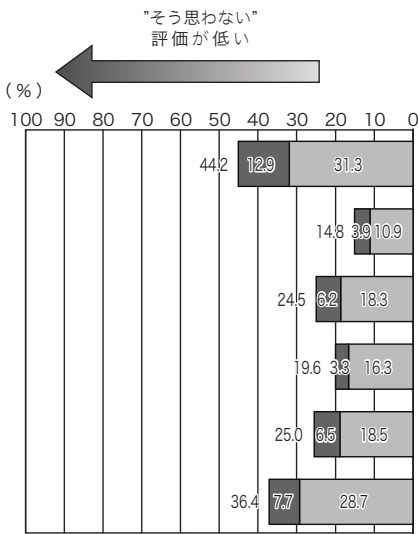
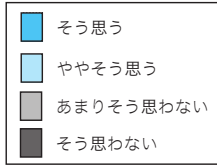
分からない	無回答
21.2	2.9
2.7	1.7
9.5	2.4
9.1	2.2
7.2	2.1
7.1	2.0

《行政経営について》

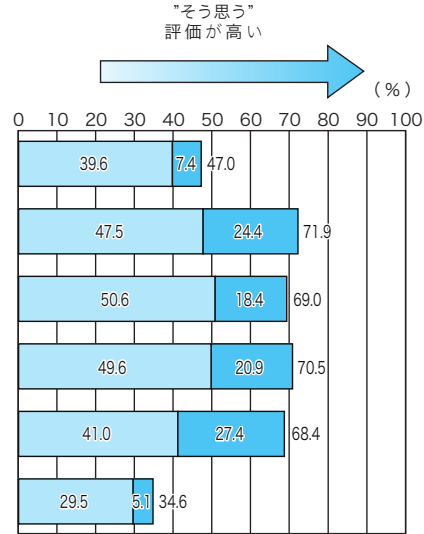


分からない	無回答
14.9	1.7
30.4	2.2
36.0	2.3
24.3	2.1
27.0	2.2
18.9	2.2
29.1	2.4

《環境について》

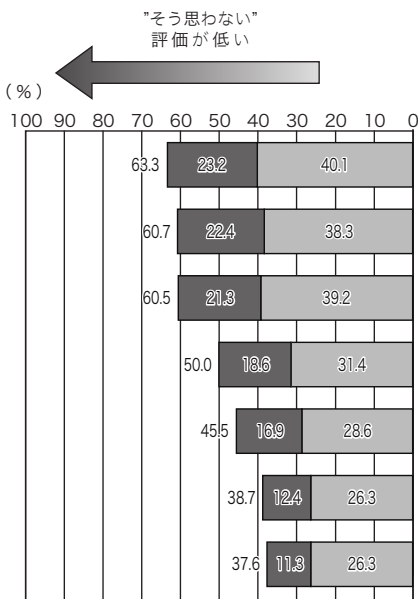
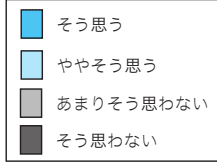


- 26 やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている
- 27 生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている
- 28 騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている
- 29 資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである
- 30 豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある
- 31 地域・企業・行政が一体となった地域全体の環境保全が行われている

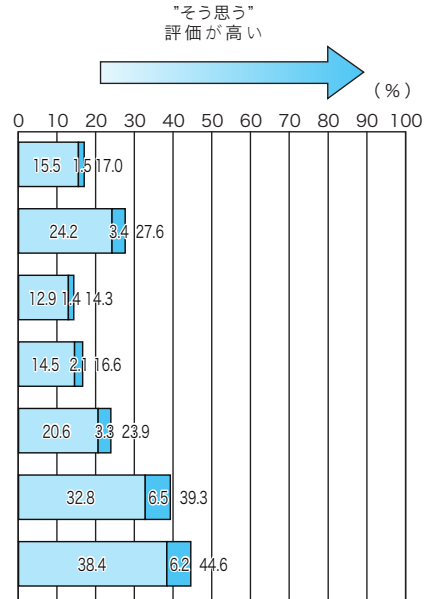


分からない	無回答
6.5	2.3
11.4	1.9
4.2	2.4
8.1	1.9
4.6	2.0
27.0	1.9

《産業、経済について》

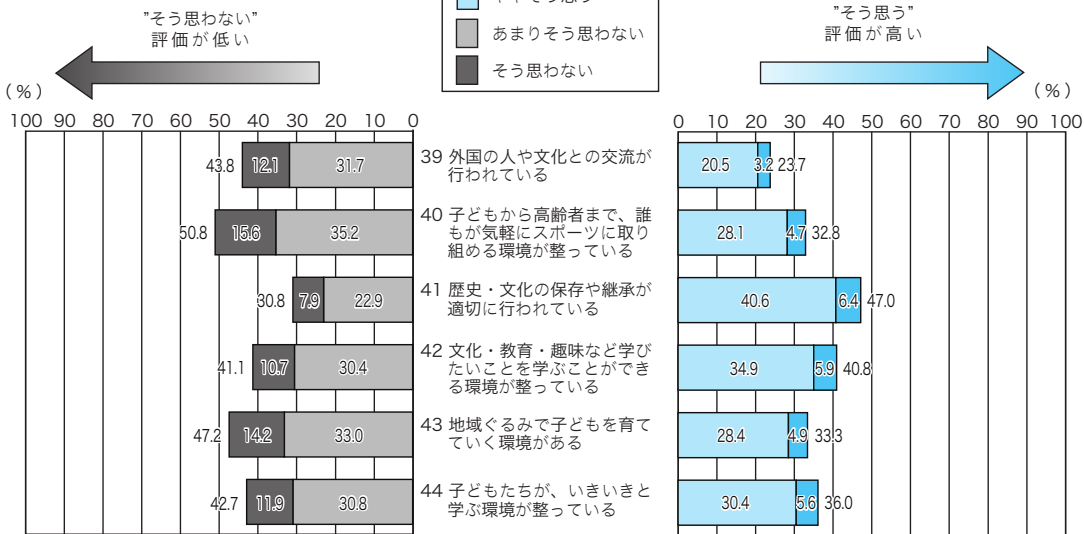
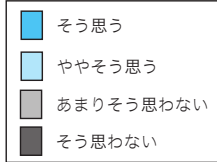


- 32 働きたい人が仕事につきやすい環境がある
- 33 個性的で魅力的なお店が増えている
- 34 工業や製造業に活気がある
- 35 森林や山林資源の整備と有効活用が行われている
- 36 山あいの地域で、いきいきと農業の生産活動が行われている
- 37 競争力があり価値が高い農産物が生産されている
- 38 自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりが行われている



分からない	無回答
17.6	2.0
9.6	2.0
23.1	2.1
31.0	2.3
28.5	2.1
20.0	2.0
15.7	2.0

《教育、文化について》



分からない	無回答
30.5	1.9
14.8	1.7
20.2	2.0
16.2	2.0
17.7	1.8
19.6	1.8

◆性別・地域区分別「そう思う」、「ややそう思う」の合計が多い5項目、少ない5項目（設問順）（％）

	男性	女性	市街地 地域	市街地 周辺地域	犀南地域	松代・ 若穂	中山間 地域
1 消費者トラブルや交通事故・犯罪の起こりにくい地域がつけられている	40.2	42.2	41.2	44.8	39.1	41.6	42.3
2 消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	① 77.5	① 73.7	① 74.0	② 74.9	① 77.4	① 76.9	① 76.3
3 地震や水害などに対する地域での防災体制が整っている	42.8	44.0	39.8	48.7	43.9	46.6	42.3
4 男女が尊重しあい、等しく参加・活躍できる地域社会が築かれている	44.6	44.0	43.4	46.7	43.1	45.0	47.4
5 生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている	53.6	55.3	53.8	56.7	54.2	52.9	55.8
6 専門医療や救急医療を受けられる体制が整っている	62.1	63.3	60.5	64.6	65.7	⑤ 68.1	46.8
7 健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている	61.3	⑤ 69.8	66.3	⑤ 68.0	66.2	66.8	④ 61.5
8 地域や隣近所でお互いに支え合い助け合う関係が築かれている	44.6	44.9	40.5	44.7	46.2	56.7	53.8
9 障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている	26.5	26.5	26.5	27.7	26.5	27.7	20.5
10 高齢者が地域社会でいきいきと活躍できる環境がある	37.7	45.4	42.6	44.0	41.5	40.8	38.5
11 高齢者向けの福祉・介護サービスが地域で受けられる環境が整っている	44.3	52.1	47.2	49.7	49.4	52.1	51.9
12 安心して子どもを産み育てることができる環境が整っている	39.6	41.8	40.8	41.6	44.8	35.3	25.6
13 高速インターネットなどの情報通信サービスを利用できる環境が整っている	50.2	44.3	47.0	47.4	48.2	43.7	40.4
14 日常生活において、使いやすい道路が整備されている	46.2	51.0	48.0	47.6	54.8	46.2	37.8
15 公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている	31.4	34.3	35.4	33.6	34.7	23.1	22.4
16 歴史的街並みや自然環境に調和した景観が整備されている	52.1	54.4	54.0	49.5	56.7	60.1	39.7
17 公共施設や歩道は、全ての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている	27.5	29.1	29.2	29.3	27.6	31.1	21.2
18 魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている	23.1	28.6	27.1	26.9	26.4	26.1	20.5
19 市役所の職員の対応や取り組みは好感が持てる	55.7	54.5	56.9	54.8	55.1	53.4	49.4
20 市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる	28.4	30.8	31.6	30.9	28.3	27.3	25.6
21 他の都市との間で観光や文化など、市域や県域を越えた交流や協力がある	28.8	29.6	30.3	29.8	28.6	30.7	23.7
22 地方の拠点都市または県都「長野市」として周辺地域をリードしている	28.8	④ 25.1	26.3	28.4	26.4	27.7	21.8
23 山あいの地域で、農業や自然を活用した地域づくりが行われている	28.5	34.0	33.2	30.9	32.5	28.6	28.8
24 地域で自治会や住民グループが積極的に活動している	41.0	46.6	44.0	47.4	43.3	44.1	43.6
25 市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている	21.2	④ 25.0	④ 25.3	25.4	④ 21.2	21.8	④ 17.9
26 やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている	44.0	49.3	44.9	45.8	54.1	49.2	27.6
27 生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	② 74.1	④ 70.3	③ 69.8	① 75.0	② 75.3	③ 70.6	⑤ 60.9
28 騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている	⑤ 66.9	③ 70.4	④ 68.3	④ 69.9	④ 70.9	② 71.4	59.6
29 資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	③ 68.4	② 71.9	② 70.1	③ 74.3	④ 70.9	65.5	③ 63.5
30 豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	④ 67.9	68.8	⑤ 66.5	66.7	③ 71.8	③ 70.6	② 69.2
31 地域・企業・行政が一体となった地域全体の環境保全が行われている	34.0	34.9	34.7	35.2	35.8	35.3	28.2
32 働きたい人が仕事につきやすい環境がある	④ 17.4	④ 16.7	④ 18.7	④ 15.7	④ 17.8	④ 16.0	④ 10.9
33 個性的で魅力的なお店が増えている	25.8	28.8	28.3	30.5	27.9	④ 21.0	④ 19.9
34 工業や製造業に活気がある	④ 12.5	④ 15.5	④ 13.8	④ 14.8	④ 16.0	④ 13.4	④ 7.7
35 森林や山林資源の整備と有効活用が行われている	④ 16.0	④ 17.1	④ 17.8	④ 17.8	④ 16.4	④ 10.9	④ 12.8
36 山あいの地域で、いきいきと農業の生産活動が行われている	④ 20.2	26.6	④ 24.3	④ 22.5	24.7	24.4	21.8
37 競争力があり価値が高い農産物が生産されている	36.0	41.8	41.6	38.4	41.8	36.1	21.8
38 自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりが行われている	42.7	46.0	46.0	43.4	47.6	40.3	33.3
39 外国の人や文化との交流が行われている	④ 20.1	26.1	26.0	④ 21.4	④ 24.3	④ 20.2	21.8
40 子どもから高齢者まで、誰もが気軽にスポーツに取り組める環境が整っている	30.3	34.6	31.3	33.1	36.0	31.5	26.9
41 歴史・文化の保存や継承が適切に行われている	46.0	47.5	46.9	46.2	47.1	56.3	35.9
42 文化・教育・趣味など学びたいことを学ぶことができる環境が整っている	35.9	44.3	41.8	40.4	41.2	43.3	30.8
43 地域ぐるみで子どもを育てていく環境がある	30.5	35.3	30.9	36.8	33.7	38.2	26.3
44 子どもたちが、いきいきと学ぶ環境が整っている	33.8	37.5	33.8	37.3	37.9	42.0	27.6

※「①」など丸数字は、順位を表わしている。

◆年代別「そう思う」、「ややそう思う」の合計が多い5項目、少ない5項目（設問順）

（％）

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1 消費者トラブルや交通事故・犯罪の起こりにくい地域がつけられている	47.8	39.9	36.3	40.5	42.2	43.9	41.9
2 消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	54.3	③ 66.5	④ 63.0	① 76.4	① 79.1	① 80.7	① 78.8
3 地震や水害などに対する地域での防災体制が整っている	52.2	40.7	33.4	43.1	45.0	45.9	47.2
4 男女が尊重しあい、等しく参加・活躍できる地域社会が築かれている	60.9	42.7	39.2	42.4	44.1	45.5	47.8
5 生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている	65.2	51.2	48.6	53.8	53.0	56.3	59.7
6 専門医療や救急医療を受けられる体制が整っている	60.9	63.7	58.9	61.3	59.4	62.8	⑤ 69.7
7 健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている	71.7	63.7	59.4	63.0	66.7	⑤ 67.9	④ 72.1
8 地域や隣近所でお互いに支え合い助け合う関係が築かれている	56.5	46.0	45.0	41.2	47.0	43.0	46.6
9 障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている	41.3	29.8	26.0	24.9	26.1	23.3	30.5
10 高齢者が地域社会でいきいきと活躍できる環境がある	52.2	52.8	44.7	45.0	41.1	33.4	44.1
11 高齢者向けの福祉・介護サービスが地域で受けられる環境が整っている	56.5	54.0	46.9	44.8	47.4	49.0	53.1
12 安心して子どもを産み育てることができる環境が整っている	47.8	37.5	41.1	44.3	43.0	38.5	38.8
13 高速インターネットなどの情報通信サービスを利用できる環境が整っている	56.5	46.4	46.4	53.8	53.7	45.4	34.1
14 日常生活において、使いやすい道路が整備されている	60.9	49.2	48.8	44.7	47.6	48.2	55.0
15 公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている	52.2	31.9	33.9	29.4	31.7	30.6	39.3
16 歴史的街並みや自然環境に調和した景観が整備されている	④ 73.9	64.1	59.9	54.6	53.7	49.2	46.6
17 公共施設や歩道は、全ての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている	52.2	37.9	28.1	27.8	27.8	23.9	29.7
18 魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている	50.0	30.6	26.9	27.1	④ 21.9	22.6	30.7
19 市役所の職員の対応や取り組みは好感が持てる	37.0	39.9	44.7	48.7	53.5	61.6	⑤ 69.7
20 市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる	④ 23.9	④ 26.2	23.1	25.9	29.8	28.6	41.9
21 他の都市との間で観光や文化など、市域や県域を越えた交流や協力がある	37.0	④ 26.6	29.1	31.5	28.0	26.7	31.9
22 地方の拠点都市または県都「長野市」として周辺地域をリードしている	④ 30.4	④ 25.8	24.5	④ 22.4	28.0	23.9	35.0
23 山あいの地域で、農業や自然を活用した地域づくりが行われている	56.5	48.0	36.8	32.9	31.3	24.7	27.6
24 地域で自治会や住民グループが積極的に活動している	34.8	35.1	40.9	47.1	43.5	44.7	48.8
25 市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている	④ 23.9	④ 21.8	④ 21.4	④ 20.5	24.1	21.4	30.3
26 やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている	67.4	54.0	52.6	46.6	41.9	45.0	45.7
27 生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	④ 73.9	④ 64.9	③ 65.4	③ 72.9	③ 71.9	② 75.7	③ 73.6
28 騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている	② 84.8	② 72.2	② 71.4	④ 70.4	④ 68.7	④ 68.6	64.0
29 資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	63.0	④ 64.9	⑤ 61.1	⑤ 68.3	② 73.5	③ 74.0	② 75.0
30 豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	① 89.1	① 77.8	① 74.5	② 75.0	④ 68.7	62.3	59.0
31 地域・企業・行政が一体となった地域全体の環境保全が行われている	54.3	38.3	34.4	35.0	36.1	30.4	35.2
32 働きたい人が仕事につきやすい環境がある	34.8	④ 23.0	④ 16.1	④ 20.8	④ 17.2	④ 12.6	④ 15.2
33 個性的で魅力的なお店が増えている	45.7	37.1	29.6	29.8	27.6	23.6	23.8
34 工業や製造業に活気がある	34.8	27.8	④ 15.9	④ 14.7	④ 12.8	④ 10.9	④ 11.2
35 森林や山林資源の整備と有効活用が行われている	39.1	36.7	④ 20.2	④ 18.4	④ 16.7	④ 8.1	④ 12.4
36 山あいの地域で、いきいきと農業の生産活動が行われている	50.0	42.7	32.0	24.9	24.3	④ 14.1	④ 19.0
37 競争力があり価値が高い農産物が生産されている	58.7	49.2	42.1	43.6	41.3	34.5	32.1
38 自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりが行われている	65.2	54.8	47.6	49.7	43.1	39.1	40.3
39 外国の人や文化との交流が行われている	50.0	27.4	④ 22.1	26.4	④ 23.9	④ 19.8	④ 22.8
40 子どもから高齢者まで、誰もが気軽にスポーツに取り組める環境が整っている	56.5	39.9	34.9	34.9	28.0	27.2	35.7
41 歴史・文化の保存や継承が適切に行われている	③ 76.1	53.6	46.2	48.7	47.4	44.1	43.8
42 文化・教育・趣味など学びたいことを学ぶことができる環境が整っている	65.2	45.6	36.3	37.5	39.3	38.1	47.8
43 地域ぐるみで子どもを育てていく環境がある	50.0	30.6	33.7	35.6	34.4	30.9	32.8
44 子どもたちが、いきいきと学ぶ環境が整っている	58.7	39.9	34.1	38.7	36.9	33.8	33.3

◆性別・地域区分別「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が多い5項目、少ない5項目（設問順）（％）

	男性	女性	市街地 地域	市街地 周辺地域	犀南地域	松代・ 若穂	中山間 地域
1 消費者トラブルや交通事故・犯罪の起こりにくい地域がつけられている	45.4	36.7	40.1	37.4	43.5	42.0	32.7
2 消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	④④ 10.0	④④ 8.9	④④ 9.1	④④ 10.8	④④ 7.4	④④ 9.7	④④ 12.2
3 地震や水害などに対する地域での防災体制が整っている	39.6	32.9	36.6	32.7	35.6	34.0	41.7
4 男女が尊重しあい、等しく参加・活躍できる地域社会が築かれている	38.3	36.0	36.2	35.8	38.2	40.3	35.3
5 生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている	30.4	26.6	26.3	28.6	28.7	33.6	28.2
6 専門医療や救急医療を受けられる体制が整っている	27.8	25.2	26.4	25.5	25.1	23.5	39.1
7 健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている	④① 26.2	④① 19.2	④① 21.2	④① 21.8	④① 22.0	④① 22.7	④① 26.9
8 地域や隣近所でお互いに支え合い助け合う関係が築かれている	46.5	46.9	49.5	47.3	46.6	37.0	36.5
9 障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている	55.1	49.3	48.9	52.0	52.9	53.4	60.9
10 高齢者が地域社会でいきいきと活躍できる環境がある	44.8	35.8	36.3	41.2	40.3	41.2	51.3
11 高齢者向けの福祉・介護サービスが地域で受けられる環境が整っている	37.1	28.7	30.4	34.5	32.4	30.7	34.0
12 安心して子どもを産み育てることができる環境が整っている	44.8	39.1	38.7	42.2	40.2	47.9	57.7
13 高速インターネットなどの情報通信サービスを利用できる環境が整っている	32.7	26.8	28.7	27.7	28.6	31.5	36.5
14 日常生活において、使いやすい道路が整備されている	50.6	43.9	46.9	48.8	41.6	51.3	53.8
15 公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている	59.2	52.1	52.2	54.5	54.4	① 67.6	62.8
16 歴史的街並みや自然環境に調和した景観が整備されている	39.6	32.2	34.6	39.3	33.1	30.3	43.6
17 公共施設や歩道は、全ての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている	③ 65.0	③ 60.4	② 61.9	③ 62.3	② 62.9	58.8	③ 67.3
18 魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている	② 69.2	② 61.3	① 65.1	① 64.8	① 63.8	⑤ 64.7	61.5
19 市役所の職員の対応や取り組みは好感が持てる	29.7	27.5	26.2	28.8	29.0	31.1	30.8
20 市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる	43.8	33.1	35.0	37.4	39.1	41.2	39.7
21 他の都市との間で観光や文化など、市域や県域を越えた交流や協力がある	38.0	28.5	29.8	33.6	33.2	34.5	35.3
22 地方の拠点都市または県都「長野市」として周辺地域をリードしている	51.8	43.3	46.3	46.9	47.1	47.5	48.7
23 山あいの地域で、農業や自然を活用した地域づくりが行われている	48.4	32.3	33.8	40.6	38.3	47.5	58.3
24 地域で自治会や住民グループが積極的に活動している	40.3	30.4	32.2	32.9	36.3	34.9	43.6
25 市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている	52.0	40.0	42.1	44.5	46.6	47.9	54.5
26 やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている	48.9	40.7	45.3	46.0	38.6	43.3	59.0
27 生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	④③ 16.7	④③ 13.4	④③ 14.8	④③ 13.3	④③ 13.1	④③ 17.2	④② 25.0
28 騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている	27.5	④① 22.3	④① 24.8	④① 24.1	23.4	④② 21.4	30.1
29 資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	④② 22.2	④② 17.7	④② 17.8	④② 17.5	④② 20.4	25.2	④① 25.6
30 豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	④① 27.1	23.4	26.5	26.1	④① 22.4	23.5	④③ 24.4
31 地域・企業・行政が一体となった地域全体の環境保全が行われている	43.7	31.2	34.0	38.3	35.5	38.2	44.9
32 働きたい人が仕事につきやすい環境がある	③ 65.0	① 62.2	③ 61.6	② 64.5	③ 62.4	④ 65.1	① 70.5
33 個性的で魅力的なお店が増えている	⑤ 63.3	④ 59.1	④ 60.9	⑤ 58.4	④ 60.5	② 66.4	60.9
34 工業や製造業に活気がある	① 69.9	⑤ 54.0	⑤ 59.7	④ 61.2	⑤ 58.7	③ 65.5	② 67.9
35 森林や山林資源の整備と有効活用が行われている	59.6	43.3	46.8	49.7	49.8	57.1	③ 67.3
36 山あいの地域で、いきいきと農業の生産活動が行われている	56.1	37.9	41.2	46.0	45.3	50.8	⑤ 66.0
37 競争力があり価値が高い農産物が生産されている	47.9	31.9	34.3	39.4	37.2	44.5	62.2
38 自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりが行われている	45.0	32.4	36.0	37.2	35.7	44.5	49.4
39 外国の人や文化との交流が行われている	52.5	37.7	41.3	44.0	44.4	49.2	50.6
40 子どもから高齢者まで、誰もが気軽にスポーツに取り組める環境が整っている	56.2	46.8	50.2	51.6	48.6	53.8	57.1
41 歴史・文化の保存や継承が適切に行われている	35.7	27.4	29.1	30.1	31.0	28.6	47.4
42 文化・教育・趣味など学びたいことを学ぶことができる環境が整っている	46.2	37.2	39.3	41.7	39.7	43.3	51.3
43 地域ぐるみで子どもを育てていく環境がある	52.5	43.5	47.2	44.0	49.7	45.0	52.6
44 子どもたちが、いきいきと学ぶ環境が整っている	48.1	38.7	42.5	41.2	43.7	37.4	52.6

◆年代別「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が多い5項目、少ない5項目（設問順）（％）

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1 消費者トラブルや交通事故・犯罪の起こりにくい地域がつけられている	⑤ 39.1	42.3	46.2	45.5	42.2	38.0	31.6
2 消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	④⑩ 13.0	④④ 10.1	④④ 13.0	④④ 7.9	④④ 9.6	④④ 8.5	④④ 8.1
3 地震や水害などに対する地域での防災体制が整っている	17.4	35.9	38.0	36.3	39.1	36.7	30.3
4 男女が尊重しあい、等しく参加・活躍できる地域社会が築かれている	21.7	36.3	38.9	41.3	39.6	37.4	30.0
5 生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている	21.7	29.4	31.5	27.1	31.3	28.8	23.3
6 専門医療や救急医療を受けられる体制が整っている	26.1	26.2	④⑩ 25.0	29.2	30.7	28.4	17.6
7 健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている	④② 10.9	④⑩ 21.0	25.7	24.3	④① 23.5	④① 23.7	④① 15.9
8 地域や隣近所でお互いに支え合い助け合う関係が築かれている	32.6	44.0	45.2	51.8	46.3	49.6	42.4
9 障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている	⑤ 39.1	45.6	47.6	54.3	55.6	56.6	45.9
10 高齢者が地域社会でいきいきと活躍できる環境がある	32.6	27.4	31.0	36.4	41.7	50.0	39.8
11 高齢者向けの福祉・介護サービスが地域で受けられる環境が整っている	19.6	25.8	26.9	31.2	38.0	35.2	31.4
12 安心して子どもを産み育てることができる環境が整っている	28.3	46.4	45.0	42.4	40.0	43.7	36.2
13 高速インターネットなどの情報通信サービスを利用できる環境が整っている	28.3	44.0	37.7	32.0	27.0	25.0	21.6
14 日常生活において、使いやすい道路が整備されている	28.3	48.0	48.8	52.7	49.3	46.9	37.1
15 公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている	30.4	③ 58.9	⑤ 57.2	⑤ 61.1	58.5	56.1	44.0
16 歴史的街並みや自然環境に調和した景観が整備されている	17.4	27.4	32.5	37.8	37.6	39.4	32.6
17 公共施設や歩道は、全ての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている	34.8	⑤ 53.6	③ 63.7	② 65.1	④ 65.0	③ 66.8	③ 56.6
18 魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている	⑤ 39.1	① 63.7	① 67.3	① 68.1	① 70.6	② 67.3	⑤ 52.1
19 市役所の職員の対応や取り組みは好感が持てる	15.2	33.1	35.8	32.4	31.7	27.2	④⑩ 16.6
20 市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる	17.4	32.3	40.4	40.8	42.2	41.1	27.6
21 他の都市との間で観光や文化など、市域や県域を越えた交流や協力がある	23.9	31.5	32.5	34.2	37.8	34.2	24.8
22 地方の拠点都市または県都「長野市」として周辺地域をリードしている	③ 41.3	45.2	50.7	53.6	49.1	49.7	32.9
23 山あいの地域で、農業や自然を活用した地域づくりが行われている	17.4	25.0	33.9	40.1	43.5	46.1	36.2
24 地域で自治会や住民グループが積極的に活動している	28.3	31.5	33.4	31.5	38.1	39.2	30.7
25 市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている	32.6	37.5	43.8	49.4	47.4	48.7	38.8
26 やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている	30.4	37.5	39.2	47.6	48.9	47.6	40.2
27 生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	④⑩ 13.0	④③ 13.7	④③ 15.9	④③ 12.3	④③ 16.1	④③ 15.2	④② 15.3
28 騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている	15.2	22.6	④① 22.6	④⑩ 23.8	26.9	④⑩ 24.6	25.5
29 資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	21.7	④① 19.4	25.7	④① 22.1	④② 18.3	④② 19.1	④③ 14.7
30 豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	④④ 8.7	④② 18.1	④② 20.2	④② 21.2	④⑩ 25.4	29.9	30.3
31 地域・企業・行政が一体となった地域全体の環境保全が行われている	17.4	27.4	35.1	37.1	38.5	40.6	35.0
32 働きたい人が仕事につきやすい環境がある	32.6	② 59.7	② 64.7	③ 63.9	② 67.4	① 70.4	④ 53.6
33 個性的で魅力的なお店が増えている	① 45.7	④ 56.0	④ 60.1	59.9	⑤ 62.6	⑤ 64.7	① 58.6
34 工業や製造業に活気がある	① 45.7	48.8	53.8	④ 63.0	③ 65.9	④ 66.1	② 56.7
35 森林や山林資源の整備と有効活用が行われている	28.3	31.9	41.6	48.2	56.3	59.9	49.5
36 山あいの地域で、いきいきと農業の生産活動が行われている	26.1	32.3	37.0	44.5	50.7	53.4	44.8
37 競争力があり価値が高い農産物が生産されている	17.4	30.2	35.3	35.4	40.2	44.0	41.0
38 自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりが行われている	26.1	30.6	36.5	35.7	41.3	41.2	35.9
39 外国の人や文化との交流が行われている	③ 41.3	45.6	48.6	45.9	45.4	44.1	36.2
40 子どもから高齢者まで、誰もが気軽にスポーツに取り組める環境が整っている	32.6	46.8	49.8	51.1	56.3	55.7	43.1
41 歴史・文化の保存や継承が適切に行われている	④② 10.9	25.0	30.5	32.2	33.1	34.4	27.1
42 文化・教育・趣味など学びたいことを学ぶことができる環境が整っている	28.3	37.1	45.7	45.0	43.9	43.9	30.2
43 地域ぐるみで子どもを育てていく環境がある	34.8	48.0	48.8	48.3	47.8	50.3	41.9
44 子どもたちが、いきいきと学ぶ環境が整っている	32.6	37.5	45.4	43.4	42.4	45.8	39.1

優先度 「安定した雇用の確保」 8年連続トップ

問 21 住みよい長野市をつくるため、特に力を入れるべきだと思う施策を、下記の 45 項目の中から 5 つ選び、その番号を回答欄に記入してください。

住みよい長野市をつくるために特に力を入れるべきだと思う施策（45 項目から 5 つ選択）は、「安定した雇用の確保」（34.7%）が 3 割を超え最も多く、8 年連続でトップとなった。続く、「バスや鉄道などの移動手段の確保」（31.9%）も、8 年連続で 2 位となった。3 位の「子育て支援の充実」（30.9%）は、昨年度から 4.4 ポイント上がり、順位も 2 つ上がった。

昨年度の調査と比較すると、上位 5 項目のうち、上位 4 項目は昨年度と同様の結果となった。

一方、45 位の「地方分権、広域行政の推進」は、3 年連続優先度が最下位となった。

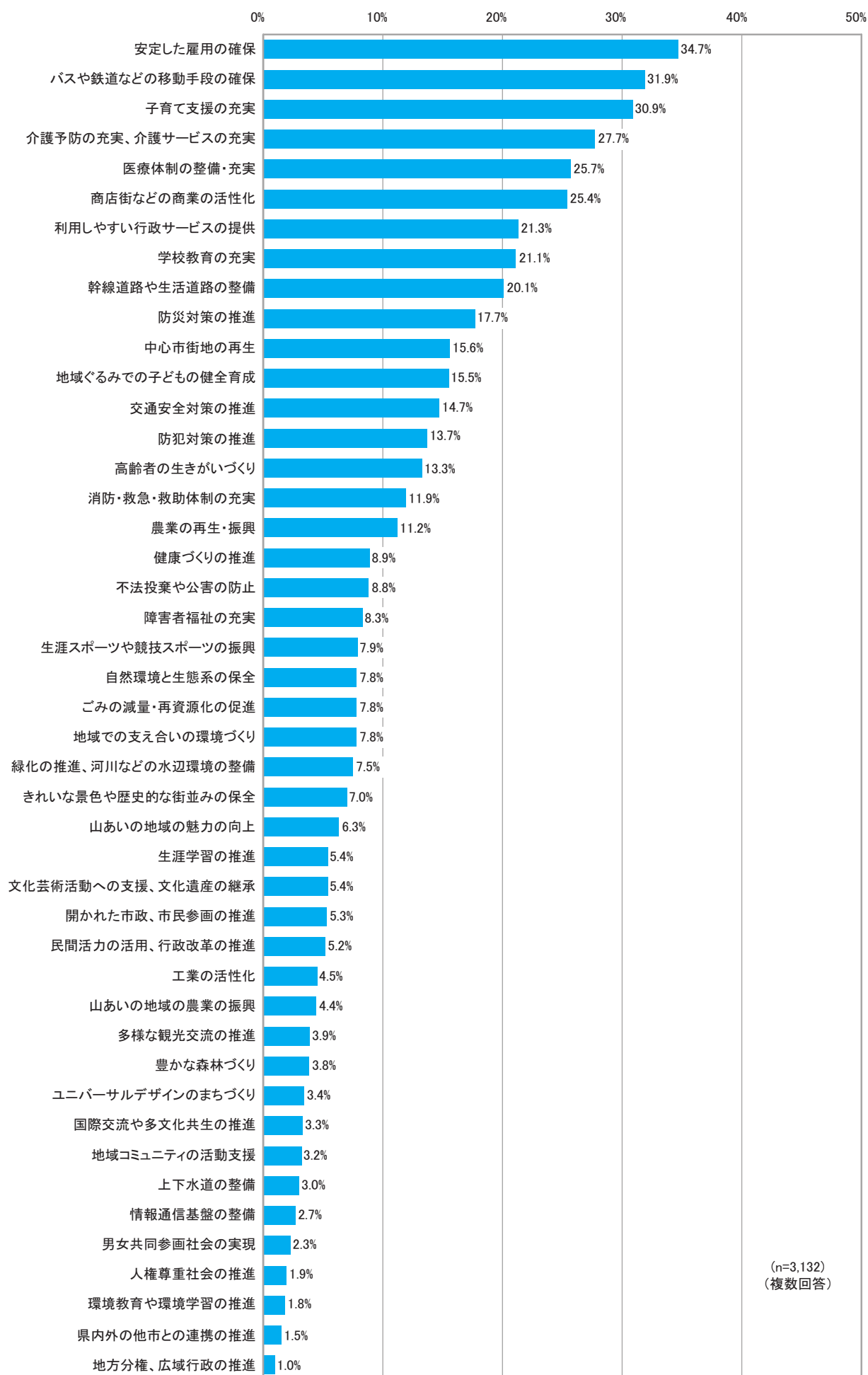
昨年度と比較して、大きく順位が上がったものとして、13 位の「交通安全対策の推進」が、昨年度の 26 位から 13、21 位の「生涯スポーツや競技スポーツの振興」が、29 位から 8 つ、32 位の「工業の活性化」が、40 位から 8 つ、それぞれ順位が上がった。

一方、大きく順位が下がったものとして、23 位の「ごみの減量・再資源化の促進」が、昨年度の 16 位から 7 つ、25 位の「緑化の推進、河川などの水辺環境の整備」が、17 位から 8 つ、それぞれ順位が下がった。

回答割合では、6 位の「商店街などの商業の活性化」が 7.1 ポイント、8 位の「学校教育の充実」が 7.6 ポイント、13 位の「交通安全対策の推進」が 6.6 ポイント上がっている。一方、7 位の「利用しやすい行政サービスの提供」が 6.0 ポイント下がっている。

年代別で見ると、10 歳代、50 歳代、および 60 歳代は「安定した雇用の確保」が最も多かった。なお、10 歳代は同率で「学校教育の充実」が並んだ。20 歳代から 40 歳代は「子育て支援の充実」が最も多く、特に 30 歳代は 57.7%と、半数以上が特に力を入れるべきと考えていることが分かった。70 歳以上は、「介護予防の充実、介護サービスの充実」が最も多かった。

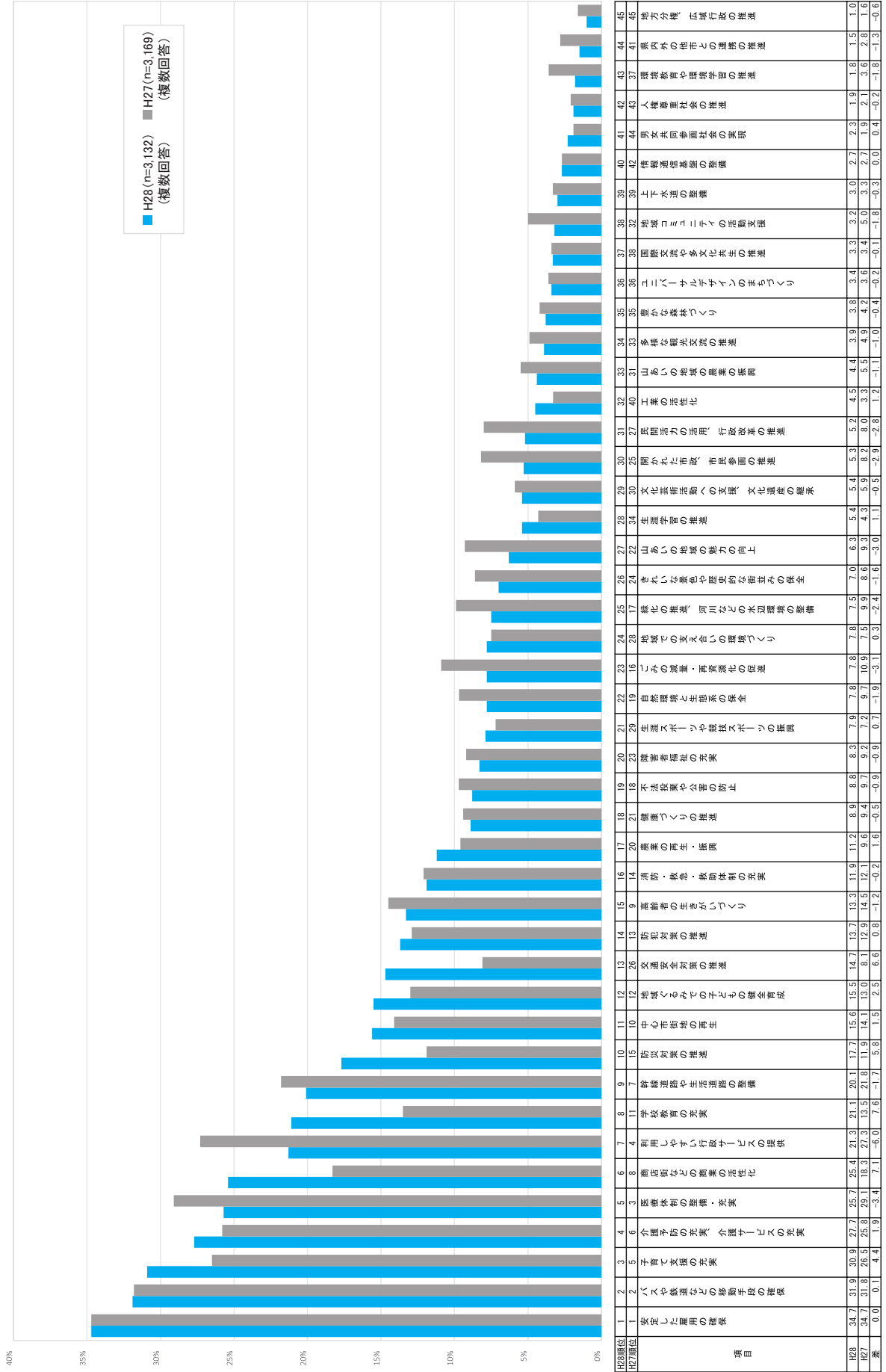
地域区分別で見ると、市街地地域、市街地周辺地域、犀南地域、および中山間地域は、「安定した雇用の確保」が最も多かった。一方、松代・若穂は、「バスや鉄道などの移動手段の確保」が 49.6%と最も多く、約半数が特に力を入れるべきと回答した。



◆行政施策の優先順位に係る前年度比較

設問項目	順位(回答割合:%)	
	平成 28 年度 (n=3,132)	平成 27 年度 (n=3,169)
安定した雇用の確保	1 (34.7)	1 (34.7)
バスや鉄道などの移動手段の確保	2 (31.9)	2 (31.8)
子育て支援の充実	3 (30.9)	5 (26.5)
介護予防の充実、介護サービスの充実	4 (27.7)	6 (25.8)
医療体制の整備・充実	5 (25.7)	3 (29.1)
商店街などの商業の活性化	6 (25.4)	8 (18.3)
利用しやすい行政サービスの提供	7 (21.3)	4 (27.3)
学校教育の充実	8 (21.1)	11 (13.5)
幹線道路や生活道路の整備	9 (20.1)	7 (21.8)
防災対策の推進	10 (17.7)	15 (11.9)
中心市街地の再生	11 (15.6)	10 (14.1)
地域ぐるみでの子どもの健全育成	12 (15.5)	12 (13.0)
交通安全対策の推進	13 (14.7)	26 (8.1)
防犯対策の推進	14 (13.7)	13 (12.9)
高齢者の生きがいづくり	15 (13.3)	9 (14.5)
消防・救急・救助体制の充実	16 (11.9)	14 (12.1)
農業の再生・振興	17 (11.2)	20 (9.6)
健康づくりの推進	18 (8.9)	21 (9.4)
不法投棄や公害の防止	19 (8.8)	18 (9.7)
障害者福祉の充実	20 (8.3)	23 (9.2)
生涯スポーツや競技スポーツの振興	21 (7.9)	29 (7.2)
自然環境と生態系の保全	22 (7.8)	19 (9.7)
ごみの減量・再資源化の促進	23 (7.8)	16 (10.9)
地域での支え合いの環境づくり	24 (7.8)	28 (7.5)
緑化の推進、河川などの水辺環境の整備	25 (7.5)	17 (9.9)
きれいな景色や歴史的な街並みの保全	26 (7.0)	24 (8.6)
山あいの地域の魅力の向上	27 (6.3)	22 (9.3)
生涯学習の推進	28 (5.4)	34 (4.3)
文化芸術活動への支援、文化遺産の継承	29 (5.4)	30 (5.9)
開かれた市政、市民参画の推進	30 (5.3)	25 (8.2)
民間活力の活用、行政改革の推進	31 (5.2)	27 (8.0)
工業の活性化	32 (4.5)	40 (3.3)
山あいの地域の農業の振興	33 (4.4)	31 (5.5)
多様な観光交流の推進	34 (3.9)	33 (4.9)
豊かな森林づくり	35 (3.8)	35 (4.2)
ユニバーサルデザインのまちづくり	36 (3.4)	36 (3.6)
国際交流や多文化共生の推進	37 (3.3)	38 (3.4)
地域コミュニティの活動支援	38 (3.2)	32 (5.0)
上下水道の整備	39 (3.0)	39 (3.3)
情報通信基盤の整備	40 (2.7)	42 (2.7)
男女共同参画社会の実現	41 (2.3)	44 (1.9)
人権尊重社会の推進	42 (1.9)	43 (2.1)
環境教育や環境学習の推進	43 (1.8)	37 (3.6)
県内外の他市との連携の推進	44 (1.5)	41 (2.8)
地方分権、広域行政の推進	45 (1.0)	45 (1.6)

◆住みよい長野市をつくるため、特に力を入れるべきだと思う施策



◆性別・年代別一覧（上位10項目）

（％）

	男性	女性	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
防犯対策の推進	14.5	13.1	⑤ 19.6	13.3	16.1	⑩ 16.5	13.7	11.6	11.4
交通安全対策の推進	14.4	14.9	⑤ 19.6	⑩ 16.9	16.6	15.9	14.1	11.3	15.0
消防・救急・救助体制の充実	12.7	11.3	6.5	8.5	7.2	9.6	13.1	13.8	15.7
防災対策の推進	⑨ 18.8	⑩ 16.8	8.7	14.5	14.2	15.6	⑧ 20.6	⑦ 21.5	⑨ 16.9
男女共同参画社会の実現	2.4	2.2	2.2	4.4	3.6	1.4	2.8	1.7	1.4
人権尊重社会の推進	1.8	2.0	4.3	2.8	1.9	1.8	1.3	1.7	2.6
医療体制の整備・充実	⑥ 23.7	⑤ 27.1	10.9	⑤ 25.8	⑥ 21.4	⑤ 26.8	④ 27.6	④ 27.5	④ 24.8
健康づくりの推進	7.9	9.6	2.2	8.5	6.5	7.2	6.5	11.7	12.1
地域での支え合いの環境づくり	7.1	8.1	10.9	6.0	5.0	3.2	6.3	9.8	13.6
障害者福祉の充実	7.7	8.6	8.7	8.1	8.2	8.6	7.6	8.0	8.8
高齢者の生きがいづくり	12.8	13.5	10.9	7.7	6.7	8.6	12.6	15.2	⑦ 22.8
介護予防の充実、介護サービスの充実	⑦ 23.2	④ 30.8	⑨ 17.4	15.7	⑩ 18.3	⑦ 25.2	③ 33.0	② 31.3	① 33.6
子育て支援の充実	② 29.4	③ 32.2	③ 34.8	① 41.1	① 57.7	① 38.0	⑥ 22.8	⑤ 25.3	15.2
情報通信基盤の整備	3.5	2.1	8.7	6.0	4.6	2.1	3.1	1.7	0.9
幹線道路や生活道路の整備	④ 24.1	⑨ 17.3	⑤ 19.6	⑦ 21.8	⑨ 19.7	⑧ 24.5	⑨ 19.8	⑨ 19.6	⑩ 16.2
バスや鉄道などの移動手段の確保	③ 27.9	① 34.7	④ 32.6	③ 35.9	④ 26.0	③ 35.7	② 33.1	③ 30.0	② 31.7
きれいな景色や歴史的な街並みの保全	7.9	6.3	10.9	11.7	8.2	7.5	5.4	5.9	5.9
ユニバーサルデザインのまちづくり	3.8	3.2	8.7	7.3	3.8	4.2	3.7	2.7	1.2
中心市街地の再生	15.1	16.1	13.0	⑥ 25.0	⑩ 18.3	14.7	⑩ 17.0	13.8	11.9
利用しやすい行政サービスの提供	⑩ 17.9	⑦ 23.8	⑩ 15.2	⑨ 19.4	⑦ 20.0	⑨ 22.2	⑦ 21.7	⑧ 20.5	⑤ 23.8
民間活力の活用、行政改革の推進	8.1	3.1	2.2	3.6	4.3	4.4	5.6	5.3	6.9
県内外の他市との連携の推進	1.8	1.3	2.2	1.6	1.4	1.6	1.1	1.3	1.9
地方分権、広域行政の推進	1.5	0.6	2.2	1.6	1.0	0.9	0.7	1.1	0.9
山あいの地域の魅力の向上	6.6	6.1	4.3	3.6	5.5	8.4	6.5	6.0	6.2
地域コミュニティの活動支援	3.5	3.0	13.0	1.2	2.4	1.9	4.4	2.2	5.0
開かれた市政、市民参画の推進	6.0	4.7	4.3	2.4	4.3	4.4	5.6	5.9	7.4
緑化の推進、河川などの水辺環境の整備	8.5	6.8	4.3	5.6	5.5	6.1	8.7	9.4	7.9
上下水道の整備	3.7	2.5	0.0	3.6	2.9	2.5	3.3	3.5	2.8
不法投棄や公害の防止	9.7	8.1	6.5	6.9	6.7	7.4	7.0	10.2	12.8
ごみの減量・再資源化の促進	6.3	8.8	13.0	6.9	3.8	5.6	6.7	8.7	12.6
自然環境と生態系の保全	9.1	6.9	6.5	8.5	5.8	7.0	8.9	9.6	6.9
環境教育や環境学習の推進	1.7	1.8	0.0	1.6	1.9	1.1	2.0	2.1	1.9
安定した雇用の確保	① 35.1	② 34.6	① 37.0	② 38.7	② 39.4	② 36.4	① 37.8	① 33.5	③ 26.9
商店街などの商業の活性化	④ 24.1	⑥ 26.4	⑤ 19.6	④ 30.6	⑤ 25.5	⑤ 26.8	⑤ 26.7	⑥ 23.7	⑥ 23.4
工業の活性化	7.3	2.5	6.5	4.8	4.8	5.8	4.1	4.9	2.8
豊かな森林づくり	5.3	2.8	6.5	3.2	2.6	3.3	3.0	5.6	3.8
山あいの地域の農業の振興	4.8	4.0	4.3	1.6	3.1	2.6	4.1	6.0	6.4
農業の再生・振興	10.7	11.6	8.7	6.5	9.6	9.6	13.5	12.8	12.2
多様な観光交流の推進	3.9	3.9	6.5	6.0	4.1	4.4	4.3	3.1	2.8
国際交流や多文化共生の推進	3.1	3.5	13.0	4.8	3.6	4.6	3.5	2.1	1.9
生涯スポーツや競技スポーツの振興	12.0	5.0	⑩ 15.2	10.5	8.7	10.3	7.8	6.4	5.3
文化芸術活動への支援、文化遺産の継承	5.1	5.6	2.2	4.8	4.8	5.3	5.9	4.7	6.6
生涯学習の推進	5.5	5.4	2.2	2.4	3.4	4.6	6.1	6.3	7.6
地域ぐるみでの子どもの健全育成	14.4	16.1	8.7	11.3	⑦ 20.0	14.7	11.3	⑩ 17.0	⑧ 17.2
学校教育の充実	⑧ 19.9	⑧ 22.0	① 37.0	⑧ 21.4	③ 34.1	④ 27.5	15.4	16.9	14.7

◆地域区分別一覧（上位10項目）

（％）

	市街地地域	市街地 周辺地域	犀南地域	松代・若穂	中山間地域
防犯対策の推進	15.4	11.8	14.3	14.7	4.5
交通安全対策の推進	14.6	14.0	⑩ 17.2	10.9	10.3
消防・救急・救助体制の充実	10.1	11.2	13.2	14.3	18.6
防災対策の推進	18.7	⑩ 18.4	16.4	15.1	⑩ 19.2
男女共同参画社会の実現	1.9	2.6	2.1	3.4	1.9
人権尊重社会の推進	1.4	2.4	1.8	3.4	2.6
医療体制の整備・充実	⑤ 28.6	⑤ 25.2	⑤ 25.4	⑦ 18.5	⑦ 21.2
健康づくりの推進	8.9	8.9	8.1	11.3	9.0
地域での支え合いの環境づくり	7.1	8.3	7.3	7.1	14.1
障害者福祉の充実	8.8	8.6	7.7	8.0	7.1
高齢者の生きがいづくり	12.0	14.3	13.0	⑩ 16.8	12.2
介護予防の充実、介護サービスの充実	⑥ 27.5	④ 28.6	④ 28.0	④ 26.9	④ 25.0
子育て支援の充実	② 31.2	② 31.2	② 31.9	③ 28.6	③ 25.6
情報通信基盤の整備	2.4	2.4	2.7	3.4	3.2
幹線道路や生活道路の整備	⑩ 20.0	⑦ 21.5	⑨ 18.5	⑥ 19.7	④ 25.0
バスや鉄道などの移動手段の確保	③ 30.2	③ 30.5	③ 31.1	① 49.6	② 26.9
きれいな景色や歴史的な街並みの保全	7.3	7.5	5.9	8.4	5.8
ユニバーサルデザインのまちづくり	4.0	2.9	3.5	2.1	2.6
中心市街地の再生	⑦ 22.5	13.6	11.2	7.6	9.6
利用しやすい行政サービスの提供	⑨ 21.5	⑥ 22.5	⑧ 21.3	15.5	⑦ 21.2
民間活力の活用、行政改革の推進	4.7	4.3	6.0	5.5	7.1
県内外の他市との連携の推進	1.5	1.0	1.5	2.9	1.3
地方分権、広域行政の推進	1.0	0.4	1.4	0.8	0.6
山あいの地域の魅力の向上	4.8	4.9	6.2	8.4	⑨ 19.9
地域コミュニティの活動支援	2.7	4.6	2.8	2.9	4.5
開かれた市政、市民参画の推進	4.9	5.7	5.7	6.3	3.8
緑化の推進、河川などの水辺環境の整備	6.8	9.0	7.7	8.8	3.2
上下水道の整備	3.4	1.5	3.3	3.4	5.1
不法投棄や公害の防止	7.3	9.2	9.0	8.8	17.3
ごみの減量・再資源化の促進	6.6	9.4	8.1	8.4	7.1
自然環境と生態系の保全	7.2	8.7	8.4	5.5	9.6
環境教育や環境学習の推進	1.8	1.8	1.5	2.9	1.3
安定した雇用の確保	① 32.9	① 35.8	① 37.7	② 30.3	① 35.3
商店街などの商業の活性化	③ 30.2	⑧ 21.2	⑥ 24.6	⑤ 25.2	14.7
工業の活性化	4.3	4.3	5.7	4.2	1.3
豊かな森林づくり	3.5	4.7	3.3	2.9	6.4
山あいの地域の農業の振興	2.6	3.3	4.5	3.4	⑥ 23.1
農業の再生・振興	8.3	13.3	13.2	13.0	10.3
多様な観光交流の推進	5.1	3.5	2.6	4.6	1.9
国際交流や多文化共生の推進	2.6	4.2	4.0	3.4	1.9
生涯スポーツや競技スポーツの振興	8.9	7.5	8.5	5.9	1.9
文化芸術活動への支援、文化遺産の継承	6.5	4.7	4.5	5.5	5.1
生涯学習の推進	6.2	5.1	5.1	4.2	5.8
地域ぐるみでの子どもの健全育成	13.0	17.3	17.1	⑨ 18.1	14.1
学校教育の充実	⑧ 21.9	⑨ 19.6	⑦ 22.9	⑦ 18.5	14.7

3 アンケート用紙

平成 28 年 10 月 21 日

市民の皆さまへ

長野市長 加藤 久雄

「まちづくりアンケート」ご協力をお願い

拝啓

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日ごろ、市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

長野市では、市民の皆さまのご意見やご要望をお聴きし、まちづくりに反映させることを目的に、昭和 57 年度から毎年アンケートを実施しております。

本年度は、「健康」、「公園での犬の散歩」、「空き家対策」および「人口減少対策」を主なテーマとして、市政全般についてお聴きします。

今回、平成 28 年 10 月 16 日現在、長野市の住民基本台帳に登録されている 18 歳以上の皆さまから、5,000 人の方を無作為抽出させていただき、アンケートをお願いすることとなりました。

この調査のまとめはコンピューターにより統計的に処理を行いますので、個人の秘密が漏れたり、ご迷惑をお掛けすることはありません。

なお、調査結果の概要は、平成 29 年 3 月発行の「広報ながの」に掲載する予定です。

お忙しいことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬具

ご記入方法などについて

- ☆ ご回答は、宛名のご本人が記入してください。
- ☆ 選択肢は、ご自身の考えに近いものをお選びください。
なお「その他」に当てはまる場合は、（ ）内に具体的に記入してください。
- ☆ ご記入いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに
平成 28 年 **11 月 8 日（火）**までに、郵便ポストに投函していただきますようお願いいたします。
- ☆ このアンケートについてのお問い合わせは、次へお願いいたします。
長野市企画政策部広報広聴課（広聴担当）
電話：026-224-5004（直通）

はじめに、あなた自身について、お伺いします。

選択肢の該当する番号横の（ ）内に○印をつけてください。

F 1 お住まいの地区

- | | | | |
|------------|------------|-------------|------------|
| 1 () 第一 | 2 () 第二 | 3 () 第三 | 4 () 第四 |
| 5 () 第五 | 6 () 芹田 | 7 () 古牧 | 8 () 三輪 |
| 9 () 吉田 | 10 () 古里 | 11 () 柳原 | 12 () 浅川 |
| 13 () 大豆島 | 14 () 朝陽 | 15 () 若槻 | 16 () 長沼 |
| 17 () 安茂里 | 18 () 小田切 | 19 () 芋井 | 20 () 篠ノ井 |
| 21 () 松代 | 22 () 若穂 | 23 () 川中島 | 24 () 更北 |
| 25 () 七二会 | 26 () 信更 | 27 () 豊野 | 28 () 戸隠 |
| 29 () 鬼無里 | 30 () 大岡 | 31 () 信州新町 | 32 () 中条 |

※地区名が分からない場合は、町名を記入してください。(_____)

- F 2 性別 1 () 男性 2 () 女性

- F 3 年代 1 () 10歳代 2 () 20歳代 3 () 30歳代 4 () 40歳代
5 () 50歳代 6 () 60歳代 7 () 70歳以上

F 4 職業 (自営業主および家族従業員)

- | | | |
|--------------|----------|--------------|
| 1 () 農・林・漁業 | 2 () 工業 | 3 () 商業・自由業 |
|--------------|----------|--------------|
- (会社員・公務員)
- | | |
|--------------|----------------|
| 4 () 事務系会社員 | 5 () サービス系会社員 |
| 6 () 技術系会社員 | 7 () 公務員・教員 |
- (その他)
- | | |
|-----------------|---------------------|
| 8 () 主婦(主夫) | 9 () パート・アルバイト |
| 10 () 無職(学生含む) | 11 () その他(_____) |

F 5 長野市の居住年数(合併前の町村の居住も含みます)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 () 5年未満 | 2 () 5年以上10年未満 |
| 3 () 10年以上20年未満 | 4 () 20年以上 |

I 健康に関することについて

問1 あなたは、自分のことを健康だと思っていますか。最も近い番号1つに○印をつけてください。

- | |
|-----------------|
| 1 () そう思う |
| 2 () ややそう思う |
| 3 () あまりそう思わない |
| 4 () そう思わない |
| 5 () 分からない |

問2 あなたの生活習慣で、ご自身の健康のために、改善する必要があると思われるものは次のどれですか。該当する番号3つ以内に○印をつけてください。

- 1 () 運動不足
- 2 () 食生活 (食べ過ぎ、偏り、野菜不足、不規則など)
- 3 () 睡眠不足
- 4 () ストレス
- 5 () 飲酒
- 6 () 喫煙
- 7 () 歯磨き
- 8 () その他 ()
- 9 () 改善する必要はない

問3 あなたはここ数日、身体の具合の悪いところ(自覚症状)がありますか。それぞれについて、「ある」または「ない」のどちらかに○印をつけてください。

体がだるい	ある	ない
腰または手足の関節の痛み	ある	ない
肩こり	ある	ない
歯ぐきのはれ・出血	ある	ない
噛めない食べ物がある	ある	ない

問4 あなたは、かかりつけ医(主治医)、または、いつもかかる医療機関(病院、クリニック、診療所)を決めていますか。それぞれについて、「決めている」または「決めていない」のどちらかに○印をつけてください。

歯科医院	決めている	決めていない
歯科医院以外	決めている	決めていない

問5 あなたは、この1年間に、個人または友人と、あるいはグループや団体に継続的に行われている次のような活動を行った、または参加したことがありますか。該当する番号全てに○印をつけてください。

- 1 () 就業(農業・アルバイト・シルバー人材センターなどを含む)
- 2 () 趣味・サークル(運動・スポーツ、手芸、園芸・家庭菜園、俳句・詩吟、コーラスなど)
- 3 () ボランティア(健康づくり、高齢者や子どもを対象とした活動、まちづくりや安全な生活のための活動、自然や環境を守るための活動、PTA活動、自治会活動など)
- 4 () 学業
- 5 () その他 ()
- 6 () 活動・参加していない

II 公園での犬の散歩について

本市は条例(※1)により、一部の公園(※2)を除き、公園での犬の散歩を禁止しています。禁止してから50余年が経過し、社会情勢が大きく変化している中、近年、犬を飼う人の増加、また、ペットの果たす社会的役割が増えていることに伴い、犬の散歩場所や犬との触れ合いの場所として、身近な憩いの場である公園を利用したいと思う人が増えています。

※1 政令指定都市・中核市などの中で、条例で公園での犬の散歩を禁止している自治体は長野市のみ
(条例では禁止していないが、管理上、犬の散歩に条件を付けたり規制している自治体はある)

※2 犬の散歩が認められている公園：長野運動公園、八幡原史跡公園、真田公園、犀川第二緑地
なお、県が設置した若里公園も散歩可能

問6 あなたは、公園で犬を散歩させることについてどう思いますか。最も近い番号1つに○印をつけてください。

- 1 () 公園の利用の一つとして認めるべきである
- 2 () 犬と楽しく触れ合えるので、望ましい
- 3 () マナーが良ければ、気にならない
- 4 () ふんを放置されることが心配
- 5 () 犬を散歩させるべきではない
- 6 () その他 ()

問7 今後、公園での犬の散歩について、どのようにしていくのが良いと思いますか。最も近い番号1つに○印をつけてください。また、そのように思う理由を枠内に記入してください。

- 1 () 条例の禁止条項を撤廃し、全ての公園で犬の散歩ができるようにすべきである
- 2 () 散歩ができる公園を増やすべきである (大規模な公園の限られたエリアなど)
- 3 () 現状の4公園のままでよい
- 4 () 公園での犬の散歩は全て禁止すべきである
- 5 () その他 ()

その理由

問8 犬を散歩させる際の飼い主のマナーについてどう思いますか。最も近い番号1つに○印をつけてください。

- 1 () 良い
- 2 () どちらかと言えば良い (良くなってきている)
- 3 () どちらかと言えば悪い (悪くなってきている)
- 4 () 悪い
- 5 () 分からない

問9 あなたの家では犬を飼っていますか。どちらかに○印をつけてください。

- 1 () はい
- 2 () いいえ

Ⅲ 空き家対策について

問 10 今後、空き家の増加が見込まれます。お住まいの地域で空き家が発生した(している)場合、どのような問題が懸念されますか。該当する番号 3つ以内に○印をつけてください。

- 1 () 庭木や雑草の繁茂、落ち葉や枝葉の越境など、生活環境の悪化
- 2 () 建物の老朽化による屋根材や外壁材の飛散
- 3 () 地震時に、建物・塀などの倒壊による隣地への被害、または隣地からの損害
- 4 () 道路への瓦などの落下やブロック塀の倒壊、枝葉のはみ出しによる通行への障害
- 5 () 害虫の発生、小動物のすみ着きなど、衛生面への不安
- 6 () 放火の恐れやごみの不法投棄、不審者の出入りなど、防火・防犯上の不安
- 7 () 落書きや窓ガラスの割れなどによる景観の悪化
- 8 () その他 ()

問 11 あなたは現在、市内に空き家を所有していますか。どちらかに○印をつけてください。

- 1 () 所有している
- 2 () 所有していない

問 12 空き家が発生する理由として、相続して取得した住宅がそのまま空き家になることが多いといわれています。あなたがお住まいの住宅あるいは親の住宅について、家族で話し合ったことがありますか。最も近い番号 1つに○印をつけてください。

- 1 () 相続や利用方法について話し合って既に決めている
- 2 () 話をしたことはあるが、相続または利用方法については決まっていない
- 3 () 考えてはいるが、まだ話し合っていない
- 4 () 考えたことはない
- 5 () その他 ()
- 6 () 対象となる住宅がない

問 13 空き家が増加している現状を改善するためには、どのような支援が必要だと思いますか。最も近い番号 1つに○印をつけてください。

- 1 () 空き家の購入者などが改修する場合の支援
- 2 () 空き家の管理（庭の草刈り、庭木の剪定・伐採など）に対する支援
- 3 () 空き家についての相談に関する支援（専門家の派遣や相談会の実施など）
- 4 () 空き家を安心して売買するための、専門家による住宅検査費用への支援
- 5 () 空き家の流通を図るための支援
- 6 () 個人所有物の財産に対する公的支援は必要ない
- 7 () その他 ()

問 14 危険な状態となっている空き家に対する除却費用の補助についてどう思いますか。最も近い番号 1つに○印をつけてください。

- 1 () 危険の程度（周囲への影響）が大きければ補助するべきだ
- 2 () 危険な状態であっても、所得が一定以上ある人には補助するべきではない
- 3 () 危険の程度に関わらず、経済的に困窮している（所得が一定以下の）人には補助してもよい
- 4 () 個人の所有物の除却に補助するべきではない
- 5 () その他 ()

IV 長野市の人口減少対策に関わる意識について

長野市の人口は、国勢調査によると2000（平成12）年をピークに減少しており、特段の施策を講じなければ、現在のおよそ38万人が2060年には25万人を割り込むと推計されています。

また、年少人口（0～14歳）は1985（昭和60）年以降一貫して減少しており、2010（平成22）年に10人中およそ2.5人であった老年人口（65歳以上）は、2045年には10人中4人を超えると見込まれています。

このような状況を踏まえ、長野市では、人口増に向けて「しごとの創出と確保」、「移住・定住・交流の促進」、「少子化対策・子育て支援」、「住みやすい地域づくり」などに取り組んでいます。

問15 あなたは、日常生活の中で人口減少、少子・高齢化による影響を身近に感じることはありますか。最も近い番号1つに○印をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 () 強く感じる | 2 () 感じる時がある |
| 3 () ほとんど感じない | 4 () 全く感じない |
| 5 () 分からない | |

問16 現在、あなたにとって、長野市は住みやすいまちですか。最も近い番号1つに○印をつけてください。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 () 住みやすい | 2 () どちらかという住みやすい |
| 3 () どちらともいえない | 4 () あまり住みやすいとはいえない |
| 5 () 住みにくい | |

問17 本市では、人口減少対策を喫緊に取り組まなくてはならない最重要課題と位置付け、さまざまな取り組みを推進しています。

あなたは、長野市の人口増に向けた取り組みを知っていますか。最も近い番号1つに○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 () 知っている | 2 () 取り組んでいることは知っている |
| 3 () 聞いたことはあるがよく知らない | 4 () 全く知らない |

V 身近な生活に関すること

問18 あなたは、体を動かす運動をどのくらいの頻度でしていますか。該当する番号1つに○印をつけてください。（おおむね1日30分以上で、体操やウォーキングも含まれます）

- 1 () 週3日以上
- 2 () 週2日
- 3 () 週1日
- 4 () していない

問19 あなたは、お住まいの地区で、ホテルを見掛けることがありますか。該当する番号1つに○印をつけてください。

- 1 () 今年、見掛けた
- 2 () 今年は見掛けていないが、過去1～2年のうちに見掛けた
- 3 () ほとんど見掛けない
- 4 () 見掛けない

VI 市政全般について

問 20 あなたの日常生活を思い出していただき、No. 1 から No. 44 のそれぞれの質問項目について、最も当てはまると思われる番号 1 つに○印をつけてください。実感や印象、経験でお答えください。

No.	質問項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	思わない	そう	分からない
例	□□□や△△△な環境が整っている	①	2	3	4	5	

《防災、安全について》

1	消費者トラブルや交通事故・犯罪の起こりにくい地域がつくられている	1	2	3	4	5
2	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	1	2	3	4	5
3	地震や水害などに対する地域での防災体制が整っている	1	2	3	4	5

《保健、福祉について》

4	男女が尊重しあい、等しく参加・活躍できる地域社会が築かれている	1	2	3	4	5
5	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている	1	2	3	4	5
6	専門医療や救急医療を受けられる体制が整っている	1	2	3	4	5
7	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている	1	2	3	4	5
8	地域や隣近所でお互いに支え合い助け合う関係が築かれている	1	2	3	4	5
9	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている	1	2	3	4	5
10	高齢者が地域社会でいきいきと活躍できる環境がある	1	2	3	4	5
11	高齢者向けの福祉・介護サービスが地域で受けられる環境が整っている	1	2	3	4	5
12	安心して子どもを産み育てることができる環境が整っている	1	2	3	4	5

《都市整備について》

13	高速インターネットなどの情報通信サービスを利用できる環境が整っている	1	2	3	4	5
14	日常生活において、使いやすい道路が整備されている	1	2	3	4	5
15	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている	1	2	3	4	5
16	歴史的街並みや自然環境に調和した景観が整備されている	1	2	3	4	5
17	公共施設や歩道は、全ての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている	1	2	3	4	5
18	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている	1	2	3	4	5

問 20 の続きとなります。

No.	質問項目	そう 思う	そ う や や 思 う	そ う 思 わ な い	あ ま り 思 わ な い	そ う 分 ら な い
-----	------	----------	----------------------------	----------------------------	---------------------------------	----------------------------

《行政経営について》

19	市役所の職員の対応や取り組みは好感が持てる	1	2	3	4	5
20	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる	1	2	3	4	5
21	他の都市との間で観光や文化など、市域や県域を越えた交流や協力がある	1	2	3	4	5
22	地方の拠点都市または県都「長野市」として周辺地域をリードしている	1	2	3	4	5
23	山あいの地域で、農業や自然を活用した地域づくりが行われている	1	2	3	4	5
24	地域で自治会や住民グループが積極的に活動している	1	2	3	4	5
25	市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている	1	2	3	4	5

《環境について》

26	やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている	1	2	3	4	5
27	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	1	2	3	4	5
28	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている	1	2	3	4	5
29	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	1	2	3	4	5
30	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	1	2	3	4	5
31	地域・企業・行政が一体となった地域全体の環境保全が行われている	1	2	3	4	5

《産業、経済について》

32	働きたい人が仕事につきやすい環境がある	1	2	3	4	5
33	個性的で魅力的なお店が増えている	1	2	3	4	5
34	工業や製造業に活気がある	1	2	3	4	5
35	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている	1	2	3	4	5
36	山あいの地域で、いきいきと農業の生産活動が行われている	1	2	3	4	5
37	競争力があり価値が高い農産物が生産されている	1	2	3	4	5
38	自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりが行われている	1	2	3	4	5

《教育、文化について》

39	外国の人や文化との交流が行われている	1	2	3	4	5
40	子どもから高齢者まで、誰もが気軽にスポーツに取り組める環境が整っている	1	2	3	4	5
41	歴史・文化の保存や継承が適切に行われている	1	2	3	4	5
42	文化・教育・趣味など学びたいことを学ぶことができる環境が整っている	1	2	3	4	5
43	地域ぐるみで子どもを育てていく環境がある	1	2	3	4	5
44	子どもたちが、いきいきと学ぶ環境が整っている	1	2	3	4	5

問 21 住みよい長野市をつくるため、特に力を入れるべきだと思う施策を、下記の 45 項目の中から 5 つ選び、その番号を回答欄に記入してください。

防災・安全	1	防犯対策の推進	環境	27	緑化の推進、河川などの水辺環境の整備
	2	交通安全対策の推進		28	上下水道の整備
	3	消防・救急・救助体制の充実		29	不法投棄や公害の防止
	4	防災対策の推進		30	ごみの減量・再資源化の促進
保健・福祉	5	男女共同参画社会の実現	産業・経済	31	自然環境と生態系の保全
	6	人権尊重社会の推進		32	環境教育や環境学習の推進
	7	医療体制の整備・充実		33	安定した雇用の確保
	8	健康づくりの推進		34	商店街などの商業の活性化
	9	地域での支え合いの環境づくり		35	工業の活性化
	10	障害者福祉の充実		36	豊かな森林づくり
	11	高齢者の生きがいづくり		37	山あいの地域の農業の振興
	12	介護予防の充実、介護サービスの充実		38	農業の再生・振興
	13	子育て支援の充実		39	多様な観光交流の推進
都市整備	14	情報通信基盤の整備	教育・文化	40	国際交流や多文化共生の推進
	15	幹線道路や生活道路の整備		41	生涯スポーツや競技スポーツの振興
	16	バスや鉄道などの移動手段の確保		42	文化芸術活動への支援、文化遺産の継承
	17	きれいな景色や歴史的な街並みの保全		43	生涯学習の推進
	18	ユニバーサルデザインのまちづくり		44	地域ぐるみでの子どもの健全育成
	19	中心市街地の再生		45	学校教育の充実
行政経営	20	利用しやすい行政サービスの提供			
	21	民間活力の活用、行政改革の推進			
	22	県内外の他市との連携の推進			
	23	地方分権、広域行政の推進			
	24	山あいの地域の魅力の向上			
	25	地域コミュニティの活動支援			
	26	開かれた市政、市民参画の推進			

	1	2	3	4	5
回答					

ご協力ありがとうございました。

平成 29 年 3 月発行

発行：長野市

編集：長野市企画政策部 広報広聴課

長野市大字鶴賀緑町 1613 番地 電話 026 (224) 5004 (直通)

E-mail : kouhou-kouchou@city.nagano.lg.jp

<http://www.city.nagano.nagano.jp/>

集計・印刷 協同組合長野シーアイ開発センター